

# 学生による授業評価 と大学教育

大東文化大学授業評価報告書 I (全学データ)

2014年度

大東文化大学



# 目 次

はじめに	5
ファカルティ・ディベロップメント委員会委員長 小松 義明	
ファカルティ・ディベロップメント委員会報告	
第1章 授業評価アンケートの目的と実施方法	7
第1節 アンケートの目的と実施の経緯	
第2節 アンケート実施方法と集計の概要	
第2章 授業評価アンケートの集計内容と公表について	13
第1節 集計に際しての基本姿勢と留意点	
第2節 結果の分析について	
第3節 公表について	
第3章 昨年度(2013年度)の各学部・学科による分析報告	15
文学部	
経済学部	
外国語学部中国語学科	
外国語学部英語学科	
外国語学部日本語学科	
法学部法律学科	
法学部政治学科	
国際関係学部	
経営学部	
環境創造学部	
スポーツ・健康科学部スポーツ科学科	
スポーツ・健康科学部健康科学科	
＜参考資料1＞	
大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程	28
＜参考資料2＞	
2014(平成26)年度 大東文化大学「授業評価」実施要項	29
＜参考資料3＞	
学生による授業評価アンケート質問・回答マークシート	30
アンケート集計結果資料編	
A. 履修登録者数・回答者数レベル別集計(全学・学年・学部別集計)	33
B. 項目別集計(全学・学年別集計)	47
C. 項目別集計(学部別集計)	55
D. 学年別集計(学部・学科別集計)	77
E. 学科別集計	87



## はじめに

ファカルティ・ディベロップメント委員会  
委員長 小松 義明

ファカルティ・ディベロップメント（以下、FDとする）委員会は、2014年度学生による授業評価アンケートを実施しました。東松山校舎の電波の環境整備状況や学生、教員及び職員の負担を考慮した結果、マークシート方式のみで2014年6月30日から7月5日まで（翌週予備期間）専任教員2科目、非常勤講師1科目を原則として実施しました。今年度は、前期科目のアンケート実施の要望が多く寄せられたこと、通年科目において前期にアンケートを行いその結果を後期の授業改善に活かしたいこと、2004年度を最後に前期のアンケートの実施がなされていないこと等を理由に、前期に実施しました。

さて、今年度もFD委員会は、「実施科目数が限定的で結果のフィードバックが組織的に行われていない」（2010年度に受審した認証評価での助言）という指摘に対して、どのように対処し、改善していくかを大きな課題と受け止めました。そのため、2013年度より前年度のアンケート結果の分析を各学部・学科へ依頼し、2013年度版『授業評価報告書』に掲載しましたが、今年度も同様に、2013年度のアンケート結果の分析を各学部・学科へ依頼しました。FD委員会としては、各学部・学科の独自の観点から授業評価の結果を分析し、FD活動を活性化していただくことに大きな意義があると考えています。昨年度、各学部・学科にお願ひしました授業評価アンケート報告書の記載項目は次のとおりです。

1. 各設問の数値に関する検証
2. 学生の自由記述及び教員所見について
3. 今後の授業改善に向けて学科（又は学部）として必要な課題や計画

本年度は、前回の結果を踏まえ、1の分析に際しては、20の設問のうち注目すべき数値に加えて2012年度と比較して特筆すべき事項の指摘をお願いしました。各学部・学科において、前年度との比較及び全学の平均値との比較に関する分析の記述が増えたことは注目されます。2については、学生の自由記述を受けての「教員所見」の方に主眼を置き「所属学部・学科の教員コメントについて」という質問に変更し、多くの「授業改善に繋がる教員のコメント」が紹介されています。そして3については、今年度「2013年度の検証を踏まえ、2012年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について」という質問に改め、前年度との比較を通して、進捗状況と更なる改善点・展望を明らかにしていただきました。各学部・学科における授業改善の全般的な取り組みや、FD活動の現在の取り組み内容及び今後の具体的な計画などが記述され、昨年度にも増して内容が豊富になっています。

以上のように、授業評価アンケートに関する組織的なフィードバックが一步前進したと考えられます。今後も本学の魅力的な授業や教育改善の成果をより高めるため、FD委員会で十分に議論し、本学の教育の質の向上を図っていききたいと思います。

最後に、本年度授業評価アンケート実施にあたりご協力いただきました多くの学生、教職員の皆様に心より御礼申し上げます。

以上



# 第1章 授業評価アンケートの目的と実施方法

## 第1節 アンケートの目的と実施の経緯

### (概要)

2014年6月30日から7月5日に実施された「学生による授業評価アンケート」について報告する。アンケートの実施目的は、授業に対する学生の率直な意見を聴取して本学の授業内容及び教育方法の改善に資することにある。併せて、自己点検・評価活動の一環として行っており本年度で13回目を数える。

アンケート結果に関する集計方針は、学生の授業への評価を統計的に、学年・学部・学科・授業別に提示することである。加えて、個々の教員・授業に関して学生がどのような感想・意見を持つかを個別に収集することにも工夫し、各教員に授業改善の取り組みに着手するための判断材料を提供することを目指してきた。

また、(公財)大学基準協会(本学が2010年度に受審した認証評価機関)の方針を踏まえ、2011年度に本委員会が掲げた以下の姿勢は崩していない。

(公財)大学基準協会による大学評価(認証評価)は2010年度で第一期が終了し、2011年度からの第二期大学評価(認証評価)では評価の基準が見直された。「全ての授業について統一した項目で授業評価が実施されていること」が、評価の際に留意すべき事項から外れ、その代わりに、達成度評価として「教育内容・方法等の改善を図ることを目的とした研修・研究が、定期的実施されるものであり、また、これを踏まえた改善プロセスを明らかにしているなど、教育の質の維持・向上に恒常的かつ適切に取り組んでいる。」(『「大学評価」ハンドブック』(公財)大学基準協会)という留意すべき事項が設けられている。これに準拠した形で、大学は授業評価アンケートの継続又はそれに替わる制度を導入し、社会に対して教育の品質保証をしなければならない。これについては本委員会において、中・長期的な課題として検討していく必要がある。

(2011年度版大東文化大学授業評価報告書『学生による授業評価と大学教育』より)

### (認証評価結果を受けての本学の姿勢)

本学は2010年度に(公財)大学基準協会の認証評価を受審し、以下のような指摘(「助言」)を受けた。

「全学部において、授業評価アンケートが専任教員は年間2科目、兼任教員は年間1科目の実施にとどまっており、結果のフィードバックも主として個々の教員に委ねられているので、改善が望まれる。」(2010年度「大東文化大学に対する大学評価(認証評価)結果」(公財)大学基準協会)

この結果に対して、本委員会では2011年度から議論を重ね、2013年度には以下の方向を定めた。

- ①本学では2004年度までの4回にわたる授業評価アンケートでは全科目について実施してきた。しかしながら、「同じ教員が担当する授業で評価が極端に異なることは考えにくい」こと、「対象科目を絞り込むことによって教員・学生双方の負

担を軽減」し「教員にはきめ細やかな改善策を策定するための労力を割いてもらいたい」（2006年度版授業評価報告書『学生による授業評価と大学教育』）との理由により、2006年度からは専任2科目、非常勤1科目体制に変更した経緯がある。2013年度に再度2004年度の結果を調査（3教員を無作為で抽出）したところ、同一教員により「極端に異なった」結果が出ているとは言い難かった。この確認に基づいて、アンケート科目数を絞っても十分に信頼できるデータがとれると判断し、専任2科目・非常勤1科目とした。

- ②アンケート結果のフィードバック方法が教員個人に委ねられているという指摘についてはこれを真摯に受け止め、組織的な取り組みが必要と判断した。2011年度まではアンケートの実施母体（現在ではFD委員会）のみが行っていたアンケート結果の分析を、2012年度分からは各学部・学科のFDを担う委員会に依頼して学部・学科単位で行う教育改善を促し、その分析結果を『報告書』へ掲載することとした。

### （今までの流れ）

近年の本学の授業評価アンケートの流れについて説明しておく。

2009年度のアンケート実施から、設問と集計方法について大幅な見直し作業を行った。設問群の変更を行い、大きな3つのカテゴリー（「Ⅰ．学生自身への設問」、「Ⅱ．授業への設問」、「Ⅲ．総合的な設問」）に分けた。

2008年度にあった「この授業を総合的に評価して下さい」（選択肢は「満足」「やや満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」の5択）という一設問を、「Ⅲ．総合的な設問」として4つの設問を設け、その平均評価値を以ってその授業の「総合評価」と改めた。その結果は全学集計「D．学年別集計（学部・学科別集計）」にて観察することができる。

4つの設問の中にその授業に「とても満足できましたか」との設問をおいた。この満足度を以って授業の「総合評価」とする考えもあり得るだろう。しかし、単に満足したか否かの問いだけで直ちに総合評価とはできない。例えば、「この授業はあまり出席しなくても単位取得ができる」「（授業内容はともかく）先生の雑談が面白かった」など、設問の本意とは異なる動機で「満足」したと回答する可能性がある。逆に、本来ならば評価されてもよいような高水準の授業に対して「出席、授業態度に厳しく単位取得が難しい授業」や「高度な専門性のため授業についていけない」などの理由で「満足度」が低くなる傾向も否定できない。これらの観点を考慮して、「新しい自己発想」「分野への関心」「自分で考える姿勢」と「満足度」という4つの設問の平均値を以って「総合評価」とした。

こうした基準による結果が「総合評価」としてふさわしいかどうかについては慎重な検討が必要である。本委員会において「総合評価」の在り方について何度も議論してきたことを記しておきたい。

本報告書に掲載されている全学集計表「A～D表」は2009年度に精査された集計法であり、現在に至っている。2011年度から全学集計として「E．学科別集計」を加えることになった。

この学科別集計については、2009年度から報告書への掲載の是非を本委員会内で検討していた。学科別集計表は各学科の設問ごとの数値がわかりやすい形で比較可能であること



自体が議論を呼んだ。各学科の「序列」が示されているとの誤解を招きかねないという危惧があったからである。結論として、本委員会では2011年度から「E. 学科別集計」を掲載することにした。

本学が実施している「授業評価アンケート」は授業を数値化して序列化しないというのが本委員会の原則であり、学生および教員にアンケート実施を依頼する前提でもある。実施科目には大規模科目もあれば小規模科目もあり、授業形式においても演習や講義など多様である。また、各学科や分野の性質や教員一人当たりの学生数などの全く異なる状況にある授業に対して同一基準によって一律に数値化することが原理的に不可能である。本学の「授業評価アンケート」は個々の授業のアンケートを通して「授業改善」そして組織的な「教育改善」に活かすことが目的であることを再度確認しておきたい。

2012年度には携帯及びスマートフォンを使用したWebアンケートを実施した。従前のマークシート方式による膨大なコストと事務の過重負担が限界に達し、アンケート自体の可能性も拓げるための試みであった。しかしながら、東松山校舎における携帯電波状況の悪さとサーバーダウンのトラブル等が重なった。Webアンケート方式は時期尚早と判断し、2013年度からは従前のマークシート方式に戻した。

### **(本年度の実施)**

2006年度以降後期に実施していたが、本年度は前期にアンケートを実施した。多くの教員から前期にアンケートを実施してほしいとの下記のような要望を受けてのことである。

- ①前期科目のアンケートが実施されず授業改善に活かさない。
- ②前期にアンケートを行いその結果を後期の授業改善に活かすことでアンケートを回答した学生への還元につなげたい。
- ③2004年度を最後に前期のアンケート実施がなされていない。

## **第2節 アンケート実施方法と集計の概要**

アンケート項目は授業形態や内容に関わらず全科目共通で、必要に応じて2項目を上限として質問項目の追加を可能とした。追加項目を実施した科目数は63件であった。

本年度も無記名方式(匿名回答)とした。学生の自由な意見を妨げるべきではないこと、回収率が極端に下がる懸念があるなどの観点から今までの方式を踏襲した。

本委員会では、今の形でアンケート実施を続けるのであれば、現行の無記名方式を取らざるを得ないと考えている。しかしながら、真摯な姿勢でアンケートに取り組む学生がいる一方で、根拠のない批判や明らかに問題のある記述をする学生もいないわけではなかった。記名式のアンケートとし責任ある回答を求める教員からの声も少なくない。

本委員会ではアンケートそのものに対する総合的見直しや検討を予定している。場合によっては記名式アンケートの可能性も視野に入れて議論を進めたい。

### **1) 実施対象**

前述の通り、原則、専任教員は2科目、非常勤講師は1科目実施とした。

まず、前年度に各学部・学科、東松山キャンパス運営委員会及び国際交流センターにおいて、アンケートに相応しくない科目(オムニバス科目、短期集中科目、演習科目等)の抽出と授業形式等の作業を依頼した。その結果を尊重し、本委員会にて本年度の全学の授

業データを整えたうえで、アンケート対象科目の選定基準を（1）登録受講者数が最も多い、（2）登録受講者数が10名以下の科目は原則として対象外とする、とした。

次に、本委員会が上記にしたがって選定したアンケート対象科目を各教員に連絡し、別科目での実施を希望する場合には本委員会へ申請をする方式を採った。その結果、変更希望の申請は計64件であった。主な変更希望理由は、「昨年度とは異なる科目で評価を受けたい」「専門科目での評価を希望したい」等であった。技術的に不可能な場合を除いて、教員の希望通りの科目へ変更した。

実施した教員数と授業科目数等は以下の通りである。

教員数：923名（専任305名、非常勤623名）

授業科目数：1,222科目

有効回答数：49,986人（延べ）

無効回答数：761人（延べ）

回答率：65.8%（無効回答数を含む回答率66.8%、分母は登録受講者総数）

#### ※回収率について

上記の回答率は登録受講者数（履修登録者数）を分母として算出しているため低い数字となっている。しかしながら、単位習得を断念した学生やアンケート当日に欠席した学生が多くいることを考慮すると、実質的な回収率（授業に出席した学生と回答件数比）は高いと考えられる。

表 実施科目・人数

区 分	専／非	科 目	人 数
実施対象科目	専任	600	306
	非常勤	634	627
	計	1,234	933
当日実施しなかった科目	専任	8	7
	非常勤	4	4
	計	12	11
当日実施科目	専任	592	305
	非常勤	630	623
	計	1,222	928

※1）原則、専任2科目・非常勤1科目だが、科目選定上の都合で科目数に変動がある。

※2）実施しなかった専任7名のうち6名については、対象の2科目中1科目は実施した。

## 2) 実施期間と方法

アンケートは、2014年6月30日から7月5日の当該授業時に実施され、実施時間は授業終了前の15分～20分間であった。この週に実施できなかった科目は、翌週の予備期間に実施された。

アンケート実施に際し、教員はアンケート用紙の配付後に教室から必ず退室することとし、

回答後のアンケート用紙は受講生の中から依頼した学生協力者によって回収された。

### 3) 集計方法

回答は5択制を採用し、回答は「非常にそう思う／そう思う／どちらとも言えない／そう  
思わない／まったくそう思わない」としたが、「Q1」では「100～90％／89～80％／79～70％  
／69～60％／60％未満」、「Q6」では「100～90点／89～80点／79～70点／69～60点／60点未  
満」と、設問に合わせて具体的数値の選択肢を設けた。

なお、項目ごとに平均値を出すとともに実数も集計し、エラーデータは除外している。

以 上



## 第2章 授業評価アンケートの集計内容と公表について

### 第1節 集計に際しての基本姿勢と留意点

アンケートの集計に際しては、本学の基本的な姿勢として次のことが継承されている。前回報告書より、当該の文章を以下に再録する。

学生による授業評価は、授業の運営をめぐって学生と教員のあいだの意思疎通を図り、教員が学生の声を受け止めながら今後の授業改善に役立てるための基本資料を提供する目的を持っている。したがって授業評価は、授業改善に取り組む教員を励ます「応援歌」となるべきものであり、この原則を離れて、集計結果に示された数値（評点）のみに基づいて単純に教員ないし授業を序列化することは厳に慎まなければならない。この点は、教員のみならず学生、職員を含め、全学の共通認識としてあらためて確認しておかねばならない。

（2013年度版大東文化大学授業評価報告書『学生による授業評価と大学教育』）

なお、この報告書の集計データは、今後の各学部・学科による組織的な建設的授業改善議論を深めていくためのひとつの素材として活用されることを期待している。

### 第2節 結果の分析について

本委員会では、第1回目から第10回目（2011年度）実施のアンケートまで全学集計データをもとに様々な分析を行い、2009年度から2011年度については、統計の専門教員を委員に選出し本格的な分析も実施してきた。

FD活動は、繰り返し記してきたように、大学全体のみならず各学部・学科のレベルでの組織的な教育改善活動としてつなげるべきものである。しかし、アンケート対象科目は全学部横断的に受講可能な授業がむしろ少なく、主に学部・学科独自の授業が中心となっているため、今までの分析が蓄積してきた以上の成果を本委員会によって総合評価を行うことは大変困難になっている。

そこで、2012年度からは本委員会による総合分析を廃し、各学部・学科への依頼として報告書のデータを活用してそれぞれの事情に応じた教育改善を図っていただくこととした。全学のFDを担う本委員会と各学部・学科との共同作業により、授業評価アンケートを「個々の教員による授業改善」から各学部・学科による「組織的」な「授業改善の取組み」、さらには「教育改善」に繋がることを期待している。昨年度（2013年度）の各学部・学科の分析報告書は本報告書の第3章に掲載している。

但し、本委員会の活動がアンケートの分析業務を各学部・学科へ移行することによって低下するものはないことを強調しておきたい。「授業評価アンケート」が意図する業務は非常に重要ではあるが、アンケート実施それ自体が大学としてのFD活動であるという時代は過ぎている。本委員会においてもアンケート方式の全面的な見直しを視野にいたした本格的検討を予定している（結果として現行通りということもあり得る）。「授業評価アンケート」などの学生意見の収集はFD活動の一環でしかない。本委員会では大学全体に関わる

教育改善を目指して、関連する全学的調整・提案と行動のための活動組織として役割を全うしていきたい。

### 第3節 公表について

本報告書（冊子）には、以下の集計データと、その分析が収録されている。

- A：履修登録者数・回答者数レベル別集計（全学・学年・学部別集計）
- B：項目別集計（全学・学年別集計）
- C：項目別集計（学部別集計）
- D：学年別集計（学部・学科別集計）
- E：学科別集計

今回も実施した全科目毎の担当教員にコメントの提出を求めた。その結果、1,222科目中、提出があったものは634科目、提出率は全体で51.9%（専任46.7%、非常勤53.3%）だった。昨年（49.0%）より若干回収率が上がったが、例年通りの全体的に低い数値、専任教員より非常勤講師の回収率が高い傾向が続いている。

その個々の科目の集計結果とそれに対する担当教員からのコメントは、2006年度より教員のコメントを付して学内に公表されることとなり、公表の方法は、CD-ROM版の報告書を図書館、各学部事務室・学科事務室等に置き、学内者（学生・教職員）のみ閲覧可能としている。

なお、ホームページでも学内者（学生・教職員）を対象として、認証の上、閲覧可能とすることを予定していたが、現行システムの仕様上できないことが判明し、やむを得ず断念した。

以 上

### 第3章 昨年度（2013年度）の各学部・学科による分析報告

第1章第1節でも触れたが、2011年度までは全学集計結果をもとに本委員会が分析作業を行い、アンケート結果をどのように授業改善へ活かすかは教員個人に委ねることに留まっていた。そこで、本委員会では各学部・学科の「組織的」な取り組みが必要と判断し、2012年度のアンケート結果から各学部・学科のFDを担う組織に分析を依頼し、報告をいただくこととした。

前回に引き続き、昨年度（2013年度）のアンケート結果を各学部・学科に分析していただき報告書を提出いただいたので、次頁以降に掲載をする。

今回は2回目の試みとなったが、各学部・学科の担当者等からポジティブな意味で意外に反響が多かった。すなわち、本委員会と個々の教員のみが把握しがちだった情報が、各学部・学科という「組織」で結果を分析する仕組みがそもそも欠けていたため、「いい振りかえりの機会」を設けることにより、アンケート結果による「授業改善」を如何にするかという課題が各学部・学科の教育全体を如何にするかという議論に繋がり、それはいわゆる「FD活動」という大きなカテゴリーである「教育改善」を行う姿勢が出ていたということである。このことは、次頁以降の各報告書からもよくうかがえる。

当然のことながら、この取り組みは引き続き実施していく予定であり、本年度つまり2014年度のアンケート結果について各学部・学科へ分析を依頼し、2015年度版の報告書に掲載したいと考えている。

以 上

## 2013 年度授業評価アンケート報告書

文 学 部

### 1. 2013 年度各設問の数値に関する検証

Q1「出席率」～Q20「満足度」までの全20項目について、全19学科中、文学部書道学科が17項目に亘って第1位を占め、英米文学科が12項目において第2位を占めたのは特記すべきであろう。

日本文学科はQ4「シラバスの熟読」で全学科中第1位、Q8「シラバスの反映」で全学科中第2位を確保しながら、Q2「予習・復習・練習」が全学科中第14位というのは残念な結果である。

中国学科は19項目において全学科中第9位内に入っているが、Q1「出席率」が第13位というのは今後改善を要する点になろう。

教育学科は19項目が全学科中第10位内に入るが、Q4「シラバスの熟読」が第16位というのは残念である。

また、Ⅲ総合評価(Q17「新しい自己発想」、Q18「分野への関心」、Q19「自分で考える姿勢」、Q20「満足度」)の文学部全学科平均値(1年生～4年)は3.8で、他学部を抜いて第1位であった。因みに、他学部の平均値(1年生～4年)は、次の如くであった。外国学部・国際関係学部・スポーツ・健康科学部3.7／法学部3.6／経済学部・経営学部・環境創造学部3.5。

### 2. 所属学部・学科の教員コメントについて

文学部全体を見た場合、「授業目的の明確さ」「教員の熱意」が高く評価されている。

また、文学部共通の問題点としては、「板書の文字が汚い」「私語を注意しない」「早口で聞き取りにくい」等々が指摘されている。心当たりがある教員は専任、非常勤を問わず改善が求められる。

### 3. 2013 年度の検証を踏まえ、2012 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

今年度も文学部各学科の授業改善の取り組み等の実践交流会(年1回)を継続して開催する。

実践交流会等の記録・資料をFDニュースに紹介して全員に配布する予定である。

授業改善の取り組み等の実践交流会にはできるだけ多くの教員に参加してもらうように促す。

以 上



## 1. 2013 年度各設問の数値に関する検証

- ・ Q1～Q20 の項目すべてにおいて経済学部は全学平均値より低くなっている。このうち「学生の自己評価」(Q1～Q6)は全学平均値とほぼ同じになっているが、「授業についての評価」(Q7～Q16)、「総合評価」(Q17～Q20)は全項目で低く、特に Q7(この授業の目的やねらいは明確でしたか)、Q15(教員の授業に対する熱意は感じましたか)、Q16(この授業を毎回楽しみにしていましたか)、Q17(この授業をとおして、自分にとって新しい考え方や発想が身につきましたか)の項目は最下位(小数点第 3 位を四捨五入)となっている。
- ・ 総合評価(Q17～Q20)の平均値は、経済学部は 8 学部の中で下から 2 番目と低くなっている。これは 2012 年度の結果と同様であるが、異なる点は小規模クラスにおいても 2013 年度では低くなっていることである。履修者が 30 人未満、30 人以上 50 人未満、50 人以上 100 人未満で 8 学部中最下位となっている。一方、100 人以上 200 人未満、200 人以上 300 人未満、300 人以上は全学平均値とほぼ同じになっている。
- ・ 学年別に総合評価(Q17～Q20)の平均値をみると、1 年生よりも 2 年生で低く、3 年生、4 年生になると高くなるという V 字型を示している。1 年生の値も低いが、2 年生ではさらに低くなり 8 学部中最下位となっていることから、この 1 年生、2 年生の値について、今後さらに検討していく必要があるだろう。

## 2. 所属学部・学科の教員コメントについて

- ・ 2012 年度までも多数見られた教員コメントのうち、「私語への対応」、「板書やスライドの見直し」については、教員の所見から改善につながる取り組みが行われていることがうかがえる。そのコメント事例として、「理解するには、まず丁寧にきれいに書くことが大切です。その手本になれるよう意識的に板書しました。また、黒板にならってノートをとれば、論理的に理解できるように色チョークの使い方も工夫しました。」があげられる。
- ・ 一方、「学生参加の機会」については、アンケート実施対象 2 科目のうち小規模クラスでは達成できているが、大規模クラスになると低くなるという教員が多数見受けられ、大規模クラスでは工夫しているが改善が困難である状況がうかがえる。それを示すコメントとして「学生さんは何を望んでいるのでしょうか。・・・初回の授業時にどの様な期待を持っているのかアンケートを取ることを考えます。」があげられる。
- ・ 以下では、授業改善につながるコメントを列挙しておきたい。
  - 授業内容に即した基本問題を宿題として課した。
  - テーマに沿った映画を紹介した・裏舞台を紹介した。関連ニュースをできるだけ具体的に紹介した。
  - レポートにコメントをつけて返した。
  - 毎回、授業内容を踏まえたコメントを求め、回収する際には直接対面して受け取り、大教室であっても個別の事情や授業内容に関する反応について対話しやすいよう心がけた。
- ・ なお、シラバスの反映に関する項目(Q8)については、シラバス通りの授業を行っても評価が低いというコメントがいくつかあったことから、この質問項目の見直しが必要であろう。

## 3. 2013 年度の検証を踏まえ、2012 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

- ・ 上記 1.、2.の内容を学部内で共有する。
- ・ 学生の学力にばらつきがあり授業運営に支障をきたしていることから、ティーチングアシスタント導入が必要とのコメントもあった。授業の質の向上のため、予算・人員面からの支援が望まれる。

以上

## 1. 2013 年度各設問の数値に関する検証

- (1) 授業の期待値と満足度には相応のギャップがみられる科目もあるが、おおむね良好な数値であった。受講科目によっては予習準備が前提であるため、積極的に参加する学生とそうでない学生との差が大きい。新しい自己発想が啓発できる学生は学習参加の熱意も高い。どのレベルの学生に照準をあてるかが課題で、同時にモチベーションの低い学生へのフォローをどうするか、具体的な対処が望まれる。
- (2) 検定試験対策などの授業で、学生の学習指針、目標を設定することは、学生の満足度を引き上げることにもなるので、積極的な支援が続けられている。また、学生への質問、確認の時間を増やすよう心がけている。その結果、前年度よりも満足度が向上する要因となっている。
- (3) 授業に変化をもたせ、学生の関心を引き出す工夫として、パワーポイントによる授業、視聴覚教材の使用なども試みられている。その一方で、授業で何を教えているかが分からない、内容がつかめない、授業についていけない、といった個人差が一定数値見られる。こうした状況の改善には、授業の工夫とともに、オフィスアワーのさらなる活用によって、学生との距離感を埋めていく努力が必要である。

## 2. 所属学部・学科の教員コメントについて（抜粋）

- (1) 「同じような授業ばかりで眠くなる」→この授業の内容は、他の中国語の授業の基礎に当たる。例えば運動部でグラウンド整備、ランニング、玉拾いなどを省略できないのと一緒にである。しかし最後に達成感を得られるような工夫を考えたい。「授業中の私語が目立つ」→このクラスは問いかけに対する反応がよかったが、それだけ脱線しやすいということにつながるので、切り替えをしっかりとしなければならない。それ以外は「熱意が伝わった」「わかりやすい」など、概ね好評価だった。
- (2) 学生の意見に答えます。
- ①テスト中に不正行為が行われていないかよく見てほしい⇒答：これは不正をした者がいたということでしょうか。数回巡回しましたが気づきませんでした。たいへん寂しいことです。
- ②授業の進行が若干遅い。⇒答：昨年学生からついていけないから速度を遅くしてほしいという要望が強かったので、今年はそれに答えました。できる人は速度が遅いと感じたかも知れません。
- ③一部の学生は授業への満足度が高いという点がありますが、「ペースが少し早く感じた」とか、「回答者に少しかたよりが見られる」などのご意見を真摯に受け取り、改善方法に力を入れていきたいと思えます。今後、全体的に評価を上げていくことが肝要だと思います。

## 3. 2013 年度の検証を踏まえ、2012 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

受講生の習熟度については、近年格差が目立ち始めているが、この背景を単にゆとり教育の世代に求めるのではなく、授業方法、教学側の還元方法について議論を深めていく必要がある。シラバスの授業反映についても各所に意見が見られるが、評価の方法とともに、他学科、他科目の実施状況を比較検討しながら改善に努めていきたい。授業評価については、教員各人の意識も高まりつつある。また、学生との協働参加の授業も工夫されているが、なお、教員相互の意見交換の場が少なく、自己啓発の機会を多くしたい。その一環として外国語学部では年三回、FD集会を開き、教員との意見交換の場として提供している。

2013 年度は外国語学部では合計 3 回、FD集会を行った。中国語学科の担当は以下の通りである。

第一回 2013 年 6 月 10 日 中国語学科高橋弥守彦教授 これ以上向上する中国語教育の実践「教室での教授法の紹介」参加教員 25 名

以上

# 2013 年度授業評価アンケート報告書

外国語学部英語学科

## 1. 2013 年度各設問の数値に関する検証

(1) ほとんどの科目が全学平均値を上回っていたが、出席率の低下が若干下回っていたのは残念である。語学の授業では出席、授業参加が大前提である。積極的な学生がいる一方で、消極的な姿勢が目立つ学生も少なくない。モチベーションを高める授業の工夫の他に、学生の学習上の悩みを教員がいかに関心を持ってフォローしていくか、オフィスアワーの活用など対処していく必要がある。

(2) TOFEL に対する関心が高く、授業に取り入れる工夫が行われているが、学生によってはレベルにばらつきがある。「ゆとり教育」の世代では「疲れない程度に適当に手を抜く」といった習慣が抜け切れず、平均的な学力を伸ばすのにはなお努力が必要である。

(3) 学生参加の機会が多い科目とそうでない科目とのギャップが見られるが、それぞれの形態の特徴を生かした授業の理解度を高めていく必要がある。課目によっては毎回小テストなど何らかの作業を行っている工夫が見られ、学生の満足度が得やすくなっている。「シラバスの反映」についての意見が各所に見られる。成績評価や授業予定を明確に伝えていても、欠席が多い学生や注意散漫な学生には伝わっていないことも多く、伝達の仕方にも工夫が一層望まれる。

## 2. 所属学部・学科の教員コメントについて（抜粋）

①「教科書をあまり使っていない」との指摘に対して、確かに配布プリントにまとめて講義しているため、教科書を授業中に開くことはあまりない。それで、このような指摘が出てきたのだと思う。学生が、自主的に自宅で教科書を読むということは考えにくいので、教科書を読んで、意見を書くなどの課題を増やして教科書を利用し、さらなる知識の定着につなげたい。

②「先生がハキハキしていた」⇔「少し早口でところどころ聞き取れなかった」⇒学生によって受け止め方が違うのかもしれませんが。常にゆっくり話すのも話し方が単調になってよくないので、重要な部分はゆっくり話し、繰り返すようにしています。

「スライドの進め方が早く書ききれない時がある」⇒スライドを印刷したものを配布することも考えましたが、それでは授業へ積極的に参加しない可能性を考えました。授業中に何度も指示しましたが、教科書に線を引けばいい部分とノートをとる部分を使い分けられるようになって欲しかったです。

③一方的な説明になり、学生が集中し、参加できる授業ではないので、全体的な授業改善が求められていると考えます。自発的に学習意欲をもって内容を理解し、自ら考えるように、授業内容、方法、板書、配布資料の改善が必要であると考えます。

## 3. 2013 年度の検証を踏まえ、2012 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

講義科目、演習科目の授業形態をより意識した授業の工夫が望まれる。同時に、教養科目から専門科目への橋渡しとなる科目が、学生の学力伸長のための課題になる。語学という専門において日々の修練が必要不可欠なことを常に発信する授業を心がけていく必要がある。

授業評価についてはなお、教員相互の意見交換の場が少なく、自己啓発の機会を多くしたい。その一環として外国語学部では年三回、FD集会を開き、教員との意見交換の場として提供している。

2013 年度は外国語学部では合計 3 回、FD集会を行った。英語学科の担当は以下の通りである。

第二回 2013 年 9 月 23 日 英語学科グレゴリー・リー准教授 リーディングランニング多読インザクラスルーム「多読を主体とした授業の紹介」参加教員 28 名

以上

## 1. 2013 年度各設問の数値に関する検証

(1) 「予習・復習・練習」、「授業への集中」、「学生参加の機会」、「自分で考える姿勢」のいずれもが平均して高い評価であった。学生のコメントも多く、真摯にアンケートに答えてくれた様子が見える。また、今年は「I.学生の自己評価」が全体的にかなり高い。真面目な学生が多いという教師側の評価とも一致している感がある。

(2) 毎週の期待値については点数が全体的に低かったが、学生の授業に対する関心度や準備などの個人差もあると思われるので、受講生の意見をできるだけ反映させていく工夫が求められる。また、教室でのコミュニケーションが課目によっては低い評価があるが、受講生の比較的多い講義科目に集中していたので、今後の改善の課題として検討したい。

(3) 概ね平均的な評価ではあるが、学生の自己評価における「授業姿勢への自己評価」、および「出席」が低く、授業に対する評価も「教員の熱意」がやや低い評価である。一限の授業という点を考慮しても、それでも学生が参加したい、なくてはならないという心構えを持てるように、教員の側からより積極的に働きかける必要がある。

## 2. 所属学部・学科の教員コメントについて（抜粋）

① 学生が寄せてくれた「改善点」に、「取り組みが軽い学生が多いので、注意して欲しい」「居眠りや内職を注意しない」という二点があった。居眠りや内職について気が付けば、あえて指名して意見を言ってもらう、という形で対処していたが、それでもまだ甘かったのかもしれない。また、とても熱心に授業に参加している学生からすれば、そうではない学生の態度が気になるのかもしれない。どちらも私の対応に細やかさが足りなかったということを反省したい。一方、「良かった点」として「文学の授業をうけてきた中で一番楽しい」「文学についての関心を高めることができた」「新しい本の見方がわかった」といった感想は涙が出るほど嬉しく、「熱意が松岡修造みたいで良い」にはちょっと恥ずかしくなった。

② 「授業のスピードがちょっとはやい」「自ら学び、考え、人に教えられるくらいになるまで理解して発表するという授業内容は良かったと思う（中略）考える時間を与えてくれるのはわかるけれど、もっと早く正しい答えを教えてくれた方が効率的だと思う」「楽しい」前期は、「復習クイズ、講義」という構成で行っていた。クイズに正解するまでに時間がかかり、講義時間が少なくなってしまうことが多々あった。後期も発表内容の確認の質疑に時間がかかった。学生の参加度を重視しているとはいえ、時間を調整していきたい。コメント欄に「楽しい」という意見も多く、よかった。

## 3. 2013 年度の検証を踏まえ、2012 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

日本語学科では日本語学・日本語教育学を主体にした科目群と日本文学・日本文化を主体とした科目群があり、同時に一般科目との受講性格も質的に異なるところが出てくる。学生には教室以外でもオリエンテーションやオフィスアワーなどを活用し、「受講の心得」的なガイドブックを作成していくことも考えられる。授業評価についてはなお、教員相互の意見交換の場が少なく、自己啓発の機会を多くしたい。その一環として外国語学部では年三回、FD集会を開き、教員との意見交換の場として提供している。

2013 年度は外国語学部では合計 3 回、FD集会を行った。日本語学科の担当は以下の通りである。

第三回 2013 年 12 月 3 日 日本語学科中道知子教授 外日共修の日本語授業「外国人留学生と日本人学生が共修する授業の紹介」参加教員 34 名

以 上

# 2013 年度授業評価アンケート報告書

法学部法律学科

## 1. 2013 年度各設問の数値に関する検証

- ① 思いのほか高い数値として、「出席率」があげられる。大教室の講義では、実感としてアンケート結果より低いように思われる。アンケートに協力した学生は、日頃から出席率がよいと思われる。
- ② 法律学科は平均より低い数値を示しているアンケート項目が多いが、「シラバスの熟読」及び「授業姿勢への自己評価」については、現行のカリキュラムでは必修科目（共通必修科目、コース必修科目）が多く、学生の科目選択の幅が狭いことが原因の一つと思われる。2015 年度以降に実施する新カリキュラムでは学生の科目選択の幅が広がるため、改善が見込まれる。また、「理解しやすさ」及び「適切な授業進行速度」については、法律学科の専門科目がいわゆる「積み上げ型」なので、例えば3年次配当科目を理解するためには1・2年次配当科目を理解していることが必要となることが原因の一つと思われる。
- ③ 「学生参加の機会」、「新しい自己発想」及び「自分で考える姿勢」については、法律学科での多くの専門科目が大教室での講義形式であることが原因の一つと思われる。法律学科では、このような項目は専門演習で実現されるものと考えられる。
- ④ 「予習・復習・練習」及び「教材等の持参頻度」についての数値も低かったが、後述のように教員から学生へ改善を望む意見が多く寄せられた。

## 2. 所属学部・学科の教員コメントについて

昨年度と大きな相違はないように思われる。

- ① 「板書などの見やすさ」について、設問の評価でも比較的低い数値であり、これとあわせてレジュメ、解説プリント等の改善について指摘する学生が多いように思われた。まずは教員が各々個人で努力すべき問題ではあるが、教員間の情報の共有も必要と思われる。
- ② 「授業態度への対応」について、全体としては設問の評価の数値は高いとはいえないが、教員によっては学生から肯定的に評価されていた。
- ③ 「理解しやすさ」と「適切な授業進行速度」について、学生からは教員が早口であることへの改善要望があり、教員からは学生に授業の予習・復習、教材の持参を求める意見が多かった。

## 3. 2013 年度の検証を踏まえ、2012 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

法律学科では、2014 年度から教務委員会を教務・FD 委員会に改組して、FD 活動を推進しているところである。教務・FD 委員会の活動を通して、各教員が授業評価アンケートの結果をできる限り共有し、「理解しやすさ」、「適切な授業進行速度」、「学生参加の機会」、「新しい自己発想」、「自分で考える姿勢」などの項目を中心として改善に取り組んでいく。

また、2015 年度から新カリキュラムとなることに伴い、その実施についてアンケート結果を活用していく。

以 上

# 2013 年度授業評価アンケート報告書

法学部政治学科

## 1. 2013 年度各設問の数値に関する検証

政治学科では授業評価全体で、全学の平均値の評価が多い。授業出席率、シラバスの熟読、教材などの持参頻度、シラバスの反映、適切な授業進行速度、教員の熱意、毎週の期待度、新しい自己発想、分野への関心、満足度、自分で考える姿勢、などは全学の平均である。シラバスは年度の最初の授業日に教員がプリントして持参することもあり、学生はよく読んでいる。教科書はほとんどの学生が授業に持参している。政治学の理解のしやすさは、専門性が高いこともあり平均以下だが、学生は真面目である。政治学科では授業でほとんど私語もなく、授業態度は良い。大規模授業がないことも一因だが、語学の授業では大変真面目である。このため、教員の熱意を学生は身近に感じ取っているため、評価は特に高い。

しかし専門教育科目は授業内容がすべて理解できているとは言えない。このため分野への関心は高いが、自己発想や自分で考える姿勢は低くなっている。法学部や経済学部は教員一人当たりの学生数が多いので、この点から見ると政治学科は健闘している。

## 2. 所属学部・学科の教員コメントについて

大教室の講義の場合は、黒板が見えにくいという指摘があった。「説明がわかりやすい」「話すスピードが速い」というコメントが多い。学生の理解度が高くなると、進度はちょうど良いという評価になるが、新しい分野では速すぎるというコメントもあった。また政治学科では出席率が高いので、学生から大規模教室でも出来るだけ出席を取ってほしいという希望が出ている。また専門教育科目では講義形式が多いので、講義に学生参加させるにはどのような手段が良いかを検討していくかが課題である。また「初歩的な質問で恥ずかしい」と学生が思っているせいか、おとなしいという指摘もあった。

抽象的な内容の授業では、板書を多くしないと学生が復習できないので、きれいな大きな字で書くことが求められる。しかし学生の中には高校生から抜け切れずに、「プリントと板書だけで安心」という安易な学生もいる。

全体的に否定的なコメントはなかった。人数が少ない語学や演習クラスでは、特に評価が高く、授業の進め方は好評であった。

## 3. 2013 年度の検証を踏まえ、2012 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

政治学科では 2015 年度から新カリキュラムを実施するために準備をしている。すでに新カリキュラムは 7 月に教授会の承認を得て、学則の改正も承認された。2015 年度からsemester制となり、半期で成績が出るので、学生は学習の結果をすぐに知ることができる。

特に初年次教育を重視するため、入門演習を計画している。入門演習では、基礎的なパソコンの使用法、ワードや学内のメールの利用、図書館の使い方、レポートを書く時に必要な情報の検索、実際のレポートの書き方などアカデミックな研究の仕方を学ぶ。

基幹選択必修科目、展開選択科目、他系列選択科目などの選択科目を設定して、学生に履修しやすいようにカリキュラムを改正した。コース制を廃止したため、今までコースごとに決められていた必修科目を政治学科の全員の選択科目としているので、さらに選択肢が広がった。

毎年夏休みに実施している FD 合宿を利用して、さらに教員間のコミュニケーションを深め、授業方法を改善してゆきたい。

以 上

## 1. 2013 年度各設問の数値に関する検証

国際関係学部では、すべてのゼミと大半の講義科目で国際関係学科、国際文化学科の双方の学生が履修可能であるため、学部単位で記述する。

例年と比べて、2013 年度のアンケート結果に大きな違いは見受けられない。「非常にそう思う」、「そう思う」の数値幅に関して、国際関係学部のそれは良くも悪くも全体の平均値といったところに位置している。強いて言えば、出席や予習復習で他学部よりも低く、シラバスおよび授業の目的や熱意で他学部よりも高い数値が出ている。しかし、その差は特徴的なものではない。

すでに授業評価アンケートを繰り返し、教員もできるところから改善しているので、現状よりの改善はこれまでよりも時間がかかるものと思われる。

## 2. 所属学部・学科の教員コメントについて

年々、「参加型授業」や「双方向性授業」といったものに関心を示すコメントが増えてきているように思う。しかし、その実施となると、なかなかうまくいかない例が多いようだ。本学部の講義は、外国や地域の情勢や文化を扱うものが多く、それらに関する基礎知識が十分な学生は少ない。そのため、少なくとも理解に必要な基礎知識を身に付けるまでは、講義形式の授業を行なわざるを得ない。

ただ、来年度から始まる新たなカリキュラムにおいて、ゼミと講義の中間に位置するような科目を設けており、そこでは教員が双方向性授業を試みるのが可能となっている。その科目や教員すべてに双方向性授業を求めているわけではないが、その導入のために良好な事例が生じれば、FD 研修会などでその紹介を行なっていきたい。

## 3. 2013 年度の検証を踏まえ、2012 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

2012 年度において報告した課題は、全学のアンケートと学部独自のアンケートとの関係性にかかわる問題であった。国際関係学部では全学よりも早く授業評価アンケートを実施し、全学のアンケート開始後も、それを続けてきた。これまで全学とは異なる質問を用意するなど、差別化を図ってきたが、全学の質問も学部の質問も変わっていく中で、両者の質問が同じような内容になってしまった。聞きたい問題や状況が似通っているので、質問の方向性が同調していることは、いわば自然であろうし、同様な質問を異なる科目で実施すれば、それだけ多くのデータを収集できるため、同様な質問であっても実施する意義はもちろんある。しかし、授業時間内でのアンケート実施は教員にも学生にも負担となる側面があり、全学のアンケート対象科目数の増加が続くと、学部のアンケート実施については将来的に再考が必要となるだろう。

このようななか、国際関係学部では来年度から学部カリキュラムが改定される。その大きな変化のひとつは、現行の1年生向け演習（チュートリアル、通年）の半期（後期）にキャリア教育を導入することにある。これまでもチュートリアルにて、大学での授業および演習に必要な知識や技術を教えてきた。それを発展させて大学生および社会人の双方に必要なジェネリック（汎用的）・スキルに関わる授業を、このキャリア教育の時間に行なう予定となっている。

それゆえ、今年度の国際関係学部のアンケートは通常の授業評価に関わるものを取りやめ、来年度からの新カリキュラム実施に資するようなアンケートを行なうこととした。具体的には、現在の1年生全員にチュートリアルの授業内容に対する評価や、キャリア教育に関わるイメージや期待といったものに関わる質問を年度末に実施して、来年度の新カリキュラムに反映させたいと考えている。

以上

## 1. 2013 年度各設問の数値に関する検証

設問全体の傾向をみると、経営学部の平均値は全学平均値並か当該平均よりやや低いという傾向がうかがえる。ただし、全学平均値より低い傾向を示している一部の設問に関しては、際立って大きな差ではないため、概ね全学平均値に近い傾向であると評価できる。

つぎに、個々の設問ごとに気になる数値に関する委員会としての所見を示したい。まず Q3 であるが、前年度の評価をみても、本学部の平均値が全学平均と比較して相対的に低い傾向を示していたため、学生が授業に集中できる環境を整備することが必要な改善事項であることがわかった。本年度のデータでは半数以上の学生が授業に集中していたが、15%近い学生が授業に集中できなかったとの評価は今後の検討課題であると考えられる。Q16 については、授業は学生を楽しませるためにあるのではないものの、学生に次回の授業に対する期待感を持たせることは重要である。当該設問も前年度データで全学平均との比較で低い数値を示していたため、講義の流れや全体像を学生にイメージしやすく説明していくような工夫が必要であると考えられる。

## 2. 所属学部・学科の教員コメントについて

特筆すべき教員コメントを以下に一部抜粋する。

1. 実務経験を活かし、ドラマ、映画、小説、時事ニュースなどを有効活用した講義内容を続けます。よりわかりやすく、バックグラウンドを補足しつつ、説明して行きたいと考えております。また、学生参加型講義は350名の受講生を対象とした場合、難しい面もありますが、工夫して、双方向の講義となるように心がけて行きたいと思っております。
2. 第一に、板書の字を濃く丁寧に書くようにしていきたい。第二に授業のスピードをやや緩やかにするよう心掛けたい。第三に、教材の使い方という面での工夫である。事例やケース等はパワーポイント、あるいはDVDを使用するなど視覚に訴えた情報提供を試みていきたい。また、関連図表やデータも含め、配布資料での補足を充実させていきたい。第四に、学生参加の機会を増やすことである。大教室の授業であるため限界はあるものの、次年度はケースへの理論の応用や解釈において、グループに分けて討論させたり、作業結果を報告させるなど、学生の意見を聞くなど双方向型の授業を取り入れていきたい。
3. ①予習に代わる授業前の授業内容のまとめノートの実行継続とノートのとりかたの説明も行う。②授業内での小課題の内容を改善し、質問の時間もなるべく長くとれるように工夫する。
4. 授業の出席および参加意欲を高めるよう、当該年度において好評であったプレゼンテーションやグループワークの要素は残しつつ、通常の講義時間においても学生が積極的に参加できるようインタラクティブ（双方向）な授業を心掛けようと思っております。また、当該年度は学生の自立を促すよう注意をあえて控えたことから私語が多かったという意見があったため、次年度は真面目な学生の学習意欲を保つため、注意をする方針とします。

## 3. 2013 年度の検証を踏まえ、2012 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

委員会として認識した必要な課題や改善策については上記にあげたとおりであるが、本学部の教員コメントをみると積極的に取り組んでいる姿勢が多く見受けられる。一方で、独自の方針をもって授業に一生懸命取り組んでいる教員もいる。委員会としては、課題は課題として認識しつつ、個々の教員の対応を尊重しながら本学部の授業改善に努めていきたい。

以上



# 2013 年度授業評価アンケート報告書

環境創造学部

## 1. 2013 年度各設問の数値に関する検証

### (1) 全体の数値について

毎年少なくとも 5 回程度は、FD についても教務委員会で検討し、学生によりそう形での授業を模索してきたにもかかわらず、昨年度と比較してどの項目も大幅に数値を下げており、かつどの学科よりも点数の下がり方が著しく、大きな衝撃を受けている(2012 年から翌年にかけての点数変化—大学平均-2.29、環境-4.55、2012 年度のランキング 19 学科中 11 位→2013 年度 17 位)。原因については教務委員会で検証したが、全入に近い対応をした関係もあって学生レベルの低下が著しかったことが一因ではないかと考え、翌年度に期待したいという声もあった。

### (2) 個別数値等について

昨年度は明らかに予習・復習を行っていないと思われていたにもかかわらず、予習・復習をしているといった声が多かったこと、また教師から見れば授業を理解していると到底思えないにもかかわらず、肯定的な答えをした学生が多かったのに対し、今年は正直に実態を反映した形になったとも言える。

### (3) その他

少人数授業が対象になっていないので、ゼミ等での満足度が反映されていないことも低得点の一因ではないかと考えられる。

## 2. 所属学部・学科の教員コメントについて

全体としてコメントを寄せた先生方たちは非常に熱心に学生からの意見を受け留めている印象が強い。また全学平均より高いか低いかを気にしているケースが多々見られたが、他方で学生に発言の機会を設けて配慮しているにもかかわらず、発言の場が足りないと言われると、そのまま受け留めてしまうように、学生に甘くなっているのではないかとと思われるコメントが見られ、学生に寄り添うことと、理解が難しい学問の世界に誘うことの間で揺れている姿が窺われた。この問題については今後ワークショップ等で話し合っていきたい。

## 3. 2013 年度の検証を踏まえ、2012 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

2012 年度において課題となった学生の自己過大評価傾向は低下したと言えるが、他学部・他学科と比較して、顕著な点数の低下原因を今後真剣に探る必要がある。恐らく学生のレベル・意欲低下が相当影響していると考えられ、最早放置できない状況にまで至っているものと思われる。この改善のためには退学率が高い推薦入学者の受入も見直す時に来ているのではないかと。

とりあえず環境創造学部では、今年から推薦入学者への入学前教育を大幅に見直し、学研に依頼して、小論文の複数回添削を実施して、入学前から読み書きの能力向上を図ることにした。そして今後は初年次教育においてもこうした業者のノウハウを利用すると同時に、教務委員会で入門ゼミでは最低これだけのことはやるといった初年次教育の統一性を図る必要もあろう。

また都市環境 I、環境科学 I、社会福祉 I を必修として義務付けたものの、このように 200 人以上の大講義室での講義が増えたことも満足度が下がった一因とも考えられ、今後は 2 回に分けて 100 人ずつで授業を実施する方法も考える必要があるかも知れない。

以上

# 2013 年度授業評価アンケート報告書

スポーツ・健康科学部スポーツ科学科

## 1. 2013 年度各設問の数値に関する検証

- ・ 高評価項目について：出席率、授業姿勢への自己評価、授業目的の明確さ、理解のしやすさ、板書などの見やすさ、教材の使い方、新しい自己発想、分野への関心
- ・ 低評価項目について：シラバスの熟読、教材等の持参頻度、シラバスの反映

スポーツ科学科では実技種目が多く、出席率などをはじめとする平常点を重視する科目も多く、学生の出席や授業態度に対する意識は高い。また、各種目において高い専門性が要求されるものが多く、授業の内容は明確なものとなりやすい。その反面、シラバスやテキストなどが果たす役割が学生から軽視され、シラバスの熟読、教材等の持参頻度の低下に繋がっているものと思われる。また、実技種目において、シラバス通り進まないケースが存在し、それがシラバスの反映の低い評価に繋がっている。具体的には、屋外種目において、雨天時に単元内容が実技から講義に切り替わるというケースである。これらを勘案し、雨天時の授業内容もシラバスには記載する必要があるものと考えられる。今後は初年次教育や入学前教育のプログラムにおいて、シラバスの熟読をより促して行く必要があると考えられる。

## 2. 所属学部・学科の教員コメントについて

### 講義科目：

- ・ 学生参加の機会について改善を図りたい
- ・ グループワークやディスカッションなどの時間を増やし、アクティブラーニングを推進する。
- ・ 座学の教室で身体を動かすのは限界があった。

### 実技科目：

- ・ 学生の技術レベルは高く、ほとんどの学生において真面目で熱心である。
- ・ 授業により関心を持たせる工夫を行っていきたい。
- ・ シラバスの説明にもう少し時間をかける。
- ・ 実技のみで授業を進めていたが、今後はホワイトボードやプリント等を用いる必要がある。
- ・ 技術レベルが低い学生に個人的な指導を心がけ、皆が楽しめるゲームを出来るようにしていく。

## 3. 2013 年度の検証を踏まえ、2012 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

依然として、シラバスの熟読、シラバスの反映という部分が改善されていない傾向にある。具体的な施策が、各教員にまかされているという部分に対策の限界を感じている。シラバスを熟読させる時間を初年次教育などで設けるなどして、対策しなければ、この部分が根本的に改善されない可能性がある。また、上記記述（所属学部・学科の教員コメント）において座学の教室で体を動かすことには限界があったという意見があった。スポーツ科学科では、講義科目でも動きや実例を交えた内容になることがある。幅広い授業展開に対応できる教室の割当の工夫や施設の充実も重要であると感じている。

今後は初年次教育や入学前教育のプログラムにおいて、シラバスの熟読をより促すとともに、高い評価を得た、授業目的の明確さ、理解のしやすさなどにもより工夫を加えた授業展開の検討を引き続き行っていきたいと思う。

以上

# 2013 年度授業評価アンケート報告書

スポーツ・健康科学部健康科学科

## 1. 2013 年度各設問の数値に関する検証

- ・ 高評価項目について：出席率、授業目的の明確さ、教員の熱意
- ・ 低評価項目について：授業の進行速度、理解しやすさ、板書などの見やすさ、教材の使い方、満足度

健康科学科は、臨床検査技師国家試験の出題基準を講義で漏れなく取り扱うため、講義内容には教員の自由度が低い。また、教材についてもテキストに加え、別途プリントでの配布物が多く、一つについてじっくり教授する余裕がなく、進行速度も速くせざるを得ない。このような状況下でも、学生への理解度を高めようと努力・工夫する教員の熱意を学生が理解してくれていることをうれしく感じる。

低評価項目である「理解しやすさ・分野への関心」については、臨床検査技師の国家試験受験を目指す学生と、その他進路を目指す学生が混在し専門科目に対する学力・意欲の格差が生じていることが影響していると考えられる。

## 2. 所属学部・学科の教員コメントについて

### 専門基礎科目：

理解度、満足度については、入学時の学習能力・意欲により評価が2極化する傾向が例年見受けられる。視聴覚教材を工夫し分かりやすい・効率の良い授業をさらに工夫していきたいと思う。入学前教育により、学習能力の格差をなくす努力が必要である。

### 臨床専門科目：

・ 厚労省が国家試験出題基準を示す内容を可能な限り網羅するため、講義では毎回内容を詰め込んで教えるなければならない。そのような状況においても、全般的な高評価を得たことは、自らの授業運営のみの結果ではなく、目標を見据えた学生の取り組む姿勢にも助けられていると感謝している。

・ 出席がわりの毎回の小試験実施が好評であることから、今後も継続し、解説もしっかり行ない、基礎学力の向上につとめていきたい。教室が狭く、教科書やプリントを広げるスペースが少なく、もう少し広い教室で授業を受けたいとの要望が強いので、広い教室で講義を行えるよう配慮してほしい。

## 3. 2013 年度の検証を踏まえ、2012 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

臨床検査技師の国家試験受験意思の有無が、専門科目に対する授業評価に影響していることが、2012 年度に健康科学科独自で行った授業評価アンケートにより明らかとなっている。2013 年度より、コース制の設定など進路希望によって別対応ができるようなカリキュラム改革の検討を行っている。今後も、進路の異なる学生が混在する学科として、対応できるカリキュラム改革の実現を進めていく所存である。

以 上

<参考資料1>

大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、自己点検・評価全学委員会及び学部・大学院と連携をとりつつ、大東文化大学における教育内容及び技法の質の向上を目指すことを目的とする。この目的達成のため、ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「FD委員会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 FD委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を審議検討し、実施することを任務とする。

- (1) 本学の教育システムに対するファカルティ・ディベロップメントの視点からの分析及び提言、並びに教育効果に関する諸調査の企画、実施及び分析
- (2) ファカルティ・ディベロップメントに関連する学内外の情報収集とその普及等の広報啓発活動
- (3) ファカルティ・ディベロップメントに関する講演会、研究会その他の企画及び開催
- (4) 「学生による授業評価」の策定及び実施、授業評価結果の分析、並びに授業評価結果報告書の作成及び公表
- (5) 授業評価結果の有効活用その他授業改善に関する取り組みの支援
- (6) その他、FD委員会が必要と認めた事項

(組織)

第3条 FD委員会は、次の委員をもつて構成する。

- (1) 学長又は学長が副学長の中から指名した者1名
  - (2) 各学部が選出する者 各1名
  - (3) 各研究科が選出する者 各1名
  - (4) 学長が指名する者 若干名
- 2 FD委員会の委員長は、前項第1号に定める者とする。
- 3 FD委員会に副委員長を1名ないし2名置く。副委員長は委員会の同意を得て委員長が指名する。
- 4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があつた場合は、委員長の職務を代行する。
- 5 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 6 委員が欠けたときの後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 7 FD委員会は必要に応じて委員以外の者に同委員会への出席及び発言を求めることができる。

(運営)

第4条 委員長はFD委員会を招集し、その議長となる。

- 2 FD委員会は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。
- 3 FD委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(専門部会)

第5条 FD委員会は、第2条の任務を遂行するにあたり、必要に応じて専門部会を設けることができる。

- 2 専門部会には、委員以外の協力委員を置くことができる。

(事務局)

第6条 FD委員会に関する事務は、学務部学務課が担当する。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、FD委員会の発議に基づき、大学評議会及び大学院評議会の議を経てこれを行う。

附 則

この規程は、平成18年5月15日から施行する。

附 則（平成21年6月15日）

本規程は、平成21年6月15日から施行する。

附 則（平成22年2月22日）

- 1 この改正規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この改正規程の施行に伴い、大東文化大学学生による授業評価実施委員会規程は、平成22年3月31日をもつて廃止する。

## 平成 26 年度 大東文化大学「学生による授業評価アンケート」実施要項

ファカルティ・ディベロップメント委員会

### 1. 実施対象

- (1) 原則としシラバスに掲載されているすべての学部学科の開講科目を対象とし、非常勤講師を含め全員参加とする。
- (2) 大学院はその性格から対象としない。また、今回は専任教員は 2 科目、非常勤講師は 1 科目とする。
- (3) 科目の選定基準は、① 1 科目は受講者が最も多い科目、② 2 科目目（専任教員のみ）は原則として①と異なる授業形態の中で受講者が最も多い科目、③受講者 10 名未満の科目は除く、とする。

### 2. 実施主体

大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント委員会が行う。

### 3. 調査項目

- (1) 今回のアンケートは、マークシート方式とし、学生が自由に記述できる欄を設ける。
- (2) 個々の教員が重要と判断できる事項について学生の意見を聴取できるようアンケートには、教員が独自の設問を 2 問追加できるようにする。

### 4. 実施時期

今回は、平成 26 年 6 月 30 日(月)から 7 月 5 日(土)の 1 週間を正規実施期間とし、翌週を予備実施期間とする。

### 5. アンケートの実施と回収

- (1) アンケートの実施とその回収は本委員会の責任のもとで行う。
- (2) 各教員は、実施前に配付される実施手順（マニュアル）によりアンケートの実施を行う。
- (3) アンケート用紙は、教員が指定された場所で受け取り、教室で学生に配付する。
- (4) アンケートは授業時間終了前に行うこと。アンケート記入時間の目安は 20 分程度である。教員は、受講者数、配付時間等を考慮して、記入時間を十分に確保することができるように努めること。
- (5) 教員は、必要事項の説明と板書終了後、アンケート用紙を配り終わった時点で退室する。その後の用紙の回収は、当該教員が事前に委嘱した学生（学生協力者と呼ぶ）が行い、学生協力者が、用紙の回収後、指定された場所に届ける。なお、学生協力者は、事前に当該教員が委嘱しておくものとする。

### 6. 評価と集計の方法

- (1) 評価の方法  
各授業につき、調査項目ごとに 5 段階評価で行う。
- (2) 集計の方法
  - ①集計は、業者委託とする。
  - ②集計後のアンケート用紙原本は各教員に郵送せず、集計結果及び自由記述欄をデータ化した書類を、当該教員に配付する。なお、希望者のみに読込データ（エクセル・ファイル）を CD-R で配付する。
  - ③②の配付方法は、専任教員には学内で配付し、非常勤講師には上記業者から郵送する。
  - ④本委員会は、全学的な集計結果をまとめ、その分析方法を検討する。

### 7. 結果の取り扱い

「授業評価」の結果を、教員の行政的不利益や教員に対する管理の強化に結びつけることはゆるされない。

### 8. 結果の公表と活用

- (1) 上記の集計結果は『報告書』に掲載し、その『報告書』は、学生を含め学内に公開される。
- (2) 調査項目には、自由記述欄が含まれているが、その部分は『報告書』には記載せず、当該教員が今後の授業の参考資料として活用する。
- (3) 個々の授業科目の評価結果については、教員のコメントを付して学内に公表する。
- (4) 学外への公表は、本委員会の責任において、本学ホームページ等を含め必要に応じて行う。ただし、8 の (2) および (3) の内容は学外へ公表しない。

以 上

## 学生による授業評価アンケートのお願い

授業評価アンケートは、本学の教育をさらに充実させるために実施されるものです。

- 1 名前を書く必要はありません。
- 2 回答内容があなたの成績評価に影響を与えることは決してありません。
- 3 厳正かつ真摯な態度でご回答ください。

大東文化大学 学長

「時間割コード」4ケタを、教員が板書しますので、数字を正確に記入してください。

時間割コード			
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

### 注意事項

- ①回答にはHBの黒鉛筆(シャープペンシルでも可)を用いてください。
- ②訂正する場合には、必ず消しゴムで完全に消してください。
- ③回答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないでください。
- ④余白には何も記入しないでください。

<数字記入例>

<マーク例> 良い例  悪い例

### F 1. 在籍学科

- 文学部 日本文学科  
 文学部 中国学科  
 文学部 英米文学科  
 文学部 教育学科  
 文学部 書道学科

- 法学部 法律学科  
 法学部 政治学科

- 経済学部 社会経済学科  
 経済学部 現代経済学科

- 国際関係学部 国際関係学科  
 国際関係学部 国際文化学科

- 外国語学部 中国語学科  
 外国語学部 英語学科  
 外国語学部 日本語学科

- 経営学部 経営学科  
 経営学部 企業システム学科

- 環境創造学部 環境創造学科

- スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科  
 スポーツ・健康科学部 健康科学科

### F 2. 在籍学年

- 1年生  2年生  3年生  4年生  科目等履修生・交換留学生等

### F 3. この授業の科目区分を教えてください。

- ①  必修科目                      ②  ある程度選択できる科目                      ③  自由に選べる科目  
(選択必修、選択科目・コース別選択科目など)

### F 4. あなたは、この授業をどのような目的で受講しましたか。次の中から最もあてはまるものを1つ選んでください。

- 1つ選択 {  将来の進路、専門性に役立つと思ったから  
 時間帯(時間割)の都合が良かったから  
 内容が興味深いから  
 教員の評判が良かったから  
 単位が取りやすそうだったから  
 友達が受講するから  
 資格取得に必要なだから  
 必修科目だから  
 その他

※裏面のアンケートにお答えください。

以下の設問について、あなたにとって5選択肢のどれにあたるか、〔評価欄〕にマークしてください。

【評価基準】

5：非常にそう思う 4：そう思う 3：どちらとも言えない 2：そう思わない 1：全くそう思わない

〔評価欄〕

I. あなた自身について教えてください

- |          |     |   |   |   |   |   |   |
|----------|-----|---|---|---|---|---|---|
| <b>I</b> | Q 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 1. この授業への出席率はどのくらいですか。<br>〔5:100～90%、4:89～80%、3:79～70%、2:69～60%、1:60%未満〕                  |
|          | Q 2 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 2. この授業に関する予習・復習・練習などを行いましたか。   |
|          | Q 3 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 3. あなたは授業に集中しましたか（私語、不必要な携帯電話の使用、むやみな教室の出入り、居眠り等をしなかった）。                                  |
|          | Q 4 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 4. この授業のシラバス（授業内容が記載されている教授要項）をしっかりと読みましたか。   |
|          | Q 5 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 5. シラバス内及び授業中にて、持ってくるように指示された教材（テキスト、プリント、辞書等）を毎回忘れずに持ってきましたか。                            |
|          | Q 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 6. あなた自身が授業へ真剣に臨む姿勢について、自己評価をするなら何点ですか。<br>〔5:100～90点、4:89～80点、3:79～70点、2:69～60点、1:60点未満〕 |

II. この授業について教えてください

- |           |      |   |   |   |   |   |   |
|-----------|------|---|---|---|---|---|---|
| <b>II</b> | Q 7  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 7. この授業の目的やねらいは明確でしたか。                |
|           | Q 8  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 8. 教員はシラバスを授業に反映させていましたか。             |
|           | Q 9  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 9. 授業内容は理解しやすかったですか。                  |
|           | Q 10 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 10. 授業進行の速度は適切でしたか。                   |
|           | Q 11 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 11. 板書の文字やスクリーンの画面は見やすかったですか。         |
|           | Q 12 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 12. 教員の教材・機器の使い方は適切でしたか。              |
|           | Q 13 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 13. 質問、発言など、学生の積極的な参加の機会がありましたか。      |
|           | Q 14 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 14. 学生の私語など不適切な受講態度に対して、教員の対応は適切でしたか。 |
|           | Q 15 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 15. 教員の授業に対する熱意を感じましたか。               |
|           | Q 16 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 16. この授業を毎回楽しみにしていましたか。               |

III. この授業を総合的にみて、どう思うか教えてください

- |            |      |   |   |   |   |   |   |
|------------|------|---|---|---|---|---|---|
| <b>III</b> | Q 17 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 17. この授業をとおして、自分にとって新しい考え方や発想が身につきましたか。 |
|            | Q 18 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 18. この授業で扱われた分野への関心が高まりましたか。            |
|            | Q 19 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 19. この授業をとおして、自分で調べ、考える姿勢が身につきましたか。     |
|            | Q 20 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | Q 20. この授業を総合的にみて、満足できましたか。               |

**IV**      5 4 3 2 1      IV. (この項目は、教員から別途指示された場合のみマークしてください)

**V**      5 4 3 2 1      V. (この項目は、教員から別途指示された場合のみマークしてください)

この授業について良かった点を最低1つ、改善すべき点を最低1つ記入してください。  
(※この欄はデータ化されて教員に渡すため、筆跡で個人を特定することはできません。)

.....

.....

.....

.....





A. 履修登録者数・回答者数レベル別集計  
(全学・学年・学部別集計)

全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年： 全学年

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

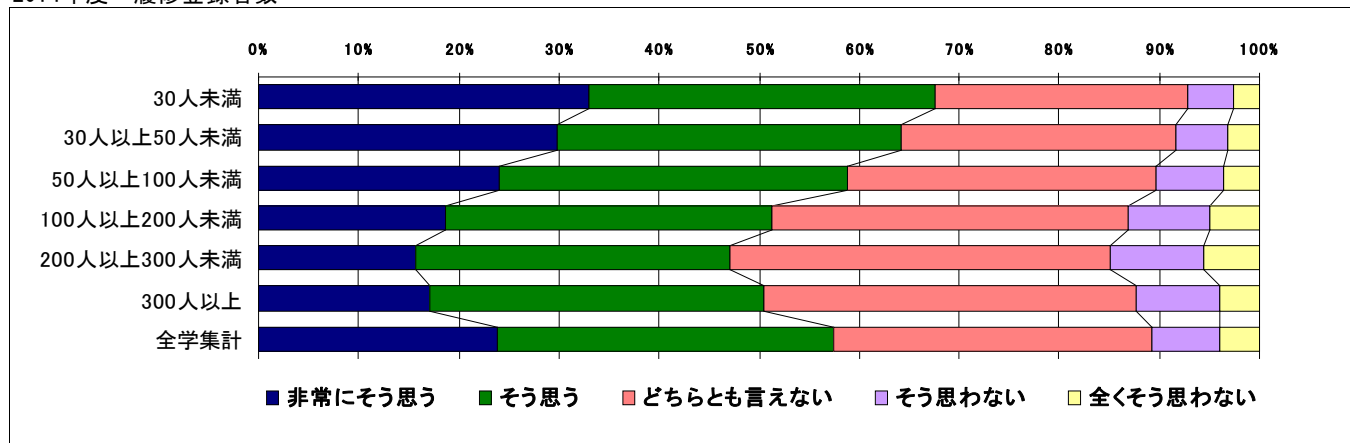
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度 履修者	30人未満	8,503 (33.0%)	8,890 (34.5%)	6,518 (25.3%)	1,145 (4.4%)	691 (2.7%)	3.9
	30人以上50人未満	12,291 (29.9%)	14,087 (34.3%)	11,249 (27.4%)	2,157 (5.2%)	1,307 (3.2%)	3.8
	50人以上100人未満	11,669 (24.0%)	16,951 (34.8%)	15,000 (30.8%)	3,363 (6.9%)	1,700 (3.5%)	3.7
	100人以上200人未満	10,584 (18.8%)	18,374 (32.6%)	20,061 (35.6%)	4,533 (8.0%)	2,849 (5.1%)	3.5
	200人以上300人未満	2,798 (15.6%)	5,655 (31.6%)	6,784 (37.9%)	1,675 (9.4%)	991 (5.5%)	3.4
	300人以上	1,494 (17.1%)	2,928 (33.5%)	3,237 (37.0%)	732 (8.4%)	352 (4.0%)	3.5
	全学集計	47,339 (23.8%)	66,885 (33.7%)	62,849 (31.7%)	13,605 (6.9%)	7,890 (4.0%)	3.7
2014年度 回答者	30人未満	14,242 (30.5%)	15,972 (34.2%)	12,452 (26.7%)	2,497 (5.4%)	1,488 (3.2%)	3.8
	30人以上50人未満	11,983 (27.8%)	14,803 (34.4%)	12,445 (28.9%)	2,470 (5.7%)	1,360 (3.2%)	3.8
	50人以上100人未満	12,914 (20.5%)	21,031 (33.5%)	21,486 (34.2%)	4,652 (7.4%)	2,787 (4.4%)	3.6
	100人以上200人未満	7,724 (17.8%)	14,209 (32.8%)	15,502 (35.7%)	3,788 (8.7%)	2,158 (5.0%)	3.5
	200人以上300人未満	476 (18.3%)	870 (33.4%)	964 (37.0%)	198 (7.6%)	97 (3.7%)	3.5
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	—
	全学集計	47,339 (23.8%)	66,885 (33.7%)	62,849 (31.7%)	13,605 (6.9%)	7,890 (4.0%)	3.7

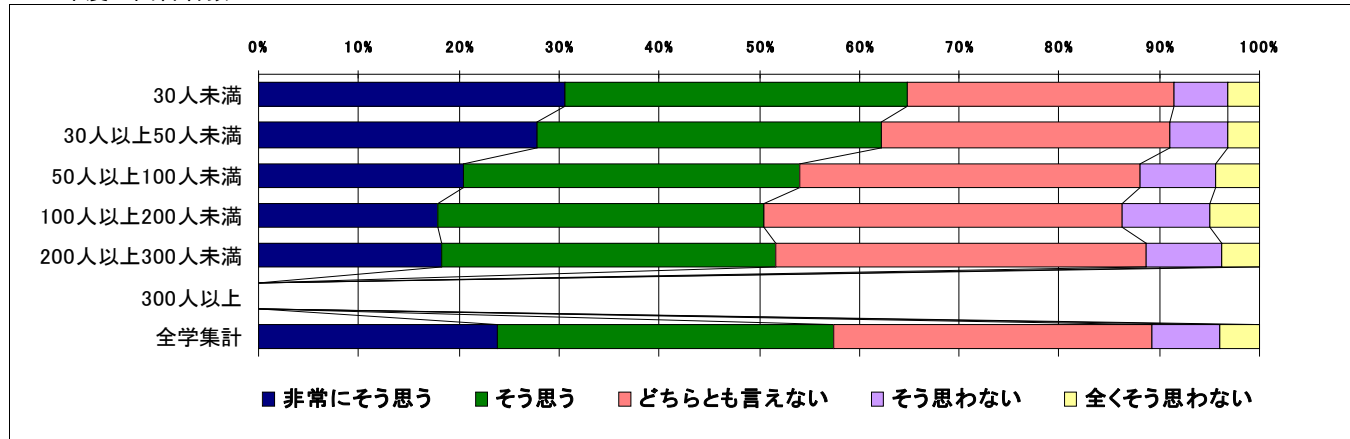
<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度 履修登録者数



2014年度 回答者数



全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年： 1年

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

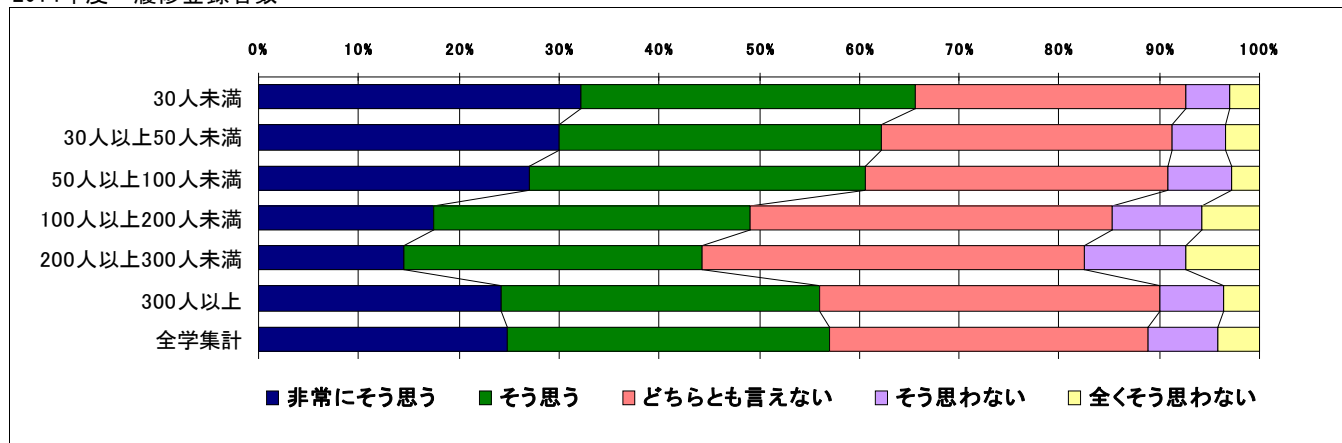
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度 履修者	30人未満	3,948 (32.1%)	4,129 (33.6%)	3,308 (26.9%)	537 (4.4%)	373 (3.0%)	3.9
	30人以上50人未満	5,108 (30.1%)	5,470 (32.2%)	4,918 (28.9%)	905 (5.3%)	588 (3.5%)	3.8
	50人以上100人未満	3,389 (27.0%)	4,225 (33.6%)	3,811 (30.3%)	778 (6.2%)	359 (2.9%)	3.8
	100人以上200人未満	3,432 (17.5%)	6,176 (31.5%)	7,100 (36.2%)	1,768 (9.0%)	1,111 (5.7%)	3.5
	200人以上300人未満	902 (14.5%)	1,861 (29.8%)	2,386 (38.3%)	627 (10.1%)	459 (7.4%)	3.3
	300人以上	528 (24.2%)	694 (31.8%)	742 (34.0%)	141 (6.5%)	76 (3.5%)	3.7
	全学集計	17,307 (24.8%)	22,555 (32.3%)	22,265 (31.9%)	4,756 (6.8%)	2,966 (4.2%)	3.7
2014年度 回答者	30人未満	5,700 (30.1%)	6,256 (33.0%)	5,385 (28.4%)	963 (5.1%)	642 (3.4%)	3.8
	30人以上50人未満	4,464 (32.0%)	4,457 (31.9%)	3,910 (28.0%)	704 (5.0%)	435 (3.1%)	3.8
	50人以上100人未満	3,329 (21.1%)	5,259 (33.3%)	5,363 (34.0%)	1,162 (7.4%)	659 (4.2%)	3.6
	100人以上200人未満	3,517 (17.9%)	6,115 (31.1%)	7,067 (35.9%)	1,813 (9.2%)	1,161 (5.9%)	3.5
	200人以上300人未満	297 (20.0%)	468 (31.5%)	540 (36.3%)	114 (7.7%)	69 (4.6%)	3.5
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	—
	全学集計	17,307 (24.8%)	22,555 (32.3%)	22,265 (31.9%)	4,756 (6.8%)	2,966 (4.2%)	3.7

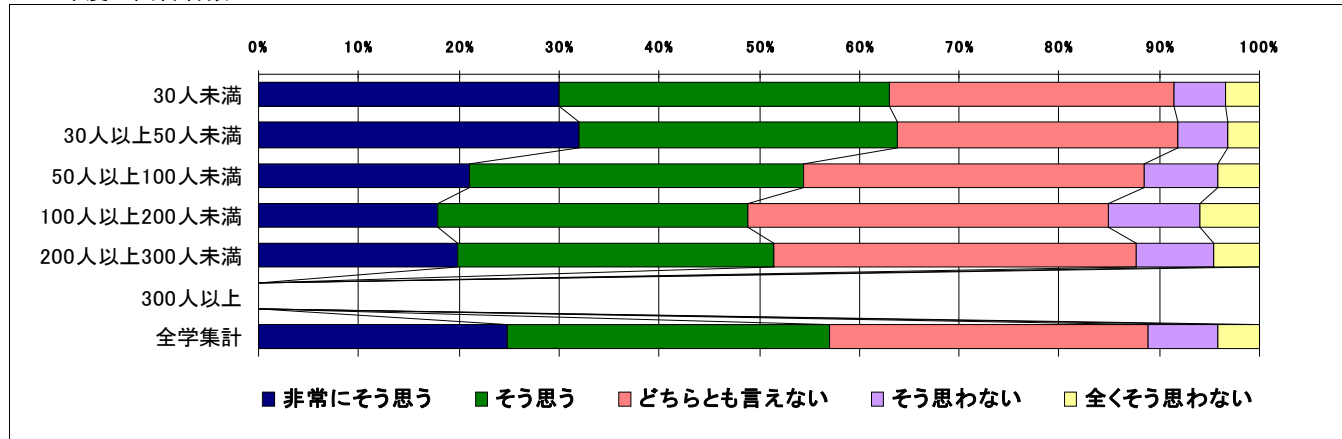
<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度 履修登録者数



2014年度 回答者数



全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年： 2年

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

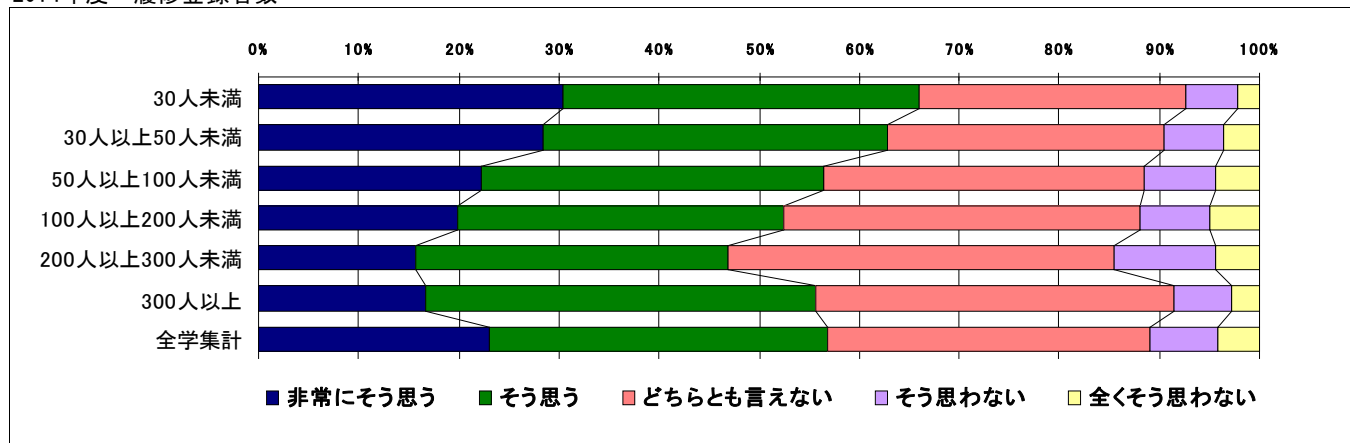
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度 履修者	30人未満	1,857 (30.5%)	2,159 (35.4%)	1,629 (26.7%)	308 (5.1%)	139 (2.3%)	3.9
	30人以上50人未満	3,367 (28.5%)	4,053 (34.3%)	3,263 (27.6%)	720 (6.1%)	419 (3.5%)	3.8
	50人以上100人未満	3,312 (22.2%)	5,106 (34.2%)	4,789 (32.1%)	1,078 (7.2%)	638 (4.3%)	3.6
	100人以上200人未満	3,451 (19.9%)	5,663 (32.6%)	6,192 (35.6%)	1,221 (7.0%)	855 (4.9%)	3.6
	200人以上300人未満	709 (15.7%)	1,416 (31.3%)	1,749 (38.6%)	456 (10.1%)	199 (4.4%)	3.4
	300人以上	222 (16.8%)	514 (38.8%)	476 (36.0%)	76 (5.7%)	36 (2.7%)	3.6
	全学集計	12,918 (23.0%)	18,911 (33.7%)	18,098 (32.3%)	3,859 (6.9%)	2,286 (4.1%)	3.6
2014年度 回答者	30人未満	3,600 (28.4%)	4,390 (34.7%)	3,449 (27.2%)	809 (6.4%)	415 (3.3%)	3.8
	30人以上50人未満	3,087 (26.5%)	3,957 (34.0%)	3,461 (29.7%)	681 (5.9%)	451 (3.9%)	3.7
	50人以上100人未満	4,370 (20.2%)	7,061 (32.7%)	7,666 (35.5%)	1,536 (7.1%)	989 (4.6%)	3.6
	100人以上200人未満	1,723 (18.7%)	3,170 (34.3%)	3,167 (34.3%)	763 (8.3%)	406 (4.4%)	3.5
	200人以上300人未満	138 (15.0%)	333 (36.2%)	355 (38.5%)	70 (7.6%)	25 (2.7%)	3.5
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	—
	全学集計	12,918 (23.0%)	18,911 (33.7%)	18,098 (32.3%)	3,859 (6.9%)	2,286 (4.1%)	3.6

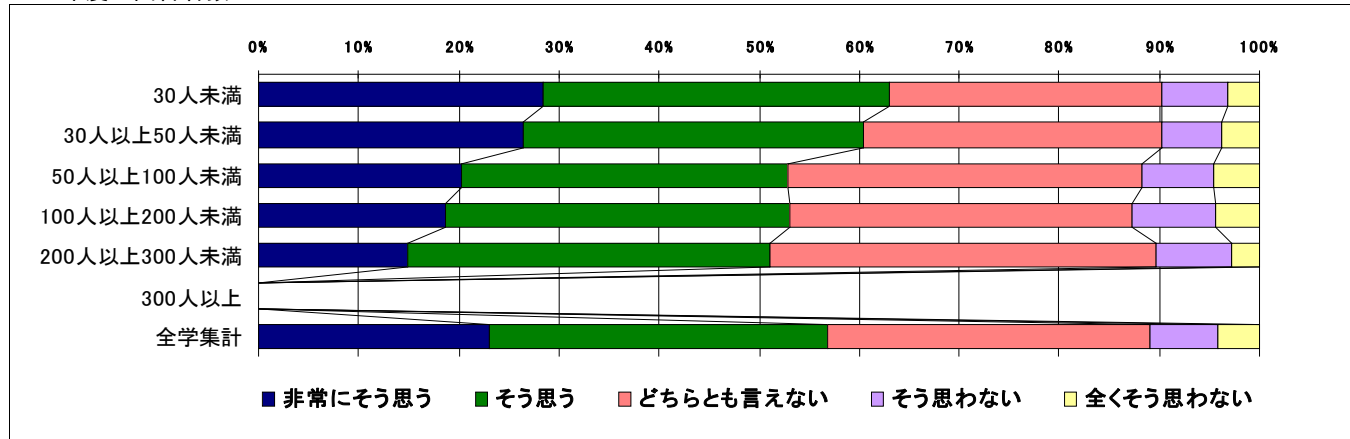
<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度 履修登録者数



2014年度 回答者数



全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年： 3年

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

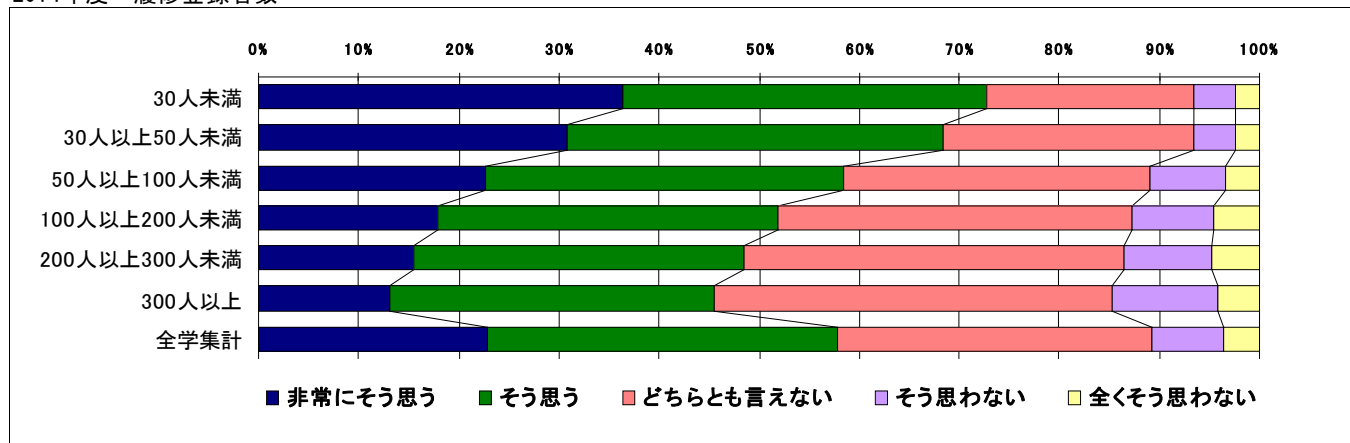
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度 履修者	30人未満	1,938 (36.4%)	1,936 (36.3%)	1,110 (20.8%)	214 (4.0%)	132 (2.5%)	4.0
	30人以上50人未満	2,863 (30.9%)	3,475 (37.5%)	2,327 (25.1%)	397 (4.3%)	217 (2.3%)	3.9
	50人以上100人未満	3,569 (22.6%)	5,641 (35.7%)	4,836 (30.6%)	1,196 (7.6%)	542 (3.4%)	3.7
	100人以上200人未満	2,565 (17.9%)	4,865 (34.0%)	5,060 (35.4%)	1,158 (8.1%)	649 (4.5%)	3.5
	200人以上300人未満	825 (15.5%)	1,750 (33.0%)	2,019 (38.0%)	457 (8.6%)	258 (4.9%)	3.5
	300人以上	493 (13.2%)	1,207 (32.4%)	1,479 (39.6%)	393 (10.5%)	159 (4.3%)	3.4
	全学集計	12,253 (22.8%)	18,874 (35.1%)	16,831 (31.3%)	3,815 (7.1%)	1,957 (3.6%)	3.7
2014年度 回答者	30人未満	3,457 (32.7%)	3,807 (36.1%)	2,491 (23.6%)	509 (4.8%)	296 (2.8%)	3.9
	30人以上50人未満	3,239 (24.9%)	4,734 (36.4%)	3,793 (29.2%)	852 (6.6%)	376 (2.9%)	3.7
	50人以上100人未満	3,840 (19.7%)	6,676 (34.2%)	6,578 (33.7%)	1,530 (7.8%)	877 (4.5%)	3.6
	100人以上200人未満	1,691 (16.0%)	3,599 (34.1%)	3,928 (37.3%)	916 (8.7%)	405 (3.8%)	3.5
	200人以上300人未満	26 (19.1%)	58 (42.6%)	41 (30.1%)	8 (5.9%)	3 (2.2%)	3.7
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	—
	全学集計	12,253 (22.8%)	18,874 (35.1%)	16,831 (31.3%)	3,815 (7.1%)	1,957 (3.6%)	3.7

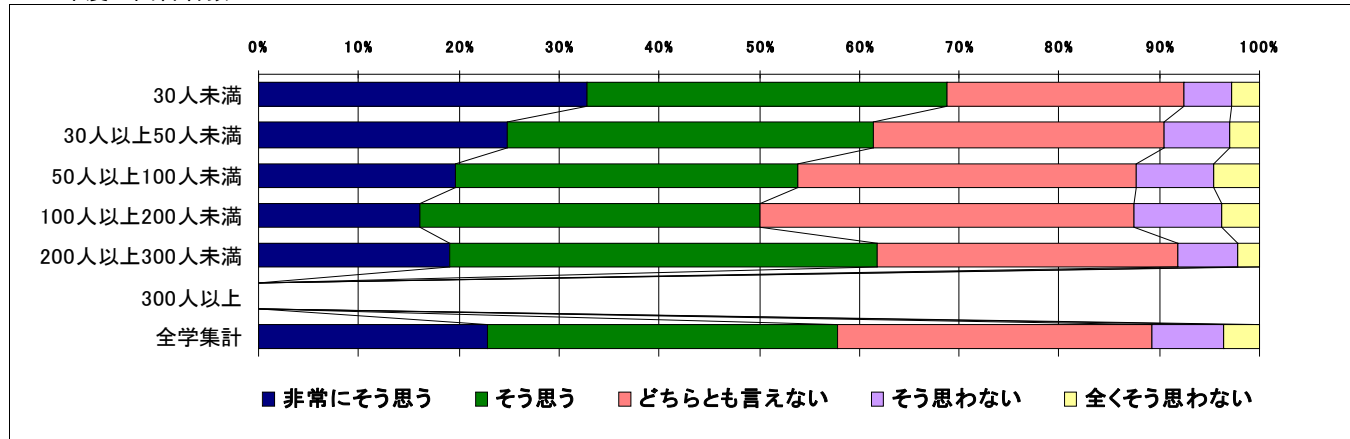
<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度 履修登録者数



2014年度 回答者数



全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年： 4年

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

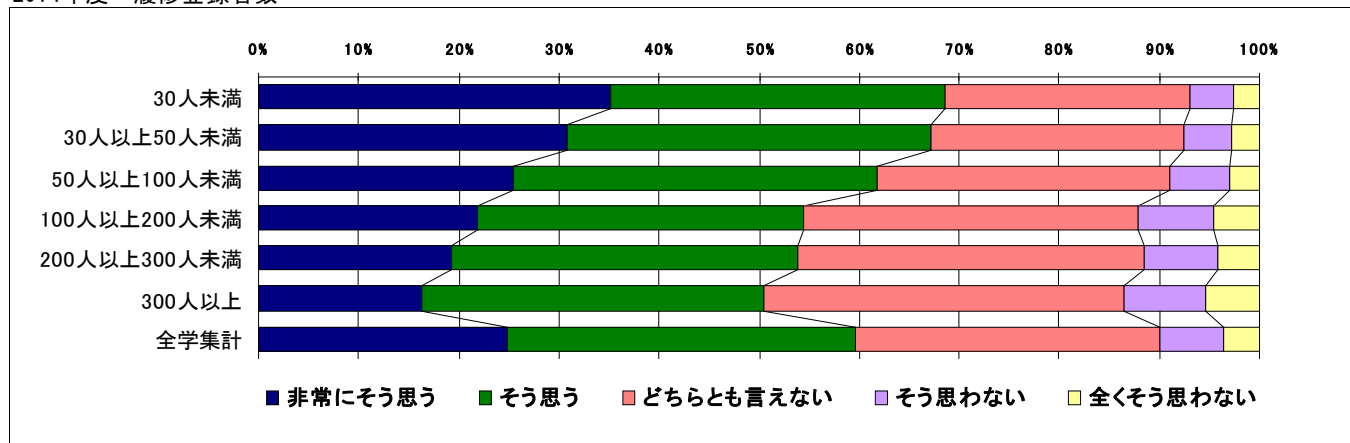
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度 履修者	30人未満	646 (35.1%)	616 (33.5%)	448 (24.4%)	81 (4.4%)	47 (2.6%)	3.9
	30人以上50人未満	893 (30.8%)	1,059 (36.5%)	732 (25.2%)	134 (4.6%)	83 (2.9%)	3.9
	50人以上100人未満	1,352 (25.4%)	1,941 (36.5%)	1,557 (29.3%)	311 (5.8%)	161 (3.0%)	3.8
	100人以上200人未満	1,108 (21.8%)	1,656 (32.6%)	1,703 (33.5%)	384 (7.6%)	228 (4.5%)	3.6
	200人以上300人未満	350 (19.3%)	628 (34.5%)	630 (34.7%)	135 (7.4%)	75 (4.1%)	3.6
	300人以上	245 (16.4%)	509 (34.0%)	538 (36.0%)	122 (8.2%)	81 (5.4%)	3.5
	全学集計	4,594 (24.9%)	6,409 (34.7%)	5,608 (30.4%)	1,167 (6.3%)	675 (3.7%)	3.7
2014年度 回答者	30人未満	1,356 (31.9%)	1,458 (34.3%)	1,095 (25.7%)	210 (4.9%)	135 (3.2%)	3.9
	30人以上50人未満	1,142 (26.1%)	1,630 (37.2%)	1,277 (29.2%)	233 (5.3%)	98 (2.2%)	3.8
	50人以上100人未満	1,319 (22.5%)	1,991 (34.0%)	1,871 (31.9%)	423 (7.2%)	259 (4.4%)	3.6
	100人以上200人未満	762 (19.6%)	1,319 (33.9%)	1,337 (34.3%)	295 (7.6%)	183 (4.7%)	3.6
	200人以上300人未満	15 (25.0%)	11 (18.3%)	28 (46.7%)	6 (10.0%)	0 (0%)	3.6
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	—
	全学集計	4,594 (24.9%)	6,409 (34.7%)	5,608 (30.4%)	1,167 (6.3%)	675 (3.7%)	3.7

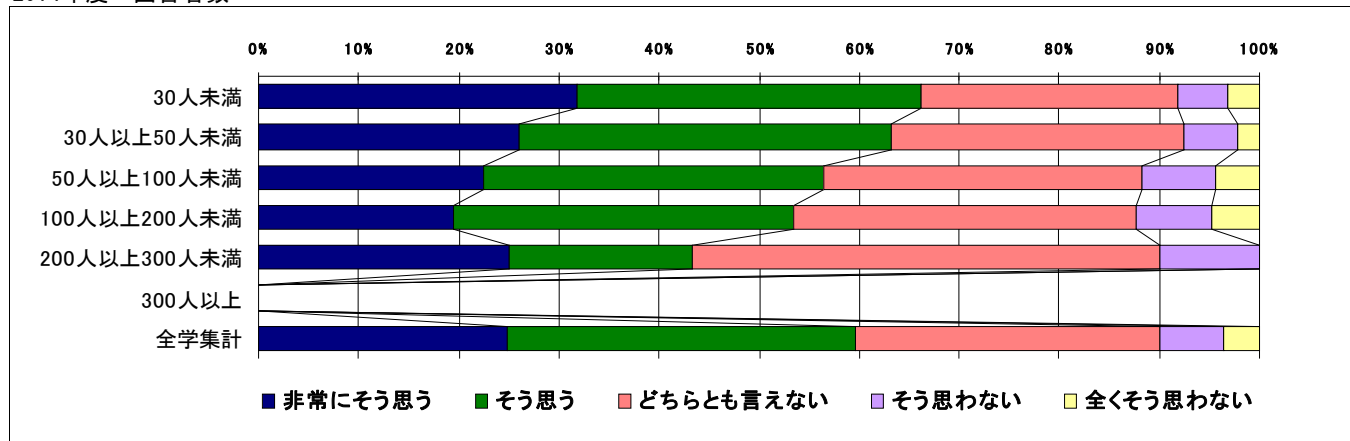
<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度 履修登録者数



2014年度 回答者数



全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年： 全学年

学部： 文学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

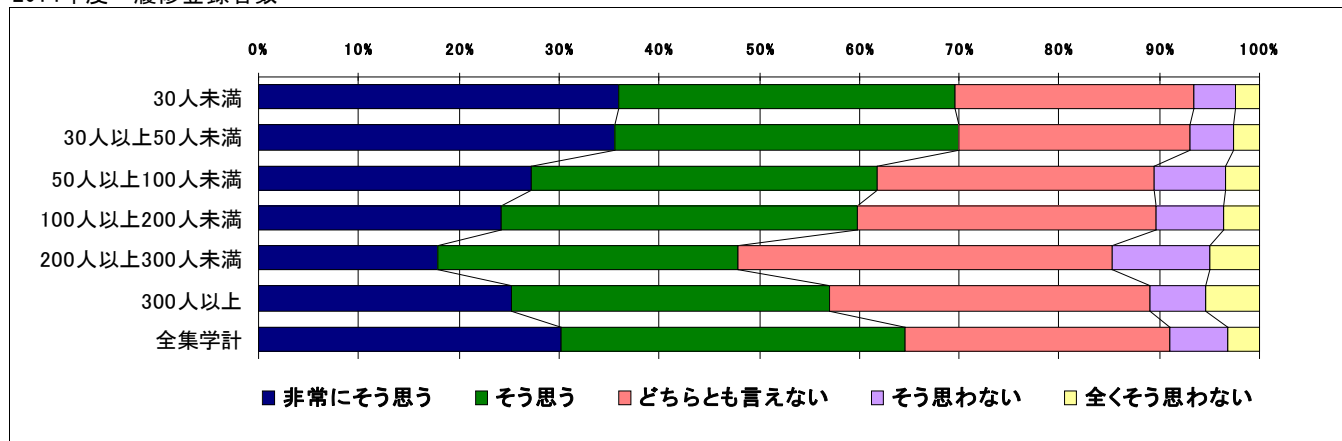
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度 履修者	30人未満	3,135 (36.0%)	2,925 (33.6%)	2,076 (23.8%)	362 (4.2%)	211 (2.4%)	4.0
	30人以上50人未満	4,777 (35.5%)	4,642 (34.5%)	3,105 (23.1%)	580 (4.3%)	346 (2.6%)	4.0
	50人以上100人未満	4,476 (27.3%)	5,677 (34.6%)	4,510 (27.5%)	1,174 (7.2%)	565 (3.4%)	3.8
	100人以上200人未満	1,801 (24.2%)	2,646 (35.6%)	2,212 (29.8%)	510 (6.9%)	259 (3.5%)	3.7
	200人以上300人未満	329 (17.8%)	556 (30.1%)	689 (37.3%)	179 (9.7%)	92 (5.0%)	3.5
	300人以上	244 (25.2%)	307 (31.7%)	310 (32.1%)	54 (5.6%)	52 (5.4%)	3.7
	全学集計	14,762 (30.2%)	16,753 (34.3%)	12,902 (26.4%)	2,859 (5.9%)	1,525 (3.1%)	3.8
2014年度 回答者	30人未満	5,181 (35.0%)	5,001 (33.8%)	3,535 (23.9%)	689 (4.7%)	390 (2.6%)	3.9
	30人以上50人未満	4,344 (33.2%)	4,566 (34.9%)	3,158 (24.1%)	688 (5.3%)	324 (2.5%)	3.9
	50人以上100人未満	3,595 (25.4%)	4,842 (34.2%)	4,135 (29.2%)	1,008 (7.1%)	575 (4.1%)	3.7
	100人以上200人未満	1,530 (24.1%)	2,205 (34.7%)	1,943 (30.6%)	453 (7.1%)	223 (3.5%)	3.7
	200人以上300人未満	112 (26.9%)	139 (33.4%)	131 (31.5%)	21 (5.0%)	13 (3.1%)	3.8
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	—
	全学集計	14,762 (30.2%)	16,753 (34.3%)	12,902 (26.4%)	2,859 (5.9%)	1,525 (3.1%)	3.8

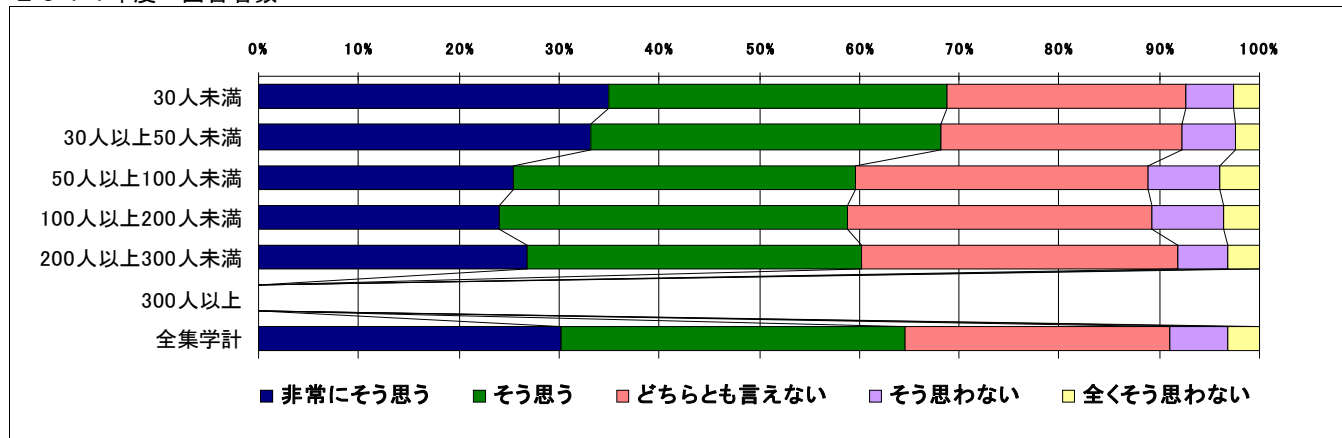
<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度 履修登録者数



2014年度 回答者数



全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年： 全学年

学部： 経済学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

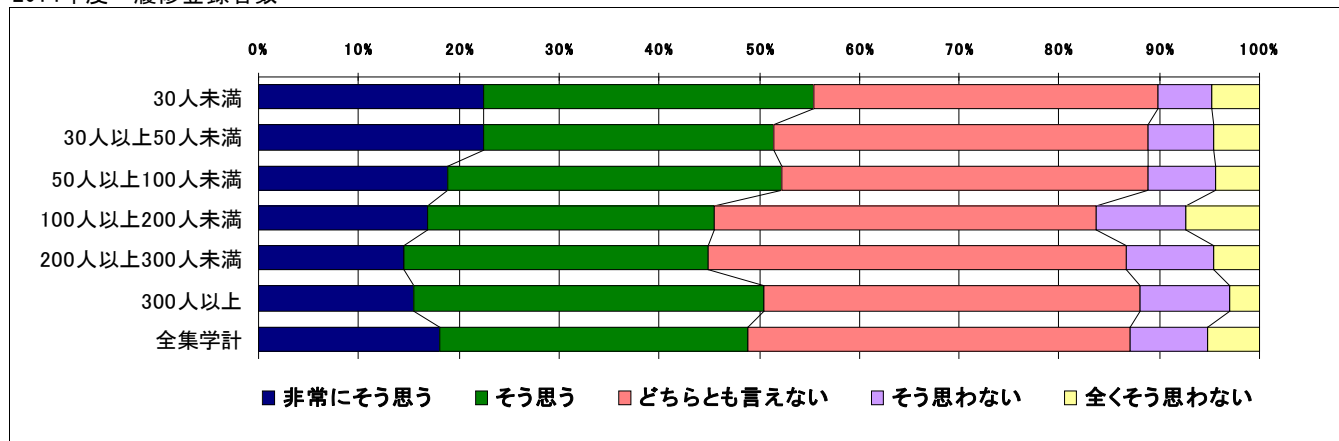
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度 履修者	30人未満	545 (22.4%)	805 (33.1%)	835 (34.3%)	132 (5.4%)	115 (4.7%)	3.6
	30人以上50人未満	866 (22.5%)	1,114 (29.0%)	1,438 (37.4%)	248 (6.5%)	177 (4.6%)	3.6
	50人以上100人未満	706 (18.8%)	1,253 (33.4%)	1,376 (36.7%)	251 (6.7%)	163 (4.3%)	3.6
	100人以上200人未満	1,197 (16.8%)	2,038 (28.6%)	2,724 (38.3%)	633 (8.9%)	525 (7.4%)	3.4
	200人以上300人未満	593 (14.5%)	1,250 (30.5%)	1,705 (41.7%)	361 (8.8%)	184 (4.5%)	3.4
	300人以上	409 (15.6%)	916 (34.9%)	991 (37.7%)	236 (9.0%)	76 (2.9%)	3.5
	全学集計	4,316 (18.1%)	7,376 (30.9%)	9,069 (38.0%)	1,861 (7.8%)	1,240 (5.2%)	3.5
2014年度 回答者	30人未満	893 (20.2%)	1,355 (30.7%)	1,605 (36.4%)	318 (7.2%)	240 (5.4%)	3.5
	30人以上50人未満	896 (23.8%)	1,192 (31.6%)	1,323 (35.1%)	198 (5.3%)	158 (4.2%)	3.7
	50人以上100人未満	1,509 (16.9%)	2,665 (29.9%)	3,394 (38.1%)	767 (8.6%)	578 (6.5%)	3.4
	100人以上200人未満	938 (15.0%)	1,996 (31.9%)	2,539 (40.6%)	546 (8.7%)	241 (3.8%)	3.5
	200人以上300人未満	80 (15.7%)	168 (32.9%)	208 (40.7%)	32 (6.3%)	23 (4.5%)	3.5
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	—
	全学集計	4,316 (18.1%)	7,376 (30.9%)	9,069 (38.0%)	1,861 (7.8%)	1,240 (5.2%)	3.5

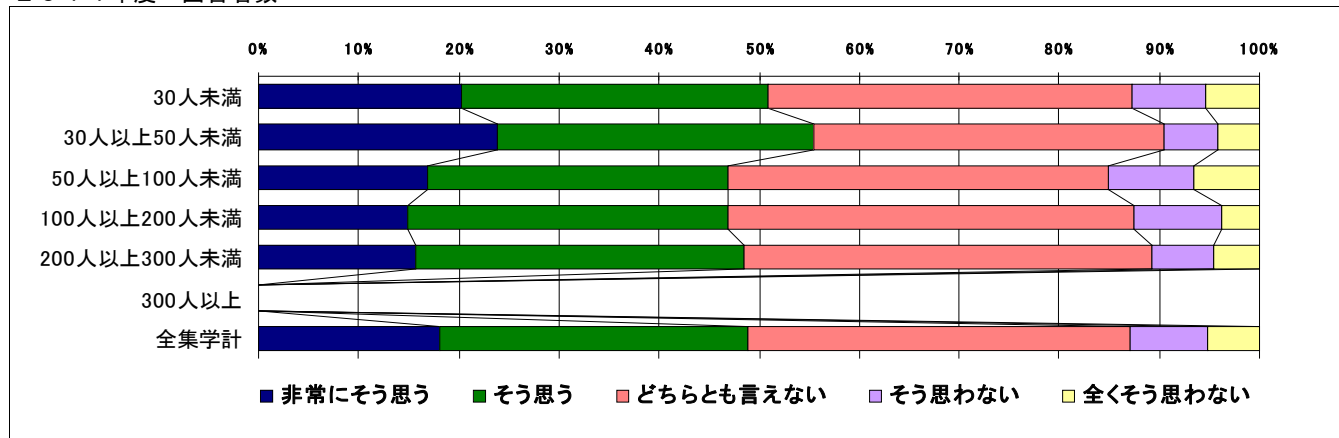
<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度 履修登録者数



2014年度 回答者数





全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年： 全学年

学部： 外国語学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

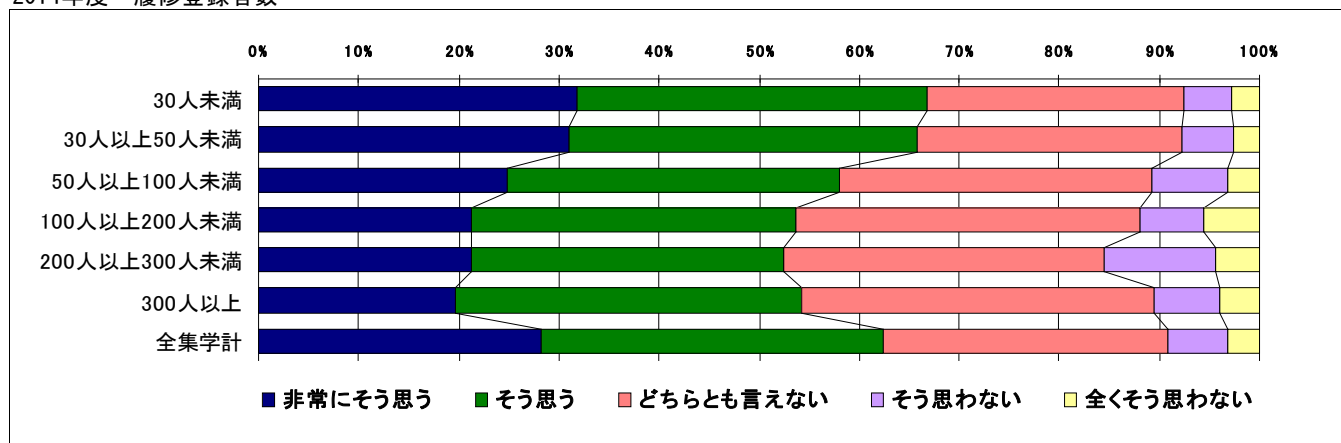
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度 履修者	30人未満	2,365 (31.8%)	2,600 (35.0%)	1,901 (25.6%)	361 (4.9%)	206 (2.8%)	3.9
	30人以上50人未満	3,012 (30.9%)	3,407 (35.0%)	2,564 (26.3%)	503 (5.2%)	255 (2.6%)	3.9
	50人以上100人未満	1,639 (24.9%)	2,173 (33.1%)	2,059 (31.3%)	497 (7.6%)	203 (3.1%)	3.7
	100人以上200人未満	442 (21.2%)	679 (32.6%)	714 (34.2%)	134 (6.4%)	116 (5.6%)	3.6
	200人以上300人未満	299 (21.2%)	443 (31.4%)	452 (32.0%)	156 (11.0%)	62 (4.4%)	3.5
	300人以上	121 (19.7%)	213 (34.6%)	216 (35.1%)	40 (6.5%)	25 (4.1%)	3.6
	全学集計	7,878 (28.3%)	9,515 (34.2%)	7,906 (28.4%)	1,691 (6.1%)	867 (3.1%)	3.8
2014年度 回答者	30人未満	3,848 (30.5%)	4,397 (34.8%)	3,302 (26.2%)	704 (5.6%)	366 (2.9%)	3.8
	30人以上50人未満	2,477 (29.1%)	2,855 (33.6%)	2,443 (28.7%)	489 (5.7%)	244 (2.9%)	3.8
	50人以上100人未満	1,009 (23.7%)	1,479 (34.7%)	1,336 (31.3%)	284 (6.7%)	157 (3.7%)	3.7
	100人以上200人未満	490 (22.7%)	685 (31.7%)	705 (32.6%)	191 (8.8%)	92 (4.3%)	3.6
	200人以上300人未満	54 (17.8%)	99 (32.6%)	120 (39.5%)	23 (7.6%)	8 (2.6%)	3.6
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	—
	全学集計	7,878 (28.3%)	9,515 (34.2%)	7,906 (28.4%)	1,691 (6.1%)	867 (3.1%)	3.8

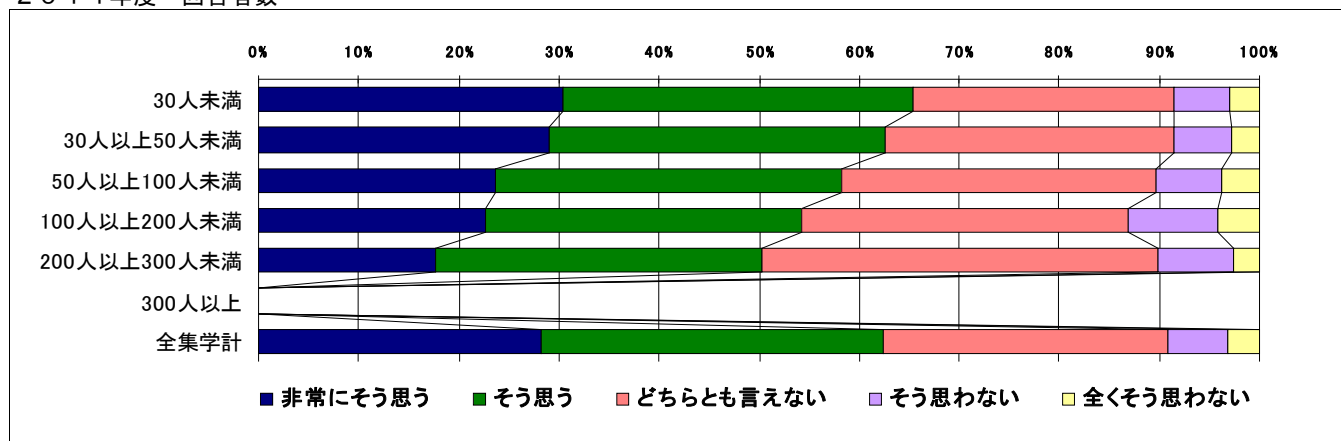
<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度 履修登録者数



2014年度 回答者数



全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年： 全学年

学部： 法学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

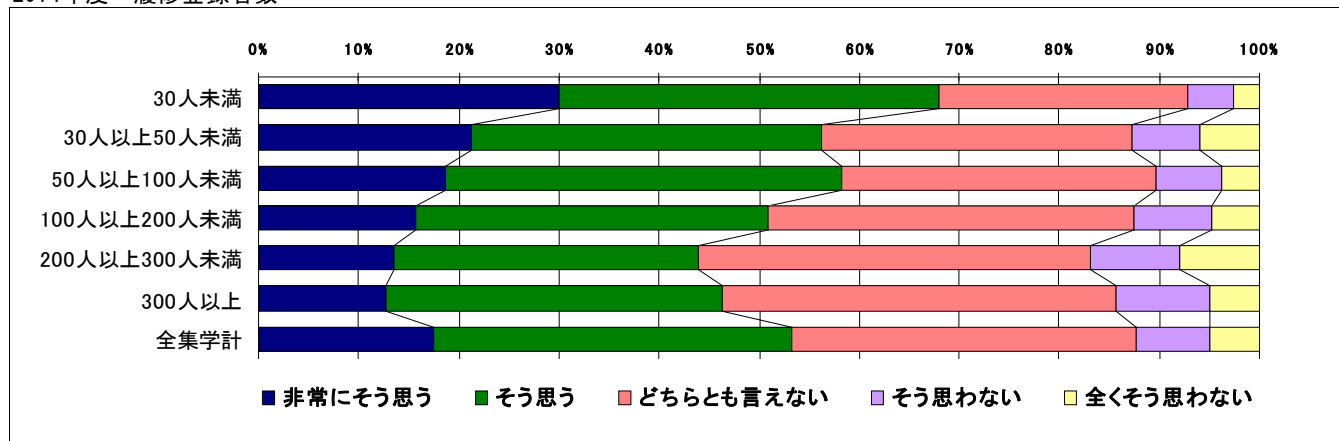
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度 履修者	30人未満	491 (29.9%)	625 (38.1%)	405 (24.7%)	76 (4.6%)	43 (2.6%)	3.9
	30人以上50人未満	1,093 (21.2%)	1,807 (35.0%)	1,603 (31.1%)	349 (6.8%)	309 (6.0%)	3.6
	50人以上100人未満	1,058 (18.7%)	2,229 (39.4%)	1,778 (31.5%)	370 (6.5%)	217 (3.8%)	3.6
	100人以上200人未満	2,238 (15.6%)	5,043 (35.2%)	5,261 (36.7%)	1,106 (7.7%)	675 (4.7%)	3.5
	200人以上300人未満	373 (13.5%)	845 (30.5%)	1,086 (39.2%)	246 (8.9%)	223 (8.0%)	3.3
	300人以上	146 (12.7%)	385 (33.6%)	452 (39.4%)	105 (9.2%)	58 (5.1%)	3.4
	全学集計	5,399 (17.6%)	10,934 (35.6%)	10,585 (34.5%)	2,252 (7.3%)	1,525 (5.0%)	3.5
2014年度 回答者	30人未満	949 (24.4%)	1,356 (34.9%)	1,102 (28.4%)	260 (6.7%)	216 (5.6%)	3.7
	30人以上50人未満	1,320 (20.5%)	2,454 (38.0%)	1,967 (30.5%)	420 (6.5%)	291 (4.5%)	3.6
	50人以上100人未満	1,532 (15.2%)	3,690 (36.5%)	3,750 (37.1%)	688 (6.8%)	446 (4.4%)	3.5
	100人以上200人未満	1,546 (15.5%)	3,347 (33.5%)	3,671 (36.8%)	866 (8.7%)	548 (5.5%)	3.4
	200人以上300人未満	52 (18.8%)	87 (31.5%)	95 (34.4%)	18 (6.5%)	24 (8.7%)	3.5
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	—
	全学集計	5,399 (17.6%)	10,934 (35.6%)	10,585 (34.5%)	2,252 (7.3%)	1,525 (5.0%)	3.5

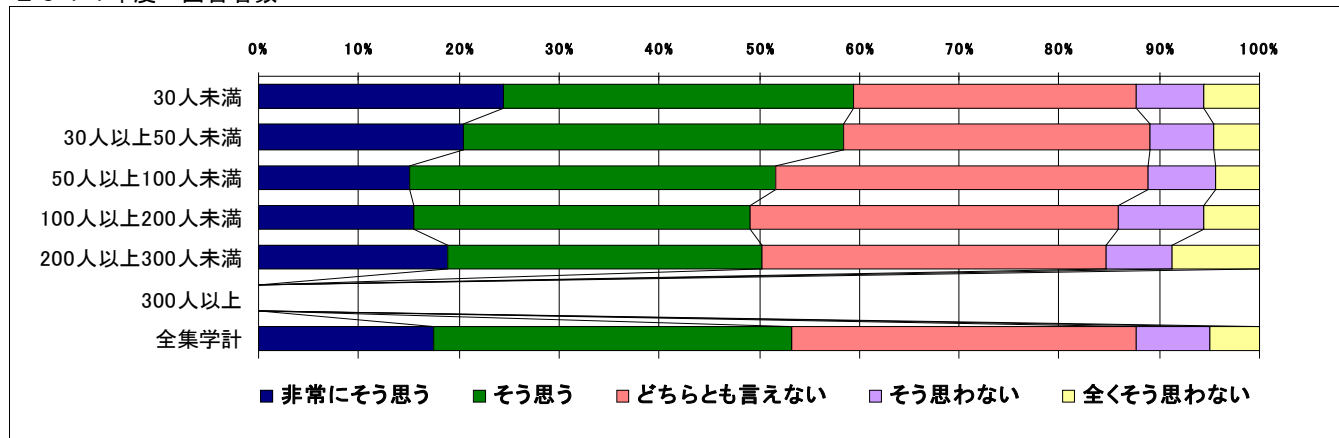
<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度 履修登録者数



2014年度 回答者数



全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年： 全学年

学部： 国際関係学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

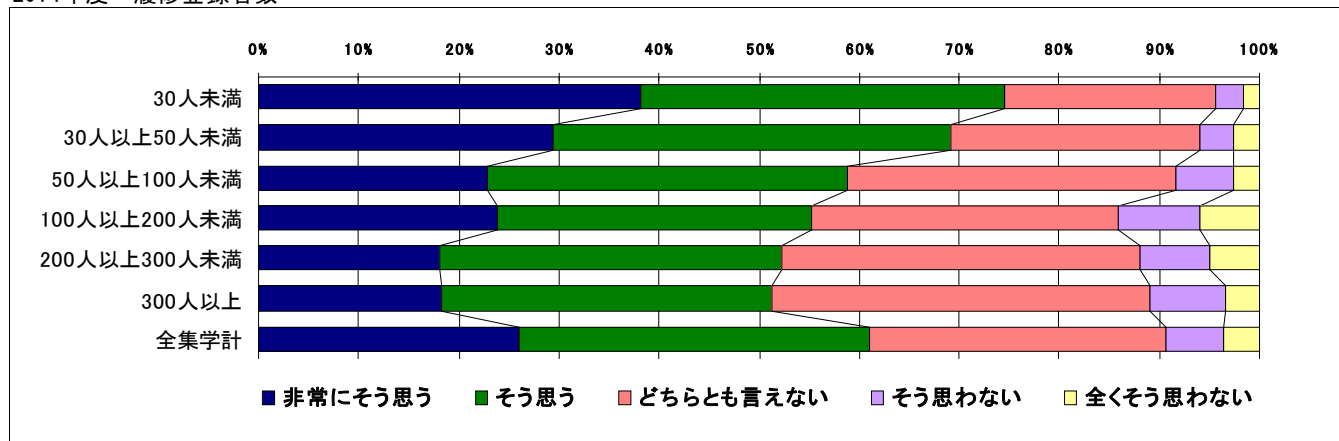
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度 履修者	30人未満	894 (38.2%)	849 (36.3%)	494 (21.1%)	66 (2.8%)	35 (1.5%)	4.1
	30人以上50人未満	613 (29.5%)	826 (39.7%)	514 (24.7%)	72 (3.5%)	53 (2.6%)	3.9
	50人以上100人未満	958 (22.8%)	1,510 (36.0%)	1,372 (32.7%)	245 (5.8%)	109 (2.6%)	3.7
	100人以上200人未満	981 (23.8%)	1,295 (31.4%)	1,263 (30.7%)	331 (8.0%)	248 (6.0%)	3.6
	200人以上300人未満	229 (18.1%)	434 (34.2%)	455 (35.9%)	86 (6.8%)	64 (5.0%)	3.5
	300人以上	102 (18.2%)	185 (33.1%)	211 (37.7%)	42 (7.5%)	19 (3.4%)	3.6
	全学集計	3,777 (25.9%)	5,099 (35.0%)	4,309 (29.6%)	842 (5.8%)	528 (3.6%)	3.7
2014年度 回答者	30人未満	1,413 (33.8%)	1,554 (37.2%)	983 (23.5%)	135 (3.2%)	90 (2.2%)	4.0
	30人以上50人未満	703 (25.5%)	1,042 (37.8%)	818 (29.7%)	119 (4.3%)	75 (2.7%)	3.8
	50人以上100人未満	794 (20.8%)	1,259 (33.0%)	1,293 (33.9%)	307 (8.0%)	164 (4.3%)	3.6
	100人以上200人未満	788 (23.3%)	1,114 (32.9%)	1,064 (31.4%)	238 (7.0%)	183 (5.4%)	3.6
	200人以上300人未満	79 (18.9%)	130 (31.0%)	151 (36.0%)	43 (10.3%)	16 (3.8%)	3.5
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	—
	全学集計	3,777 (25.9%)	5,099 (35.0%)	4,309 (29.6%)	842 (5.8%)	528 (3.6%)	3.7

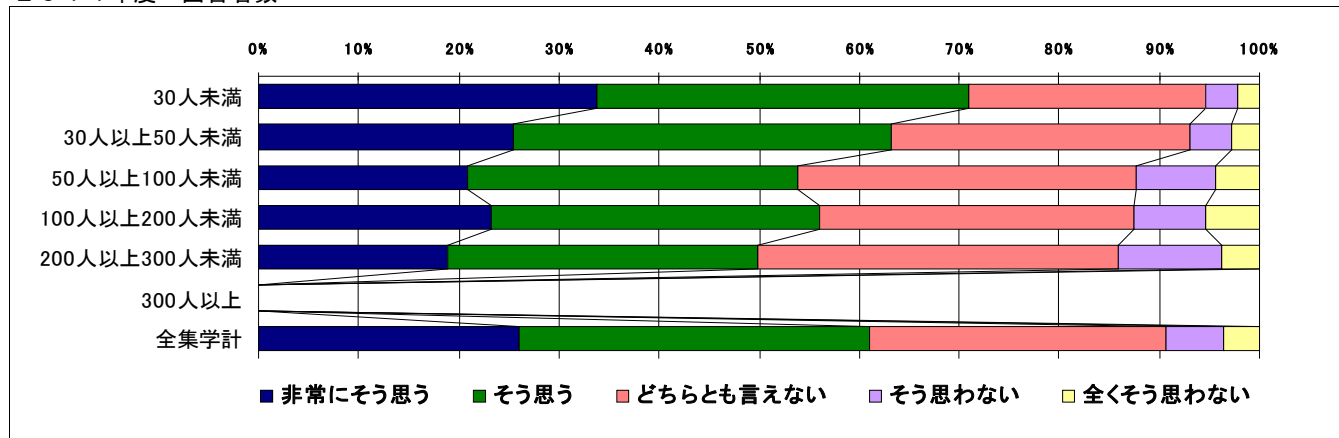
<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度 履修登録者数



2014年度 回答者数



全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年： 全学年

学部： 経営学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

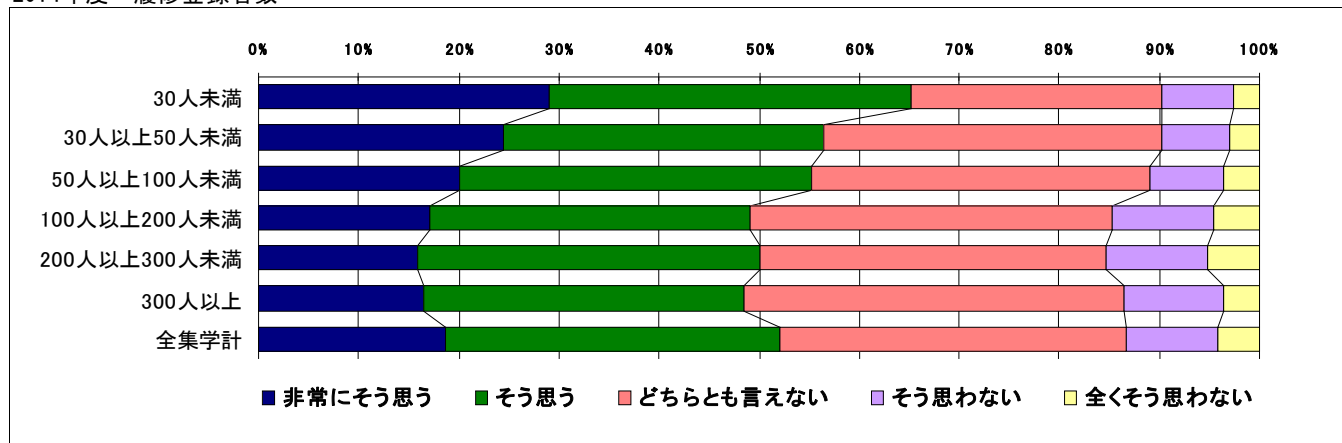
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度 履修者	30人未満	343 (29.1%)	426 (36.1%)	295 (25.0%)	86 (7.3%)	30 (2.5%)	3.8
	30人以上50人未満	557 (24.4%)	731 (32.0%)	773 (33.9%)	153 (6.7%)	68 (3.0%)	3.7
	50人以上100人未満	1,016 (20.2%)	1,762 (35.0%)	1,705 (33.9%)	367 (7.3%)	185 (3.7%)	3.6
	100人以上200人未満	1,448 (17.1%)	2,713 (32.1%)	3,048 (36.0%)	859 (10.2%)	391 (4.6%)	3.5
	200人以上300人未満	816 (16.0%)	1,743 (34.1%)	1,772 (34.7%)	512 (10.0%)	268 (5.2%)	3.5
	300人以上	315 (16.5%)	609 (31.9%)	727 (38.1%)	187 (9.8%)	69 (3.6%)	3.5
	全学集計	4,495 (18.7%)	7,984 (33.3%)	8,320 (34.7%)	2,164 (9.0%)	1,011 (4.2%)	3.5
2014年度 回答者	30人未満	695 (24.8%)	958 (34.1%)	835 (29.7%)	211 (7.5%)	109 (3.9%)	3.7
	30人以上50人未満	772 (21.8%)	1,101 (31.1%)	1,271 (36.0%)	267 (7.6%)	124 (3.5%)	3.6
	50人以上100人未満	1,532 (16.6%)	3,046 (33.1%)	3,285 (35.7%)	888 (9.7%)	451 (4.9%)	3.5
	100人以上200人未満	1,427 (17.8%)	2,738 (34.1%)	2,775 (34.6%)	759 (9.5%)	323 (4.0%)	3.5
	200人以上300人未満	69 (17.0%)	141 (34.6%)	154 (37.8%)	39 (9.6%)	4 (1.0%)	3.6
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	—
	全学集計	4,495 (18.7%)	7,984 (33.3%)	8,320 (34.7%)	2,164 (9.0%)	1,011 (4.2%)	3.5

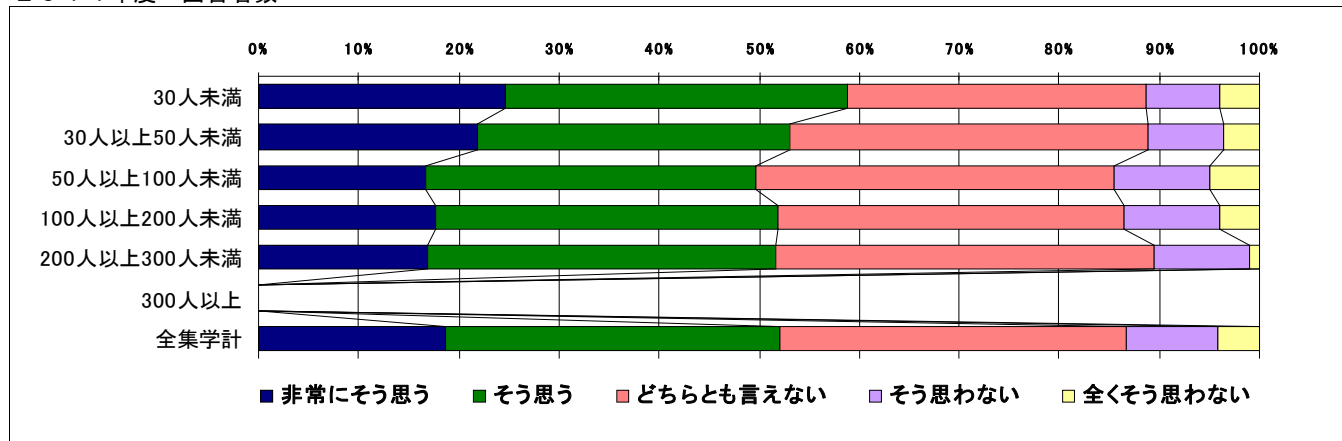
<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度 履修登録者数



2014年度 回答者数



全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年： 全学年

学部： 環境創造学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

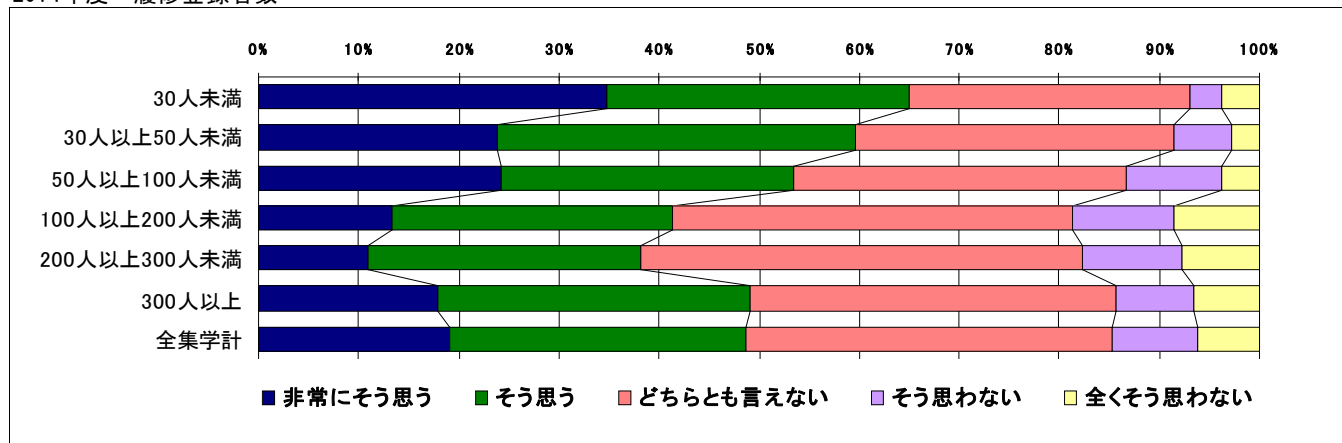
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度 履修者	30人未満	373 (34.9%)	323 (30.2%)	300 (28.0%)	33 (3.1%)	41 (3.8%)	3.9
	30人以上50人未満	426 (23.9%)	635 (35.7%)	567 (31.9%)	102 (5.7%)	50 (2.8%)	3.7
	50人以上100人未満	517 (24.3%)	621 (29.2%)	704 (33.1%)	204 (9.6%)	81 (3.8%)	3.6
	100人以上200人未満	643 (13.4%)	1,340 (28.0%)	1,915 (40.0%)	484 (10.1%)	411 (8.6%)	3.3
	200人以上300人未満	124 (10.9%)	309 (27.2%)	502 (44.2%)	113 (9.9%)	89 (7.8%)	3.2
	300人以上	133 (17.9%)	231 (31.1%)	272 (36.7%)	58 (7.8%)	48 (6.5%)	3.5
	全学集計	2,216 (19.0%)	3,459 (29.7%)	4,260 (36.6%)	994 (8.5%)	720 (6.2%)	3.5
2014年度 回答者	30人未満	595 (30.7%)	621 (32.1%)	580 (29.9%)	86 (4.4%)	55 (2.8%)	3.8
	30人以上50人未満	463 (21.7%)	699 (32.8%)	727 (34.1%)	157 (7.4%)	83 (3.9%)	3.6
	50人以上100人未満	566 (18.8%)	882 (29.3%)	1,117 (37.1%)	276 (9.2%)	170 (5.6%)	3.5
	100人以上200人未満	569 (12.9%)	1,195 (27.1%)	1,771 (40.2%)	464 (10.5%)	405 (9.2%)	3.2
	200人以上300人未満	23 (13.7%)	62 (36.9%)	65 (38.7%)	11 (6.5%)	7 (4.2%)	3.5
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	—
	全学集計	2,216 (19.0%)	3,459 (29.7%)	4,260 (36.6%)	994 (8.5%)	720 (6.2%)	3.5

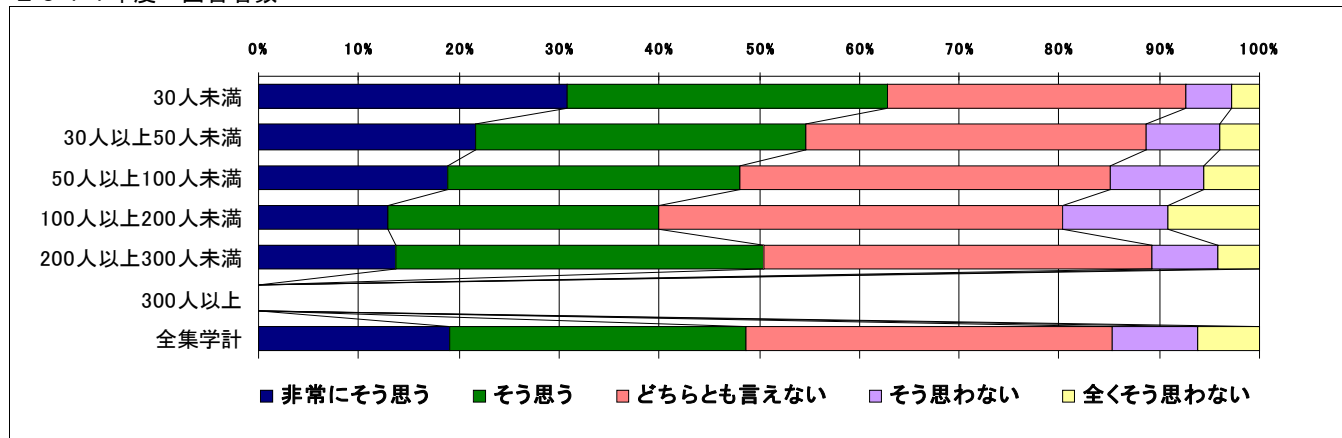
<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度 履修登録者数



2014年度 回答者数



全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年： 全学年

学部： スポーツ・健康科学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

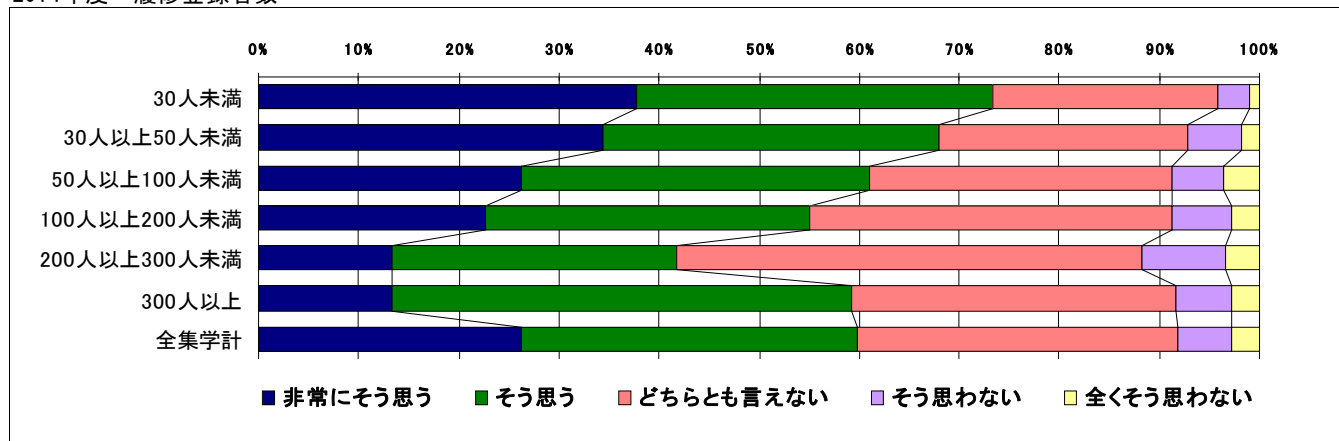
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度 履修者	30人未満	357 (37.8%)	337 (35.7%)	212 (22.4%)	29 (3.1%)	10 (1.1%)	4.1
	30人以上50人未満	947 (34.4%)	925 (33.6%)	685 (24.9%)	150 (5.4%)	49 (1.8%)	3.9
	50人以上100人未満	1,299 (26.2%)	1,726 (34.8%)	1,496 (30.2%)	255 (5.1%)	177 (3.6%)	3.8
	100人以上200人未満	1,834 (22.7%)	2,620 (32.4%)	2,924 (36.2%)	476 (5.9%)	224 (2.8%)	3.7
	200人以上300人未満	35 (13.3%)	75 (28.4%)	123 (46.6%)	22 (8.3%)	9 (3.4%)	3.4
	300人以上	24 (13.4%)	82 (45.8%)	58 (32.4%)	10 (5.6%)	5 (2.8%)	3.6
	全学集計	4,496 (26.2%)	5,765 (33.6%)	5,498 (32.0%)	942 (5.5%)	474 (2.8%)	3.7
2014年度 回答者	30人未満	668 (33.0%)	730 (36.1%)	510 (25.2%)	94 (4.6%)	22 (1.1%)	4.0
	30人以上50人未満	1,008 (35.6%)	894 (31.6%)	738 (26.1%)	132 (4.7%)	61 (2.2%)	3.9
	50人以上100人未満	2,377 (25.3%)	3,168 (33.7%)	3,176 (33.8%)	434 (4.6%)	246 (2.6%)	3.7
	100人以上200人未満	436 (15.5%)	929 (33.0%)	1,034 (36.8%)	271 (9.6%)	143 (5.1%)	3.4
	200人以上300人未満	7 (6.7%)	44 (42.3%)	40 (38.5%)	11 (10.6%)	2 (1.9%)	3.4
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	—
	全学集計	4,496 (26.2%)	5,765 (33.6%)	5,498 (32.0%)	942 (5.5%)	474 (2.8%)	3.7

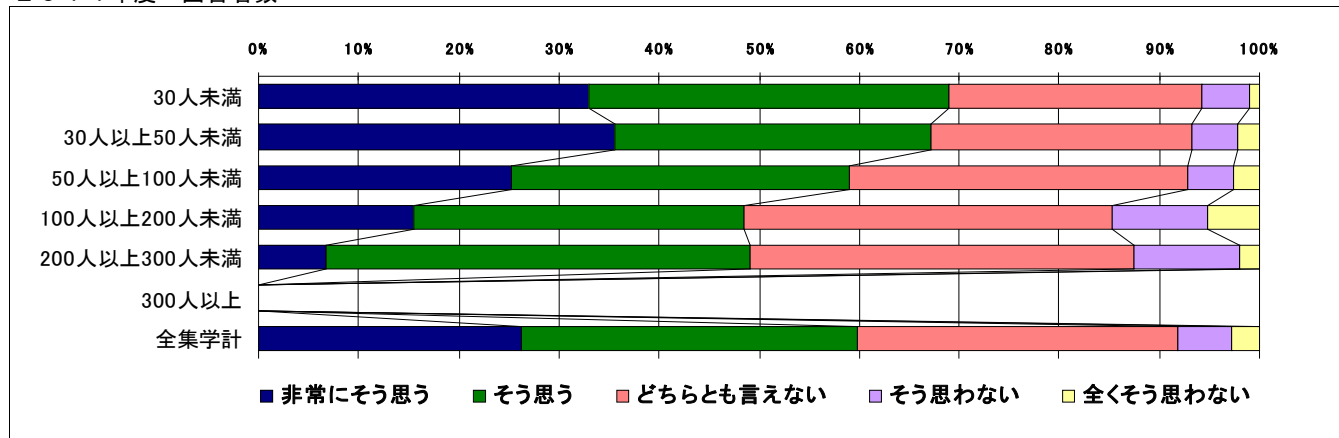
<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度 履修登録者数



2014年度 回答者数



B. 項目別集計  
(全学・学年別集計)





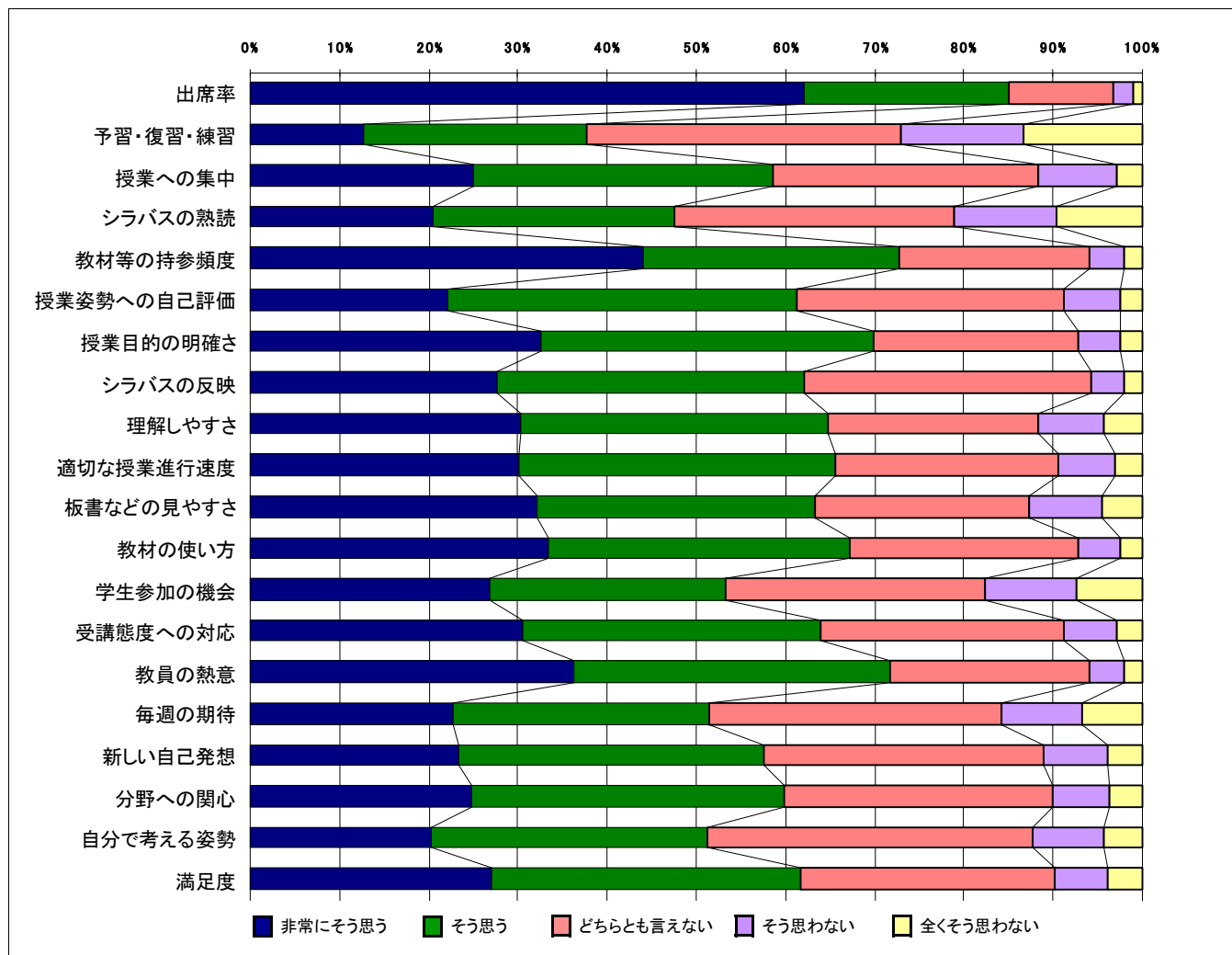
全学集計【項目別集計】

学年： 全学年

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	I Q1 出席率	30,954 (62.0%)	11,508 (23.1%)	5,810 (11.6%)	1,189 (2.4%)	463 (0.9%)	4.4
	I Q2 予習・復習・練習	6,298 (12.6%)	12,509 (25.1%)	17,608 (35.3%)	6,893 (13.8%)	6,608 (13.2%)	3.1
	I Q3 授業への集中	12,467 (25.0%)	16,772 (33.6%)	14,859 (29.8%)	4,368 (8.8%)	1,420 (2.8%)	3.7
	I Q4 シラバスの熟読	10,236 (20.5%)	13,475 (27.0%)	15,607 (31.3%)	5,783 (11.6%)	4,756 (9.5%)	3.4
	I Q5 教材等の持参頻度	21,947 (44.1%)	14,276 (28.7%)	10,660 (21.4%)	1,880 (3.8%)	1,040 (2.1%)	4.1
	I Q6 授業姿勢への自己評価	10,994 (22.1%)	19,533 (39.3%)	14,811 (29.8%)	3,144 (6.3%)	1,268 (2.5%)	3.7
	II Q7 授業目的の明確さ	16,311 (32.7%)	18,524 (37.1%)	11,510 (23.1%)	2,382 (4.8%)	1,188 (2.4%)	3.9
	II Q8 シラバスの反映	13,759 (27.6%)	17,221 (34.5%)	16,047 (32.2%)	1,885 (3.8%)	975 (2.0%)	3.8
	II Q9 理解しやすさ	15,181 (30.4%)	17,174 (34.4%)	11,738 (23.5%)	3,718 (7.4%)	2,105 (4.2%)	3.8
	II Q10 適切な授業進行速度	15,025 (30.1%)	17,688 (35.4%)	12,442 (24.9%)	3,247 (6.5%)	1,494 (3.0%)	3.8
	II Q11 板書などの見やすさ	16,060 (32.2%)	15,591 (31.2%)	11,875 (23.8%)	4,119 (8.3%)	2,265 (4.5%)	3.8
	II Q12 教材の使い方	16,674 (33.4%)	16,864 (33.8%)	12,806 (25.7%)	2,376 (4.8%)	1,183 (2.4%)	3.9
	II Q13 学生参加の機会	13,368 (26.8%)	13,207 (26.5%)	14,491 (29.0%)	5,182 (10.4%)	3,643 (7.3%)	3.6
	II Q14 受講態度への対応	15,241 (30.5%)	16,664 (33.4%)	13,592 (27.2%)	2,927 (5.9%)	1,474 (3.0%)	3.8
	II Q15 教員の熱意	18,064 (36.2%)	17,731 (35.5%)	11,104 (22.3%)	1,911 (3.8%)	1,073 (2.2%)	4.0
	II Q16 毎週の期待	11,315 (22.8%)	14,307 (28.8%)	16,244 (32.7%)	4,477 (9.0%)	3,386 (6.8%)	3.5
	III Q17 新しい自己発想	11,596 (23.3%)	16,978 (34.2%)	15,667 (31.5%)	3,476 (7.0%)	1,986 (4.0%)	3.7
	III Q18 分野への関心	12,361 (24.9%)	17,367 (34.9%)	14,930 (30.0%)	3,157 (6.4%)	1,884 (3.8%)	3.7
	III Q19 自分で考える姿勢	10,036 (20.2%)	15,382 (31.0%)	18,133 (36.5%)	3,993 (8.0%)	2,116 (4.3%)	3.5
	III Q20 満足度	13,346 (27.0%)	17,158 (34.7%)	14,119 (28.5%)	2,979 (6.0%)	1,904 (3.8%)	3.7

<評価帯グラフ>

2014年度



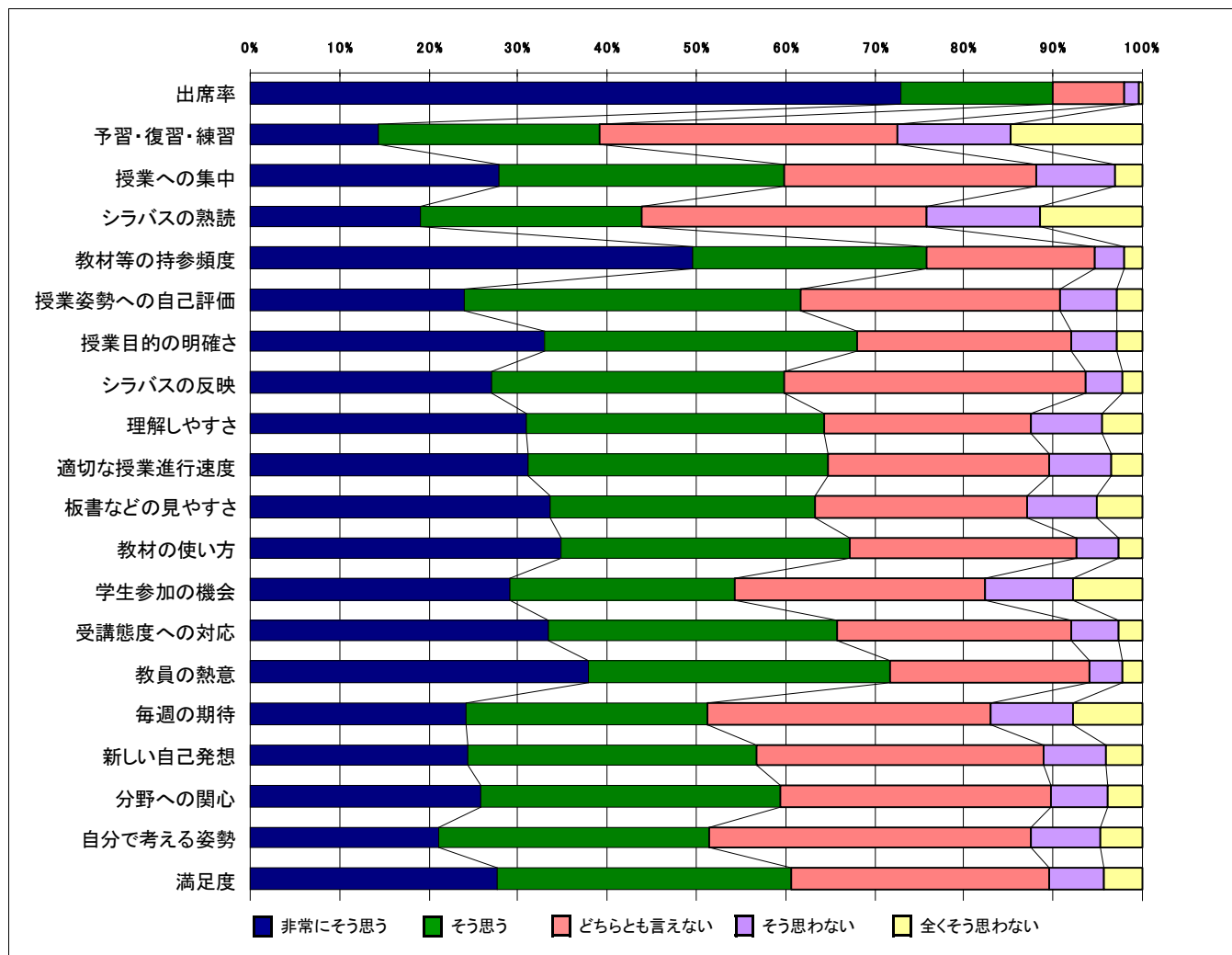
全学集計【項目別集計】

学年： 1年

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	I Q1 出席率	12,808 (73.0%)	2,991 (17.0%)	1,378 (7.9%)	281 (1.6%)	89 (0.5%)	4.6
	I Q2 予習・復習・練習	2,525 (14.4%)	4,337 (24.7%)	5,850 (33.4%)	2,254 (12.9%)	2,574 (14.7%)	3.1
	I Q3 授業への集中	4,900 (27.9%)	5,587 (31.9%)	4,950 (28.2%)	1,552 (8.9%)	543 (3.1%)	3.7
	I Q4 シラバスの熟読	3,350 (19.1%)	4,314 (24.6%)	5,628 (32.1%)	2,206 (12.6%)	2,012 (11.5%)	3.3
	I Q5 教材等の持参頻度	8,694 (49.7%)	4,581 (26.2%)	3,279 (18.7%)	581 (3.3%)	362 (2.1%)	4.2
	I Q6 授業姿勢への自己評価	4,190 (24.0%)	6,592 (37.7%)	5,093 (29.1%)	1,123 (6.4%)	487 (2.8%)	3.7
	II Q7 授業目的の明確さ	5,771 (32.9%)	6,165 (35.1%)	4,208 (24.0%)	907 (5.2%)	489 (2.8%)	3.9
	II Q8 シラバスの反映	4,753 (27.1%)	5,739 (32.7%)	5,915 (33.8%)	722 (4.1%)	396 (2.3%)	3.8
	II Q9 理解しやすさ	5,438 (31.0%)	5,866 (33.4%)	4,035 (23.0%)	1,403 (8.0%)	801 (4.6%)	3.8
	II Q10 適切な授業進行速度	5,460 (31.1%)	5,900 (33.6%)	4,332 (24.7%)	1,232 (7.0%)	611 (3.5%)	3.8
	II Q11 板書などの見やすさ	5,880 (33.5%)	5,233 (29.8%)	4,159 (23.7%)	1,389 (7.9%)	886 (5.0%)	3.8
	II Q12 教材の使い方	6,113 (34.8%)	5,677 (32.4%)	4,461 (25.4%)	824 (4.7%)	467 (2.7%)	3.9
	II Q13 学生参加の機会	5,087 (29.0%)	4,436 (25.3%)	4,916 (28.0%)	1,738 (9.9%)	1,356 (7.7%)	3.6
	II Q14 受講態度への対応	5,844 (33.3%)	5,682 (32.4%)	4,590 (26.2%)	941 (5.4%)	477 (2.7%)	3.9
	II Q15 教員の熱意	6,631 (37.8%)	5,940 (33.9%)	3,903 (22.3%)	675 (3.9%)	383 (2.2%)	4.0
	II Q16 毎週の期待	4,214 (24.1%)	4,724 (27.0%)	5,576 (31.9%)	1,599 (9.2%)	1,361 (7.8%)	3.5
	III Q17 新しい自己発想	4,249 (24.3%)	5,692 (32.6%)	5,598 (32.0%)	1,219 (7.0%)	726 (4.2%)	3.7
	III Q18 分野への関心	4,530 (25.9%)	5,870 (33.6%)	5,302 (30.3%)	1,092 (6.2%)	687 (3.9%)	3.7
	III Q19 自分で考える姿勢	3,695 (21.2%)	5,270 (30.2%)	6,305 (36.1%)	1,384 (7.9%)	810 (4.6%)	3.6
	III Q20 満足度	4,833 (27.7%)	5,723 (32.9%)	5,060 (29.0%)	1,061 (6.1%)	743 (4.3%)	3.7

<評価帯グラフ>

2014年度



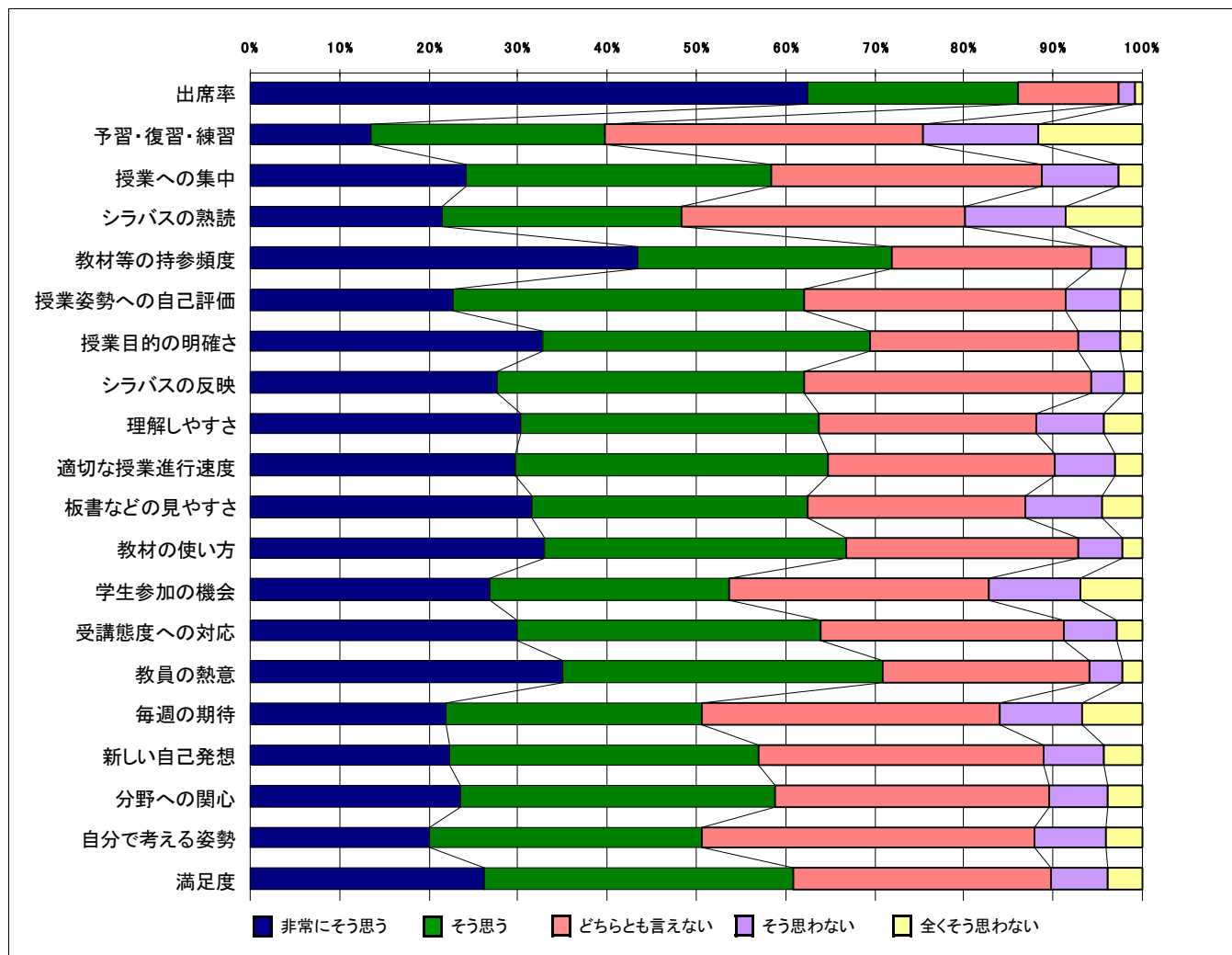
全学集計【項目別集計】

学年： 2年

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう 思わない	全く そう 思わない	平均
2014年度	I Q1 出席率	8,806 (62.4%)	3,348 (23.7%)	1,581 (11.2%)	254 (1.8%)	120 (0.9%)	4.5
	I Q2 予習・復習・練習	1,918 (13.6%)	3,687 (26.1%)	5,031 (35.7%)	1,827 (13.0%)	1,645 (11.7%)	3.2
	I Q3 授業への集中	3,417 (24.2%)	4,823 (34.2%)	4,268 (30.3%)	1,195 (8.5%)	388 (2.8%)	3.7
	I Q4 シラバスの熟読	3,027 (21.5%)	3,779 (26.8%)	4,490 (31.9%)	1,583 (11.2%)	1,216 (8.6%)	3.4
	I Q5 教材等の持参頻度	6,121 (43.5%)	3,994 (28.4%)	3,148 (22.4%)	547 (3.9%)	268 (1.9%)	4.1
	I Q6 授業姿勢への自己評価	3,199 (22.7%)	5,521 (39.3%)	4,146 (29.5%)	867 (6.2%)	332 (2.4%)	3.7
	II Q7 授業目的の明確さ	4,611 (32.7%)	5,195 (36.8%)	3,277 (23.2%)	678 (4.8%)	344 (2.4%)	3.9
	II Q8 シラバスの反映	3,914 (27.7%)	4,837 (34.3%)	4,553 (32.3%)	522 (3.7%)	282 (2.0%)	3.8
	II Q9 理解しやすさ	4,287 (30.4%)	4,715 (33.4%)	3,415 (24.2%)	1,069 (7.6%)	617 (4.4%)	3.8
	II Q10 適切な授業進行速度	4,201 (29.8%)	4,926 (34.9%)	3,582 (25.4%)	953 (6.8%)	438 (3.1%)	3.8
	II Q11 板書などの見やすさ	4,442 (31.5%)	4,373 (31.0%)	3,443 (24.4%)	1,209 (8.6%)	635 (4.5%)	3.8
	II Q12 教材の使い方	4,638 (32.9%)	4,788 (34.0%)	3,665 (26.0%)	677 (4.8%)	332 (2.4%)	3.9
	II Q13 学生参加の機会	3,771 (26.8%)	3,796 (26.9%)	4,107 (29.1%)	1,451 (10.3%)	970 (6.9%)	3.6
	II Q14 受講態度への対応	4,226 (30.0%)	4,803 (34.1%)	3,829 (27.2%)	841 (6.0%)	404 (2.9%)	3.8
	II Q15 教員の熱意	4,930 (35.0%)	5,077 (36.0%)	3,239 (23.0%)	527 (3.7%)	325 (2.3%)	4.0
	II Q16 毎週の期待	3,079 (21.9%)	4,026 (28.6%)	4,707 (33.5%)	1,288 (9.2%)	956 (6.8%)	3.5
	III Q17 新しい自己発想	3,149 (22.4%)	4,832 (34.4%)	4,493 (32.0%)	971 (6.9%)	590 (4.2%)	3.6
	III Q18 分野への関心	3,308 (23.6%)	4,944 (35.2%)	4,307 (30.7%)	916 (6.5%)	560 (4.0%)	3.7
	III Q19 自分で考える姿勢	2,808 (20.0%)	4,294 (30.6%)	5,233 (37.3%)	1,102 (7.9%)	587 (4.2%)	3.5
	III Q20 満足度	3,653 (26.1%)	4,841 (34.6%)	4,065 (29.1%)	870 (6.2%)	549 (3.9%)	3.7

<評価帯グラフ>

2014年度



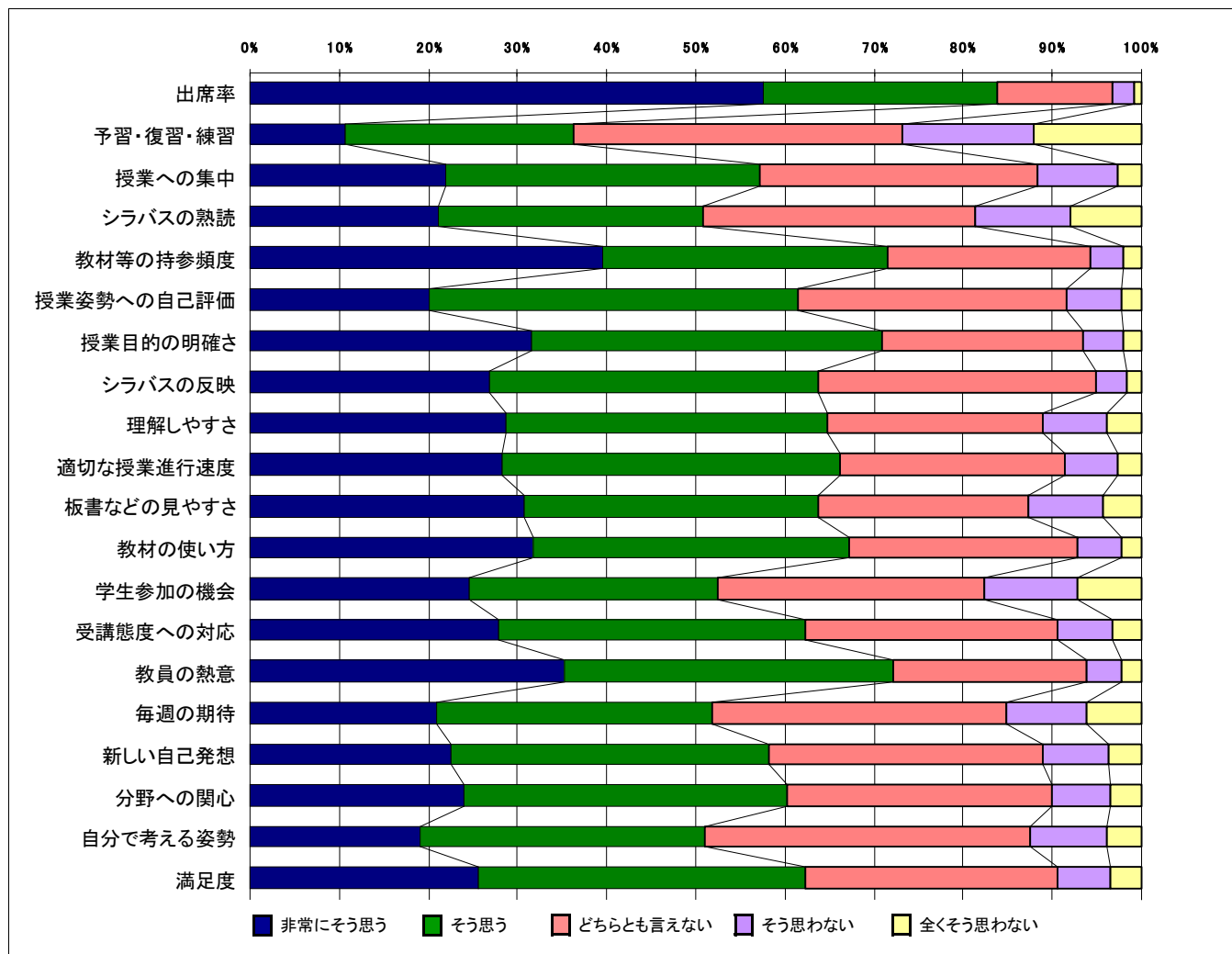
全学集計【項目別集計】

学年： 3年

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう 思わない	全く そう 思わない	平均
2014年度	I Q1 出席率	7,788 (57.6%)	3,533 (26.1%)	1,738 (12.9%)	350 (2.6%)	105 (0.8%)	4.4
	I Q2 予習・復習・練習	1,448 (10.7%)	3,442 (25.5%)	4,996 (37.0%)	1,980 (14.7%)	1,646 (12.2%)	3.1
	I Q3 授業への集中	2,956 (21.9%)	4,779 (35.4%)	4,194 (31.0%)	1,232 (9.1%)	349 (2.6%)	3.6
	I Q4 シラバスの熟読	2,842 (21.0%)	4,007 (29.7%)	4,148 (30.7%)	1,417 (10.5%)	1,089 (8.1%)	3.5
	I Q5 教材等の持参頻度	5,334 (39.5%)	4,306 (31.9%)	3,077 (22.8%)	500 (3.7%)	278 (2.1%)	4.0
	I Q6 授業姿勢への自己評価	2,700 (20.0%)	5,587 (41.5%)	4,048 (30.1%)	824 (6.1%)	310 (2.3%)	3.7
	II Q7 授業目的の明確さ	4,265 (31.6%)	5,325 (39.4%)	3,030 (22.4%)	620 (4.6%)	276 (2.0%)	3.9
	II Q8 シラバスの反映	3,627 (26.9%)	4,986 (36.9%)	4,191 (31.0%)	473 (3.5%)	227 (1.7%)	3.8
	II Q9 理解しやすさ	3,864 (28.6%)	4,901 (36.3%)	3,260 (24.1%)	951 (7.0%)	540 (4.0%)	3.8
	II Q10 適切な授業進行速度	3,829 (28.3%)	5,126 (37.9%)	3,390 (25.1%)	812 (6.0%)	356 (2.6%)	3.8
	II Q11 板書などの見やすさ	4,161 (30.8%)	4,442 (32.9%)	3,207 (23.7%)	1,135 (8.4%)	568 (4.2%)	3.8
	II Q12 教材の使い方	4,278 (31.7%)	4,794 (35.5%)	3,466 (25.7%)	673 (5.0%)	298 (2.2%)	3.9
	II Q13 学生参加の機会	3,330 (24.6%)	3,748 (27.7%)	4,052 (30.0%)	1,420 (10.5%)	961 (7.1%)	3.5
	II Q14 受講態度への対応	3,754 (27.8%)	4,671 (34.6%)	3,803 (28.1%)	837 (6.2%)	445 (3.3%)	3.8
	II Q15 教員の熱意	4,749 (35.2%)	4,982 (36.9%)	2,944 (21.8%)	538 (4.0%)	293 (2.2%)	4.0
	II Q16 毎週の期待	2,817 (20.9%)	4,167 (30.9%)	4,428 (32.9%)	1,217 (9.0%)	839 (6.2%)	3.5
	III Q17 新しい自己発想	3,032 (22.5%)	4,785 (35.6%)	4,154 (30.9%)	991 (7.4%)	487 (3.6%)	3.7
	III Q18 分野への関心	3,226 (24.0%)	4,865 (36.2%)	4,004 (29.8%)	884 (6.6%)	470 (3.5%)	3.7
	III Q19 自分で考える姿勢	2,561 (19.1%)	4,304 (32.0%)	4,910 (36.5%)	1,135 (8.4%)	532 (4.0%)	3.5
	III Q20 満足度	3,434 (25.6%)	4,920 (36.7%)	3,763 (28.1%)	805 (6.0%)	468 (3.5%)	3.8

<評価帯グラフ>

2014年度



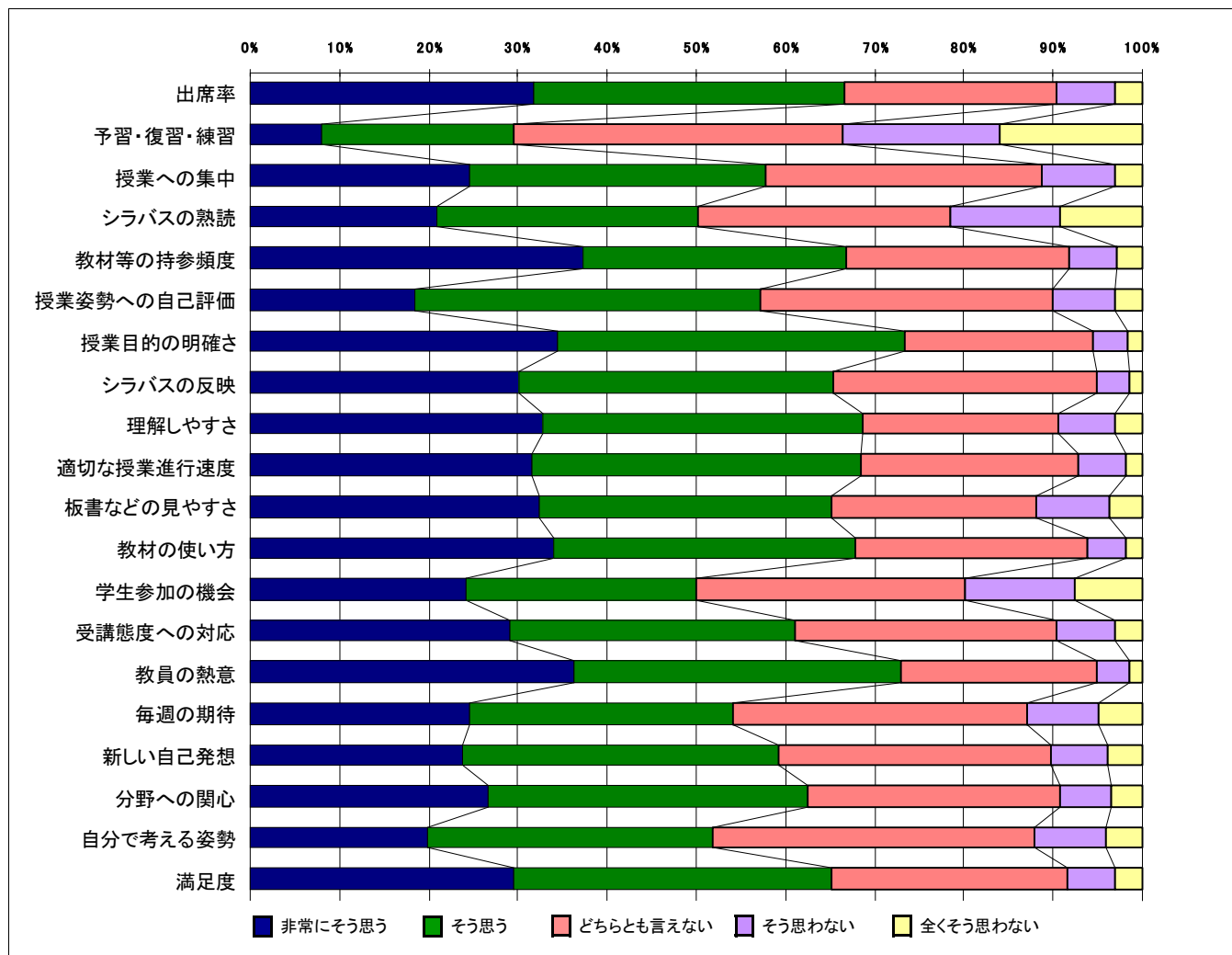
全学集計【項目別集計】

学年： 4年

実施年度	項目	非常に そう思う	そう 思う	どちらとも 言えない	そう 思わない	全く そう 思わない	平均
2014年度	I Q1 出席率	1,470 (31.7%)	1,616 (34.8%)	1,106 (23.8%)	299 (6.4%)	147 (3.2%)	3.9
	I Q2 予習・復習・練習	373 (8.0%)	999 (21.5%)	1,708 (36.8%)	820 (17.7%)	740 (15.9%)	2.9
	I Q3 授業への集中	1,138 (24.5%)	1,544 (33.3%)	1,428 (30.8%)	388 (8.4%)	139 (3.0%)	3.7
	I Q4 シラバスの熟読	972 (21.0%)	1,352 (29.2%)	1,312 (28.3%)	571 (12.3%)	429 (9.3%)	3.4
	I Q5 教材等の持参頻度	1,724 (37.3%)	1,366 (29.6%)	1,149 (24.9%)	249 (5.4%)	132 (2.9%)	3.9
	I Q6 授業姿勢への自己評価	852 (18.5%)	1,786 (38.7%)	1,511 (32.7%)	328 (7.1%)	138 (3.0%)	3.6
	II Q7 授業目的の明確さ	1,592 (34.3%)	1,806 (38.9%)	984 (21.2%)	177 (3.8%)	79 (1.7%)	4.0
	II Q8 シラバスの反映	1,400 (30.2%)	1,635 (35.3%)	1,368 (29.5%)	164 (3.5%)	70 (1.5%)	3.9
	II Q9 理解しやすさ	1,525 (32.9%)	1,659 (35.8%)	1,016 (21.9%)	292 (6.3%)	146 (3.1%)	3.9
	II Q10 適切な授業進行速度	1,464 (31.6%)	1,703 (36.8%)	1,130 (24.4%)	247 (5.3%)	88 (1.9%)	3.9
	II Q11 板書などの見やすさ	1,501 (32.4%)	1,521 (32.8%)	1,055 (22.8%)	380 (8.2%)	175 (3.8%)	3.8
	II Q12 教材の使い方	1,574 (34.0%)	1,574 (34.0%)	1,202 (25.9%)	200 (4.3%)	86 (1.9%)	3.9
	II Q13 学生参加の機会	1,122 (24.2%)	1,198 (25.8%)	1,395 (30.1%)	569 (12.3%)	352 (7.6%)	3.5
	II Q14 受講態度への対応	1,350 (29.1%)	1,482 (32.0%)	1,353 (29.2%)	304 (6.6%)	146 (3.1%)	3.8
	II Q15 教員の熱意	1,679 (36.3%)	1,702 (36.8%)	1,012 (21.9%)	167 (3.6%)	71 (1.5%)	4.0
	II Q16 毎週の期待	1,137 (24.6%)	1,362 (29.5%)	1,517 (32.9%)	370 (8.0%)	229 (5.0%)	3.6
	III Q17 新しい自己発想	1,098 (23.8%)	1,634 (35.4%)	1,412 (30.6%)	294 (6.4%)	181 (3.9%)	3.7
	III Q18 分野への関心	1,226 (26.5%)	1,659 (35.9%)	1,303 (28.2%)	265 (5.7%)	165 (3.6%)	3.8
	III Q19 自分で考える姿勢	916 (19.9%)	1,474 (31.9%)	1,669 (36.2%)	369 (8.0%)	186 (4.0%)	3.6
	III Q20 満足度	1,354 (29.4%)	1,642 (35.7%)	1,224 (26.6%)	239 (5.2%)	143 (3.1%)	3.8

<評価帯グラフ>

2014年度





C. 項目別集計  
(学部別集計)





学部別【項目別集計】

学年： 全学年

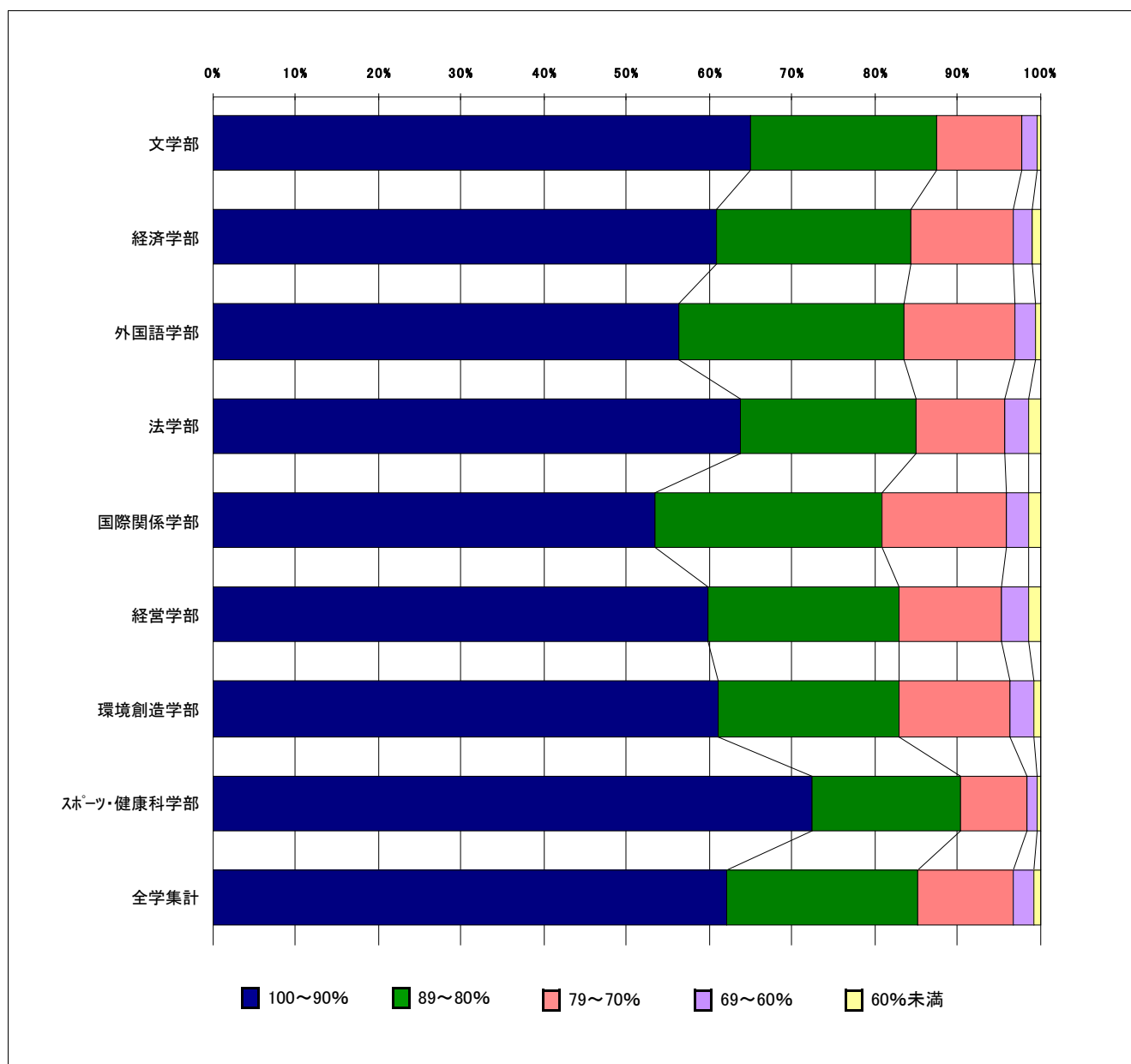
I Q1 この授業への出席率はどのくらいですか。

(人)

実施年度	項目	100～90%	89～80%	79～70%	69～60%	60%未満	平均
2014年度	文学部	7,971 (65.0%)	2,753 (22.4%)	1,271 (10.4%)	214 (1.7%)	58 (0.5%)	4.5
	経済学部	3,651 (60.8%)	1,410 (23.5%)	740 (12.3%)	145 (2.4%)	57 (0.9%)	4.4
	外国語学部	3,932 (56.2%)	1,903 (27.2%)	939 (13.4%)	174 (2.5%)	48 (0.7%)	4.4
	法学部	4,915 (63.7%)	1,639 (21.2%)	823 (10.7%)	226 (2.9%)	116 (1.5%)	4.4
	国際関係学部	1,954 (53.4%)	1,001 (27.4%)	549 (15.0%)	104 (2.8%)	50 (1.4%)	4.3
	経営学部	3,605 (59.9%)	1,385 (23.0%)	748 (12.4%)	191 (3.2%)	90 (1.5%)	4.4
	環境創造学部	1,794 (61.1%)	639 (21.8%)	393 (13.4%)	85 (2.9%)	24 (0.8%)	4.4
	スポーツ・健康科学部	3,132 (72.4%)	778 (18.0%)	347 (8.0%)	50 (1.2%)	20 (0.5%)	4.6
	全学集計	30,954 (62.0%)	11,508 (23.1%)	5,810 (11.6%)	1,189 (2.4%)	463 (0.9%)	4.4

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

学年： 全学年

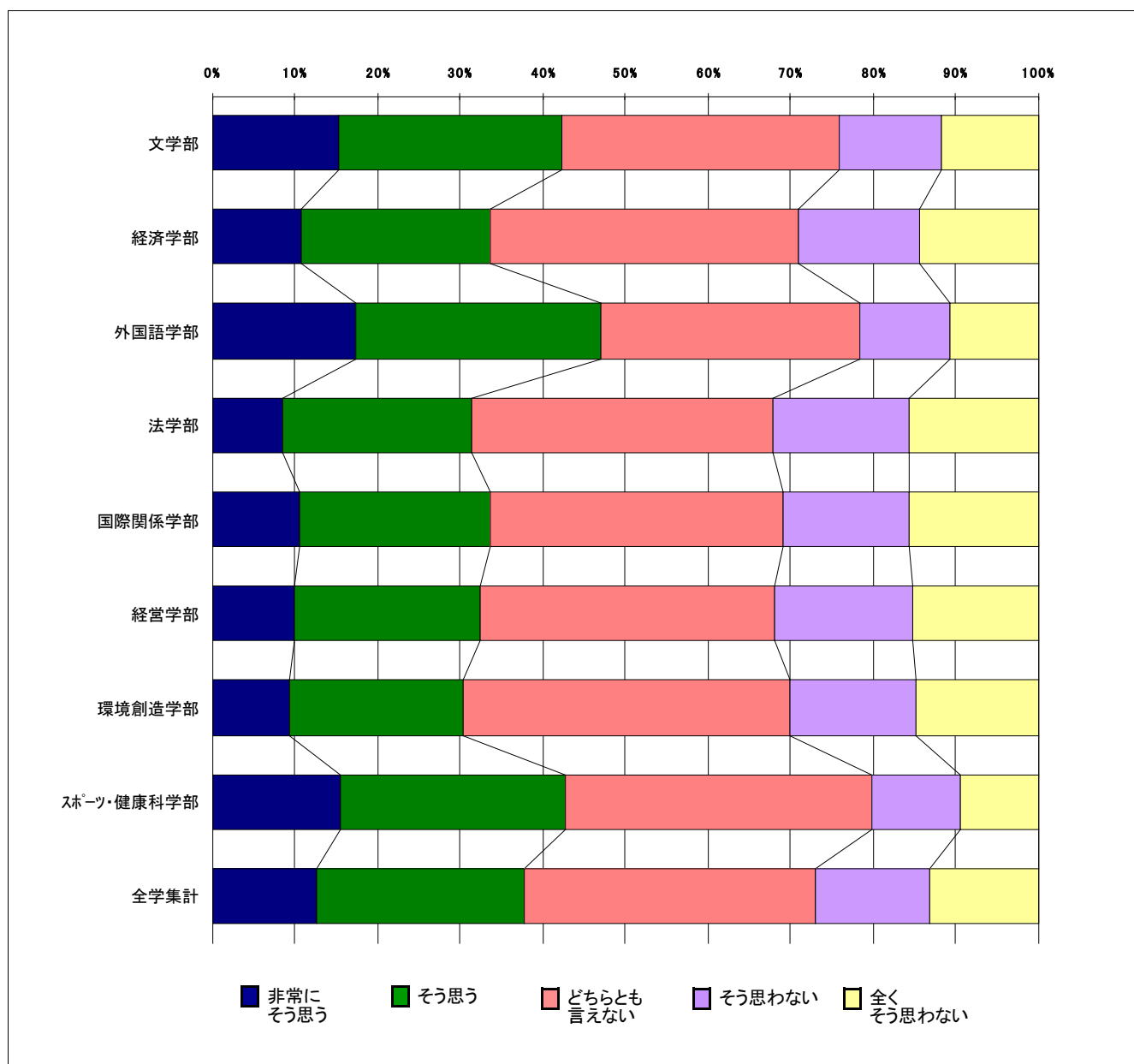
I Q2 この授業に関する予習・復習・練習などを行いましたか。

(人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	1,866 (15.2%)	3,309 (27.0%)	4,142 (33.8%)	1,497 (12.2%)	1,451 (11.8%)	3.2
	経済学部	649 (10.8%)	1,366 (22.8%)	2,246 (37.4%)	872 (14.5%)	867 (14.4%)	3.0
	外国語学部	1,208 (17.3%)	2,074 (29.7%)	2,196 (31.4%)	767 (11.0%)	748 (10.7%)	3.3
	法学部	656 (8.5%)	1,766 (22.9%)	2,809 (36.4%)	1,274 (16.5%)	1,214 (15.7%)	2.9
	国際関係学部	386 (10.5%)	842 (23.0%)	1,297 (35.4%)	565 (15.4%)	570 (15.6%)	3.0
	経営学部	596 (9.9%)	1,353 (22.5%)	2,152 (35.8%)	1,005 (16.7%)	913 (15.2%)	3.0
	環境創造学部	272 (9.3%)	618 (21.1%)	1,162 (39.6%)	445 (15.2%)	437 (14.9%)	2.9
	スポーツ・健康科学部	665 (15.4%)	1,181 (27.3%)	1,604 (37.1%)	468 (10.8%)	408 (9.4%)	3.3
	全学集計	6,298 (12.6%)	12,509 (25.1%)	17,608 (35.3%)	6,893 (13.8%)	6,608 (13.2%)	3.1

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

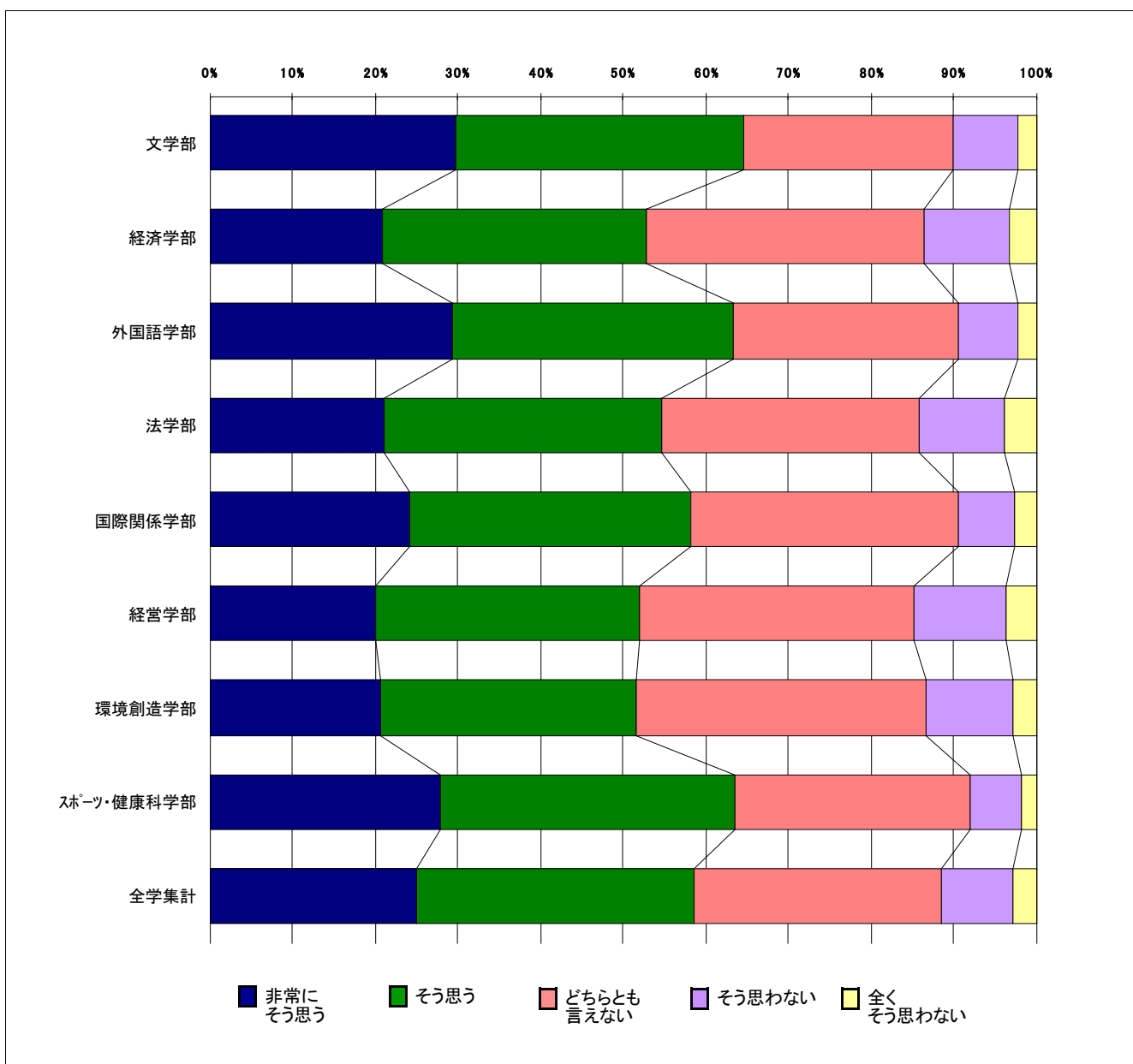
学年： 全学年

I Q3 あなたは授業に集中しましたか(私語、不必要な携帯電話の使用、むやみな教室の出入り、居眠り等をしなかった)。 (人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	3,650 (29.8%)	4,269 (34.8%)	3,106 (25.3%)	959 (7.8%)	275 (2.2%)	3.8
	経済学部	1,254 (20.9%)	1,916 (31.9%)	2,017 (33.6%)	616 (10.3%)	195 (3.3%)	3.6
	外国語学部	2,050 (29.3%)	2,379 (34.0%)	1,895 (27.1%)	506 (7.2%)	159 (2.3%)	3.8
	法学部	1,620 (21.0%)	2,592 (33.6%)	2,409 (31.2%)	782 (10.1%)	308 (4.0%)	3.6
	国際関係学部	880 (24.1%)	1,248 (34.1%)	1,181 (32.3%)	253 (6.9%)	96 (2.6%)	3.7
	経営学部	1,203 (20.0%)	1,921 (31.9%)	1,994 (33.2%)	677 (11.3%)	220 (3.7%)	3.5
	環境創造学部	602 (20.5%)	910 (31.0%)	1,030 (35.1%)	306 (10.4%)	84 (2.9%)	3.6
	スポーツ・健康科学部	1,208 (27.9%)	1,537 (35.5%)	1,227 (28.4%)	269 (6.2%)	83 (1.9%)	3.8
	全学集計	12,467 (25.0%)	16,772 (33.6%)	14,859 (29.8%)	4,368 (8.8%)	1,420 (2.8%)	3.7

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

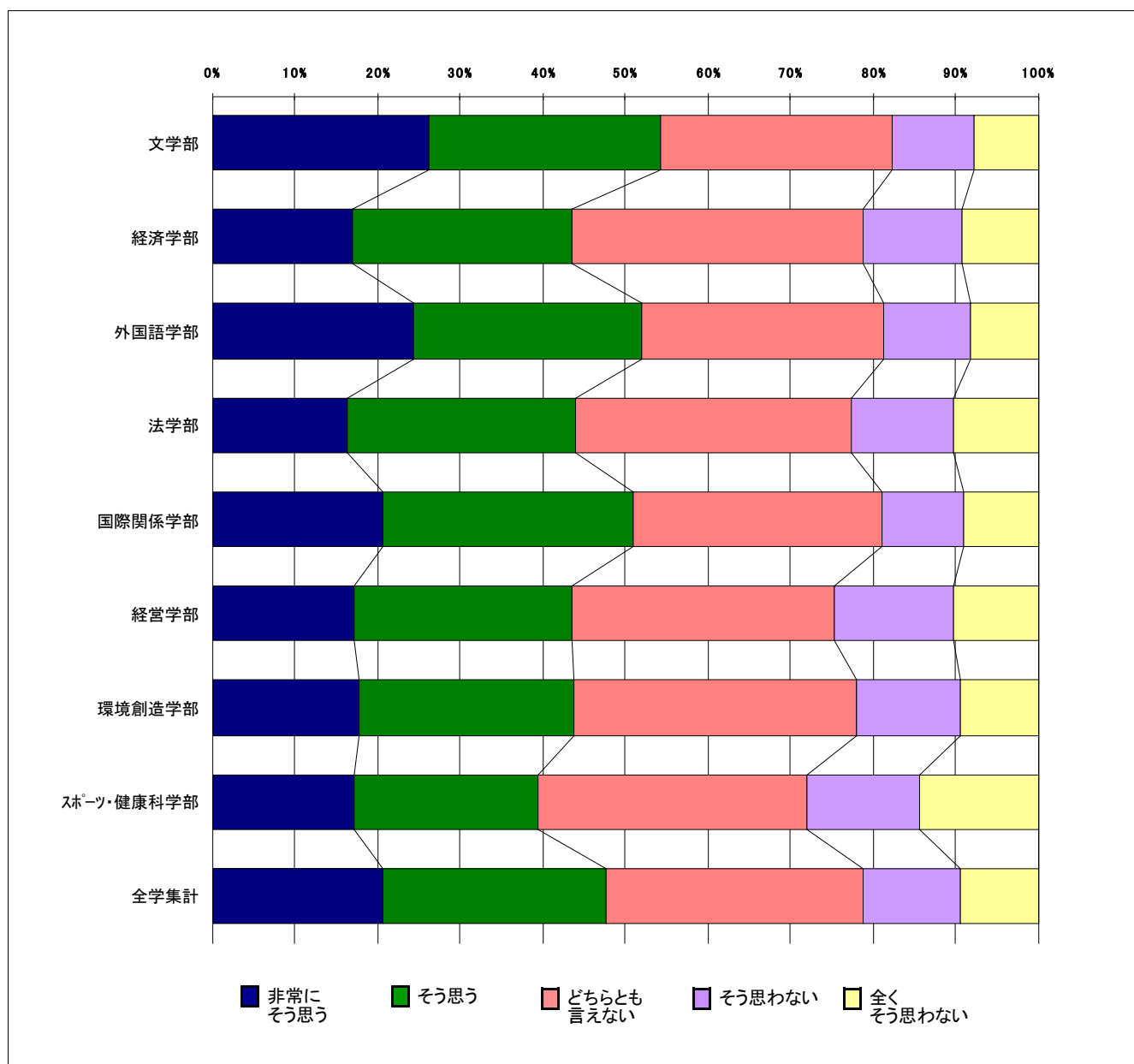
学年： 全学年

I Q4 この授業のシラバス(授業内容が記載されている教授要項)をしっかりと読みましたか。 (人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	3,222 (26.3%)	3,416 (27.9%)	3,447 (28.1%)	1,205 (9.8%)	968 (7.9%)	3.5
	経済学部	1,015 (16.9%)	1,596 (26.6%)	2,114 (35.2%)	713 (11.9%)	561 (9.4%)	3.3
	外国語学部	1,700 (24.3%)	1,924 (27.6%)	2,042 (29.2%)	739 (10.6%)	577 (8.3%)	3.5
	法学部	1,247 (16.2%)	2,127 (27.7%)	2,573 (33.5%)	942 (12.3%)	798 (10.4%)	3.3
	国際関係学部	757 (20.7%)	1,104 (30.2%)	1,103 (30.1%)	363 (9.9%)	333 (9.1%)	3.4
	経営学部	1,035 (17.2%)	1,584 (26.3%)	1,916 (31.8%)	867 (14.4%)	617 (10.3%)	3.3
	環境創造学部	519 (17.7%)	761 (26.0%)	1,006 (34.3%)	366 (12.5%)	279 (9.5%)	3.3
	スポーツ・健康科学部	741 (17.1%)	963 (22.3%)	1,406 (32.5%)	588 (13.6%)	623 (14.4%)	3.1
	全学集計	10,236 (20.5%)	13,475 (27.0%)	15,607 (31.3%)	5,783 (11.6%)	4,756 (9.5%)	3.4

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

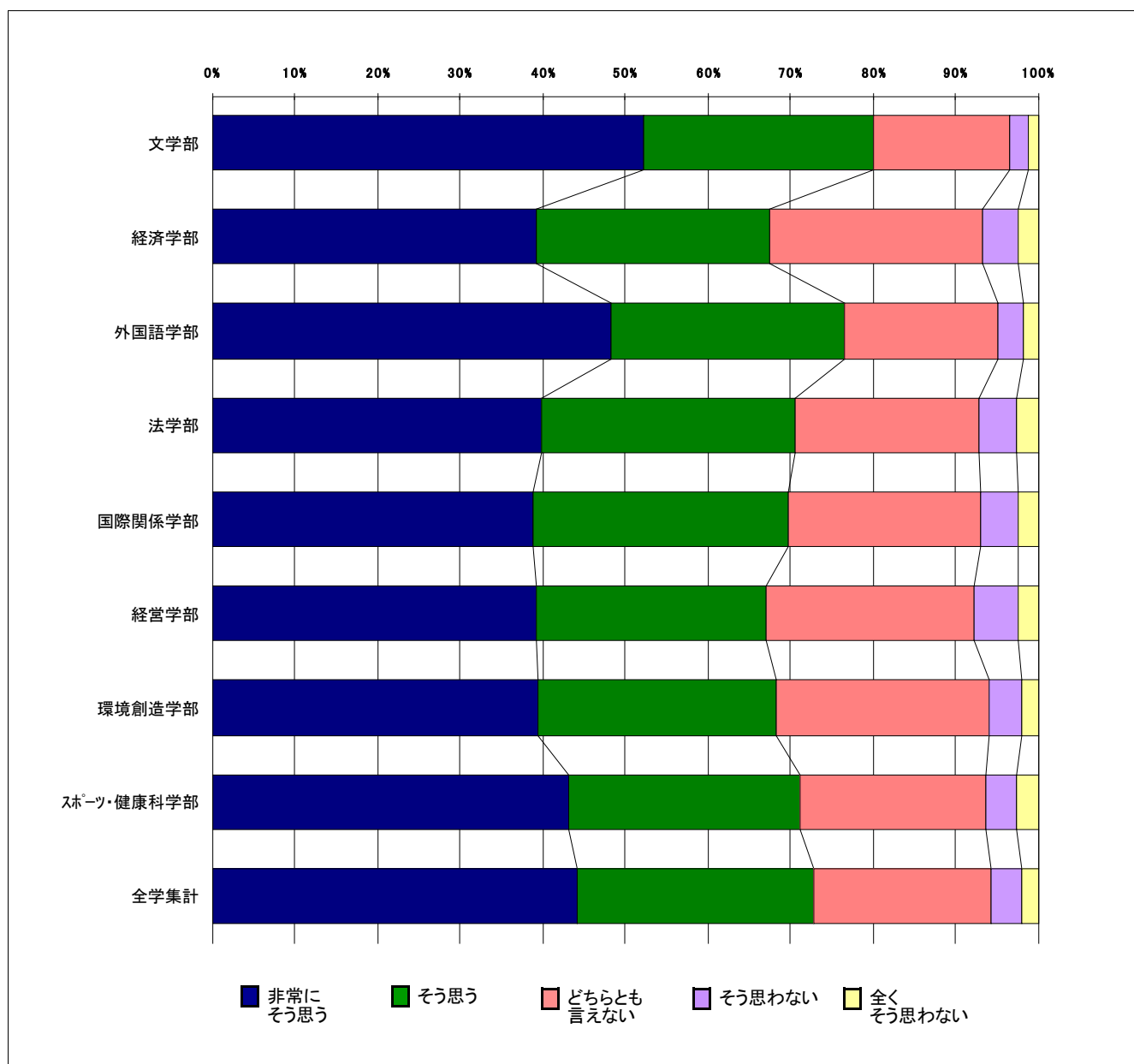
学年： 全学年

I Q5 シラバス内及び授業中にて、持ってくるように指示された教材(テキスト、プリント、辞書等)を毎回忘れずに持ってきましたか。 (人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	6,395 (52.2%)	3,397 (27.7%)	2,023 (16.5%)	288 (2.4%)	144 (1.2%)	4.3
	経済学部	2,348 (39.2%)	1,687 (28.2%)	1,544 (25.8%)	264 (4.4%)	145 (2.4%)	4.0
	外国語学部	3,361 (48.2%)	1,976 (28.3%)	1,294 (18.5%)	219 (3.1%)	126 (1.8%)	4.2
	法学部	3,064 (39.9%)	2,353 (30.6%)	1,706 (22.2%)	352 (4.6%)	209 (2.7%)	4.0
	国際関係学部	1,414 (38.7%)	1,127 (30.9%)	857 (23.5%)	165 (4.5%)	88 (2.4%)	4.0
	経営学部	2,351 (39.1%)	1,684 (28.0%)	1,511 (25.1%)	314 (5.2%)	153 (2.5%)	4.0
	環境創造学部	1,149 (39.3%)	847 (29.0%)	755 (25.8%)	114 (3.9%)	60 (2.1%)	4.0
	スポーツ・健康科学部	1,865 (43.2%)	1,205 (27.9%)	970 (22.5%)	164 (3.8%)	115 (2.7%)	4.1
	全学集計	21,947 (44.1%)	14,276 (28.7%)	10,660 (21.4%)	1,880 (3.8%)	1,040 (2.1%)	4.1

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

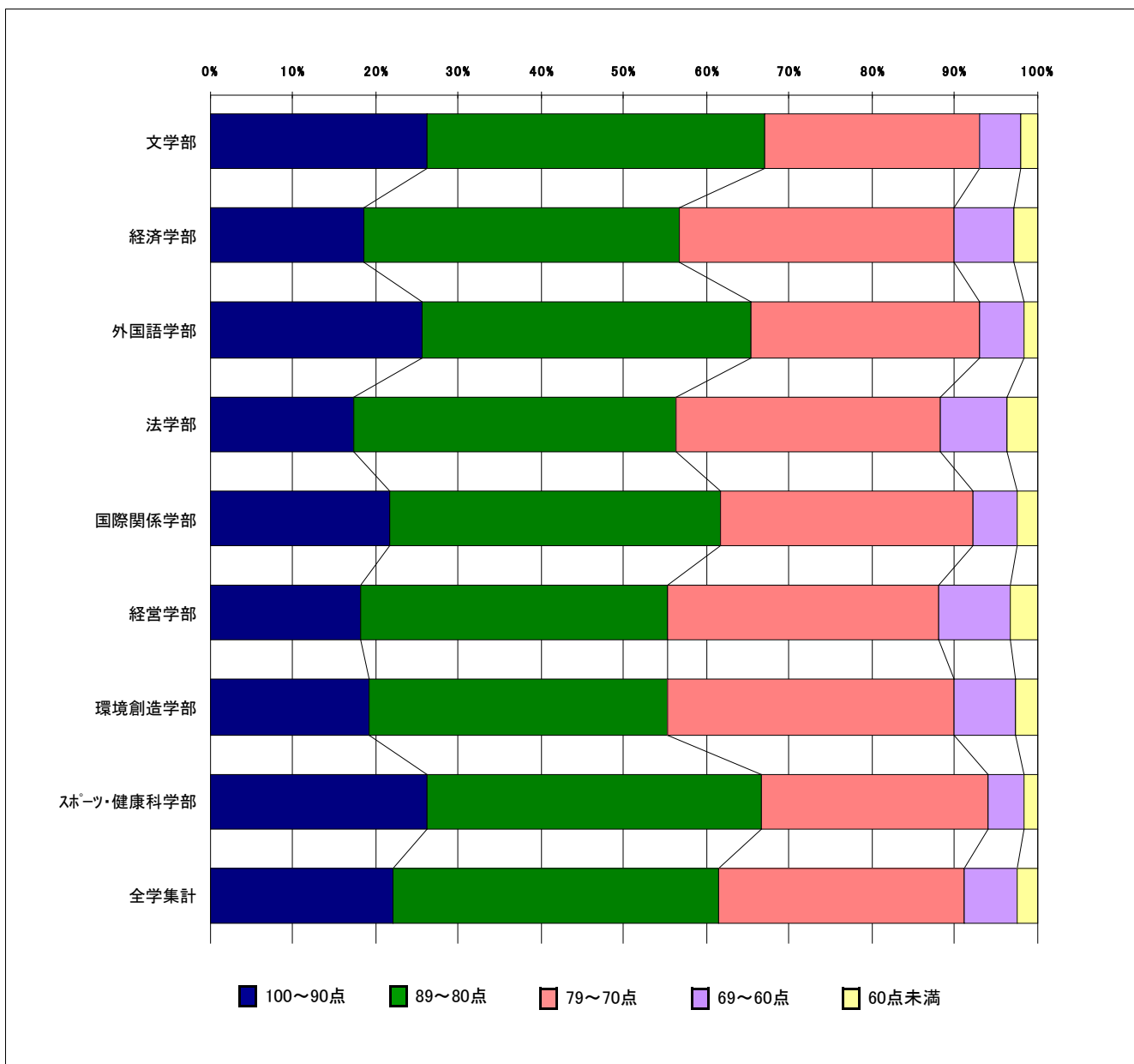
学年： 全学年

I Q6 あなた自身が授業へ真剣に臨む姿勢について、自己評価するなら何点ですか。 (人)

実施年度	項目	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	60点未満	平均
2014年度	文学部	3,203 (26.2%)	4,992 (40.9%)	3,163 (25.9%)	622 (5.1%)	240 (2.0%)	3.8
	経済学部	1,116 (18.7%)	2,279 (38.1%)	1,988 (33.2%)	427 (7.1%)	173 (2.9%)	3.6
	外国語学部	1,784 (25.6%)	2,772 (39.8%)	1,919 (27.5%)	372 (5.3%)	121 (1.7%)	3.8
	法学部	1,330 (17.3%)	2,992 (38.9%)	2,470 (32.1%)	610 (7.9%)	289 (3.8%)	3.6
	国際関係学部	789 (21.6%)	1,462 (40.1%)	1,111 (30.4%)	196 (5.4%)	91 (2.5%)	3.7
	経営学部	1,084 (18.0%)	2,240 (37.3%)	1,961 (32.6%)	519 (8.6%)	203 (3.4%)	3.6
	環境創造学部	559 (19.1%)	1,057 (36.1%)	1,018 (34.8%)	212 (7.2%)	81 (2.8%)	3.6
	スポーツ・健康科学部	1,129 (26.2%)	1,739 (40.4%)	1,181 (27.4%)	186 (4.3%)	70 (1.6%)	3.9
	全学集計	10,994 (22.1%)	19,533 (39.3%)	14,811 (29.8%)	3,144 (6.3%)	1,268 (2.5%)	3.7

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

学年： 全学年

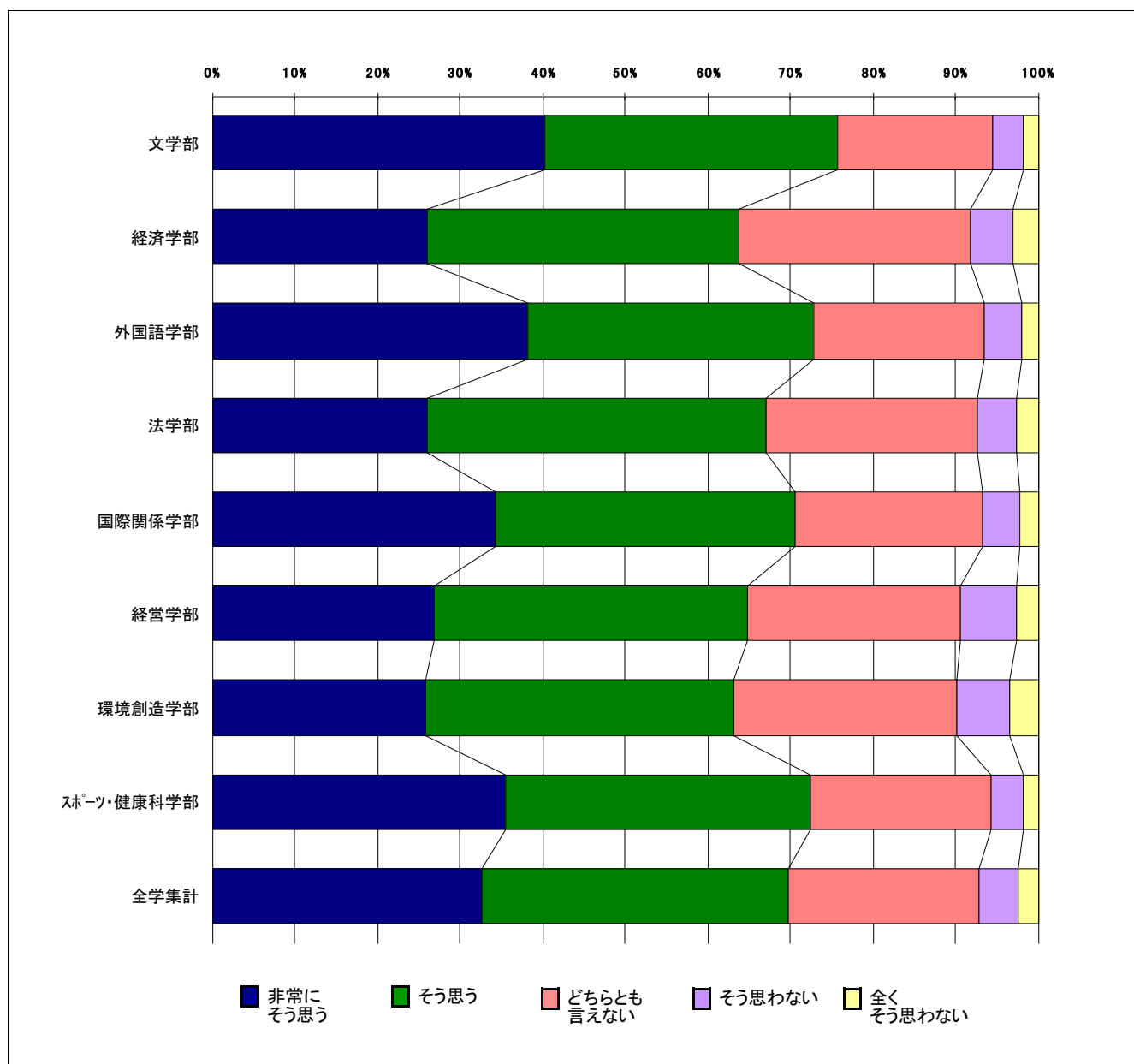
II Q7 この授業の目的やねらいは明確でしたか。

(人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	4,935 (40.2%)	4,352 (35.5%)	2,303 (18.8%)	455 (3.7%)	222 (1.8%)	4.1
	経済学部	1,554 (25.9%)	2,276 (37.9%)	1,678 (28.0%)	314 (5.2%)	181 (3.0%)	3.8
	外国語学部	2,669 (38.2%)	2,422 (34.6%)	1,438 (20.6%)	319 (4.6%)	148 (2.1%)	4.0
	法学部	2,003 (26.0%)	3,175 (41.1%)	1,963 (25.4%)	366 (4.7%)	211 (2.7%)	3.8
	国際関係学部	1,251 (34.2%)	1,325 (36.2%)	832 (22.8%)	168 (4.6%)	81 (2.2%)	4.0
	経営学部	1,608 (26.7%)	2,282 (37.9%)	1,563 (26.0%)	400 (6.6%)	165 (2.7%)	3.8
	環境創造学部	758 (25.9%)	1,093 (37.3%)	792 (27.0%)	188 (6.4%)	100 (3.4%)	3.8
	スポーツ・健康科学部	1,533 (35.4%)	1,599 (37.0%)	941 (21.8%)	172 (4.0%)	80 (1.8%)	4.0
	全学集計	16,311 (32.7%)	18,524 (37.1%)	11,510 (23.1%)	2,382 (4.8%)	1,188 (2.4%)	3.9

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

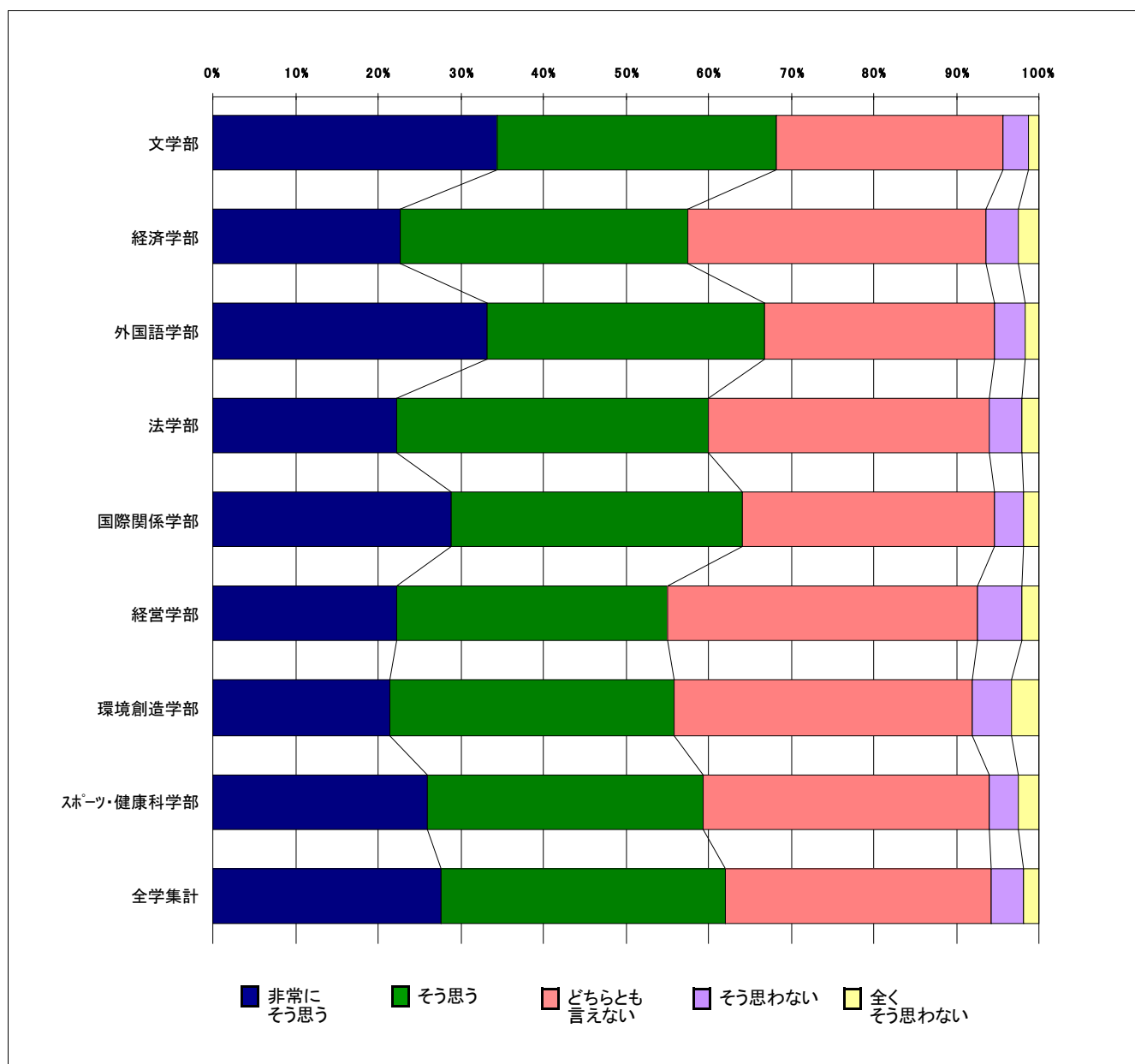
学年： 全学年

II Q8 教員はシラバスを授業に反映させていましたか。 (人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	4,220 (34.4%)	4,140 (33.8%)	3,379 (27.6%)	362 (3.0%)	158 (1.3%)	4.0
	経済学部	1,358 (22.6%)	2,096 (34.9%)	2,163 (36.1%)	238 (4.0%)	144 (2.4%)	3.7
	外国語学部	2,316 (33.1%)	2,363 (33.8%)	1,946 (27.8%)	250 (3.6%)	119 (1.7%)	3.9
	法学部	1,717 (22.3%)	2,894 (37.6%)	2,631 (34.2%)	304 (3.9%)	151 (2.0%)	3.7
	国際関係学部	1,054 (28.8%)	1,295 (35.4%)	1,111 (30.4%)	128 (3.5%)	71 (1.9%)	3.9
	経営学部	1,346 (22.4%)	1,973 (32.8%)	2,256 (37.5%)	314 (5.2%)	129 (2.1%)	3.7
	環境創造学部	627 (21.4%)	1,011 (34.4%)	1,063 (36.2%)	140 (4.8%)	94 (3.2%)	3.7
	スポーツ・健康科学部	1,121 (25.9%)	1,449 (33.5%)	1,498 (34.6%)	149 (3.4%)	109 (2.5%)	3.8
	全学集計	13,759 (27.6%)	17,221 (34.5%)	16,047 (32.2%)	1,885 (3.8%)	975 (2.0%)	3.8

<評価帯グラフ>

2014年度





学部別【項目別集計】

学年： 全学年

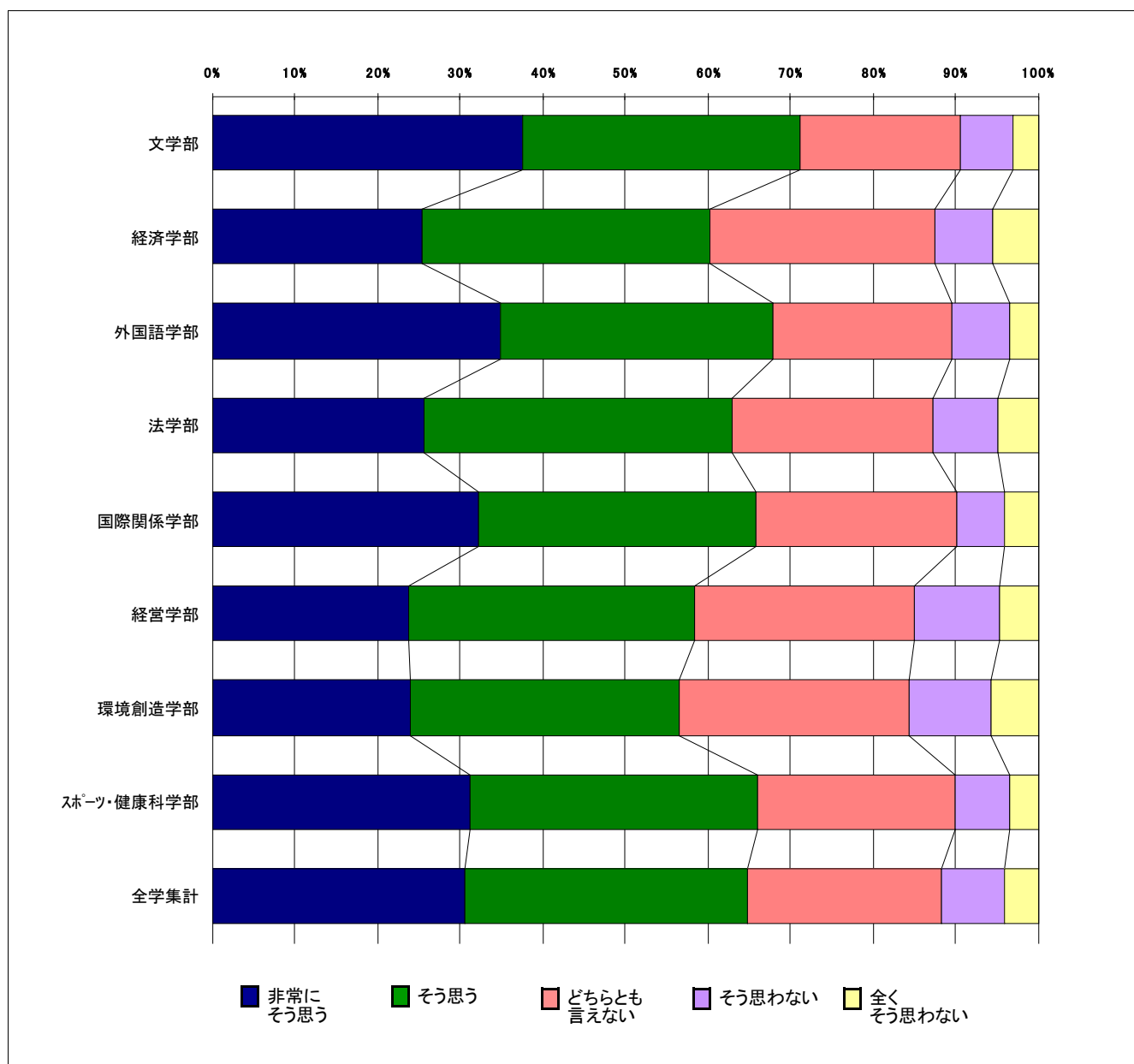
II Q9 授業内容は理解しやすかったですか。

(人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	4,599 (37.5%)	4,117 (33.6%)	2,379 (19.4%)	801 (6.5%)	373 (3.0%)	4.0
	経済学部	1,518 (25.3%)	2,088 (34.8%)	1,636 (27.3%)	423 (7.1%)	333 (5.6%)	3.7
	外国語学部	2,432 (34.8%)	2,315 (33.1%)	1,505 (21.5%)	496 (7.1%)	246 (3.5%)	3.9
	法学部	1,979 (25.6%)	2,884 (37.4%)	1,875 (24.3%)	593 (7.7%)	390 (5.1%)	3.7
	国際関係学部	1,175 (32.1%)	1,235 (33.8%)	886 (24.2%)	210 (5.7%)	153 (4.2%)	3.8
	経営学部	1,432 (23.8%)	2,075 (34.5%)	1,606 (26.7%)	619 (10.3%)	285 (4.7%)	3.6
	環境創造学部	701 (23.9%)	956 (32.6%)	818 (27.9%)	288 (9.8%)	172 (5.9%)	3.6
	スポーツ・健康科学部	1,345 (31.1%)	1,504 (34.8%)	1,033 (23.9%)	288 (6.7%)	153 (3.5%)	3.8
	全学集計	15,181 (30.4%)	17,174 (34.4%)	11,738 (23.5%)	3,718 (7.4%)	2,105 (4.2%)	3.8

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

学年： 全学年

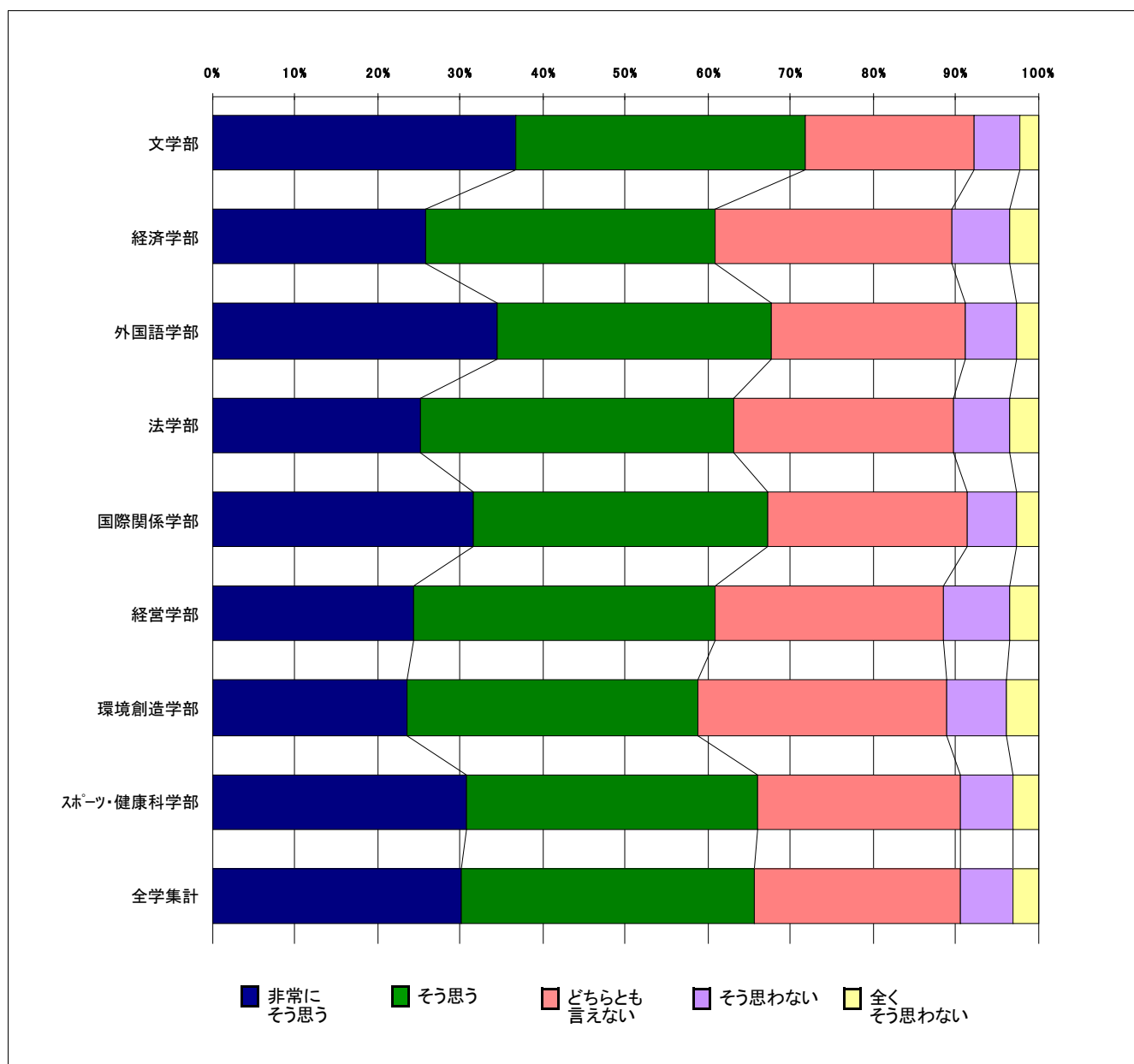
II Q10 授業進行の速度は適切でしたか。

(人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	4,503 (36.7%)	4,287 (35.0%)	2,525 (20.6%)	673 (5.5%)	277 (2.3%)	4.0
	経済学部	1,551 (25.8%)	2,103 (35.0%)	1,722 (28.7%)	420 (7.0%)	207 (3.4%)	3.7
	外国語学部	2,398 (34.3%)	2,321 (33.2%)	1,640 (23.5%)	435 (6.2%)	191 (2.7%)	3.9
	法学部	1,944 (25.2%)	2,924 (37.9%)	2,062 (26.7%)	525 (6.8%)	264 (3.4%)	3.7
	国際関係学部	1,152 (31.5%)	1,302 (35.6%)	885 (24.2%)	216 (5.9%)	101 (2.8%)	3.9
	経営学部	1,463 (24.3%)	2,193 (36.5%)	1,659 (27.6%)	488 (8.1%)	209 (3.5%)	3.7
	環境創造学部	690 (23.5%)	1,032 (35.2%)	885 (30.2%)	213 (7.3%)	112 (3.8%)	3.7
	スポーツ・健康科学部	1,324 (30.6%)	1,526 (35.3%)	1,064 (24.6%)	277 (6.4%)	133 (3.1%)	3.8
	全学集計	15,025 (30.1%)	17,688 (35.4%)	12,442 (24.9%)	3,247 (6.5%)	1,494 (3.0%)	3.8

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

学年： 全学年

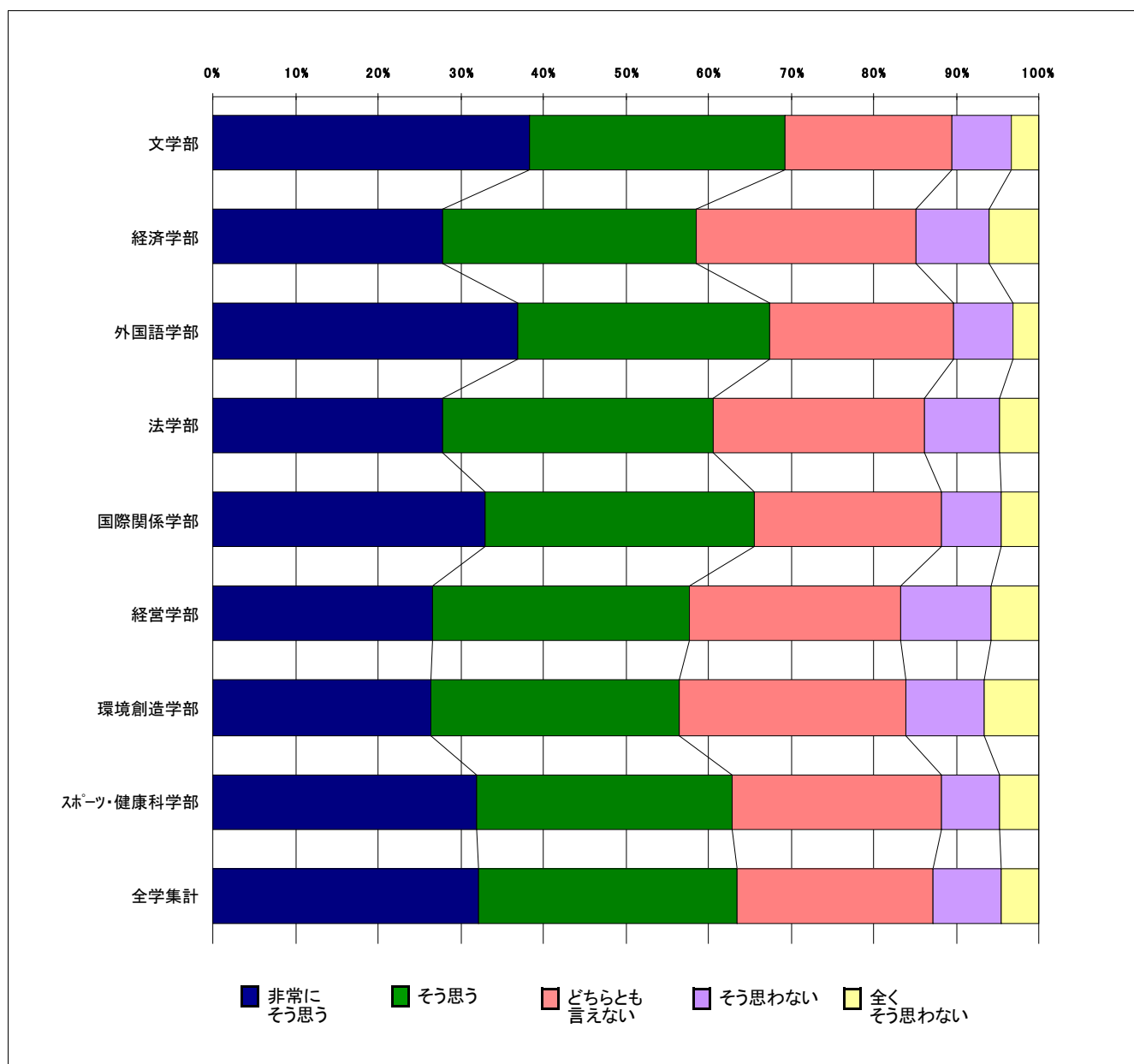
II Q11 板書の文字やスクリーンの画面は見やすかったですか。

(人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	4,699 (38.3%)	3,801 (31.0%)	2,487 (20.3%)	882 (7.2%)	398 (3.2%)	3.9
	経済学部	1,664 (27.7%)	1,847 (30.8%)	1,593 (26.6%)	535 (8.9%)	361 (6.0%)	3.7
	外国語学部	2,581 (36.9%)	2,134 (30.5%)	1,553 (22.2%)	502 (7.2%)	219 (3.1%)	3.9
	法学部	2,148 (27.8%)	2,528 (32.7%)	1,973 (25.6%)	700 (9.1%)	372 (4.8%)	3.7
	国際関係学部	1,207 (33.0%)	1,192 (32.6%)	829 (22.7%)	262 (7.2%)	167 (4.6%)	3.8
	経営学部	1,606 (26.7%)	1,866 (31.0%)	1,544 (25.7%)	650 (10.8%)	352 (5.8%)	3.6
	環境創造学部	772 (26.3%)	886 (30.2%)	801 (27.3%)	282 (9.6%)	191 (6.5%)	3.6
	スポーツ・健康科学部	1,383 (32.0%)	1,337 (30.9%)	1,095 (25.3%)	306 (7.1%)	205 (4.7%)	3.8
	全学集計	16,060 (32.2%)	15,591 (31.2%)	11,875 (23.8%)	4,119 (8.3%)	2,265 (4.5%)	3.8

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

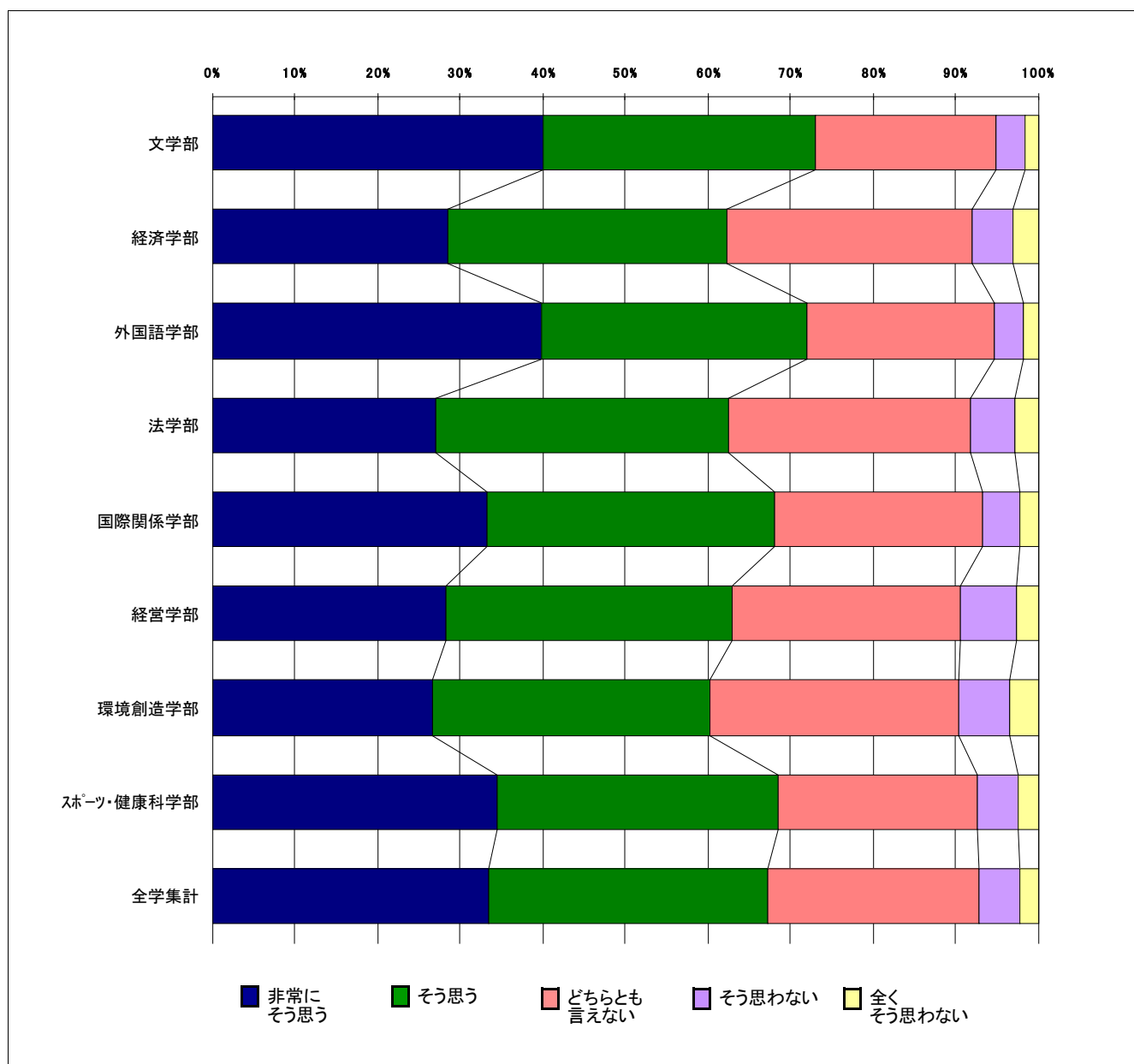
学年： 全学年

II Q12 教員の教材・機器の使い方は適切でしたか。 (人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	4,897 (39.9%)	4,048 (33.0%)	2,673 (21.8%)	450 (3.7%)	192 (1.6%)	4.1
	経済学部	1,711 (28.5%)	2,024 (33.8%)	1,784 (29.7%)	290 (4.8%)	188 (3.1%)	3.8
	外国語学部	2,789 (39.9%)	2,239 (32.0%)	1,582 (22.6%)	254 (3.6%)	128 (1.8%)	4.0
	法学部	2,088 (27.1%)	2,741 (35.5%)	2,256 (29.2%)	417 (5.4%)	217 (2.8%)	3.8
	国際関係学部	1,211 (33.1%)	1,276 (34.9%)	919 (25.1%)	166 (4.5%)	86 (2.4%)	3.9
	経営学部	1,705 (28.3%)	2,083 (34.6%)	1,660 (27.6%)	402 (6.7%)	166 (2.8%)	3.8
	環境創造学部	782 (26.6%)	984 (33.5%)	885 (30.2%)	182 (6.2%)	102 (3.5%)	3.7
	スポーツ・健康科学部	1,491 (34.5%)	1,469 (34.0%)	1,047 (24.2%)	215 (5.0%)	104 (2.4%)	3.9
	全学集計	16,674 (33.4%)	16,864 (33.8%)	12,806 (25.7%)	2,376 (4.8%)	1,183 (2.4%)	3.9

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

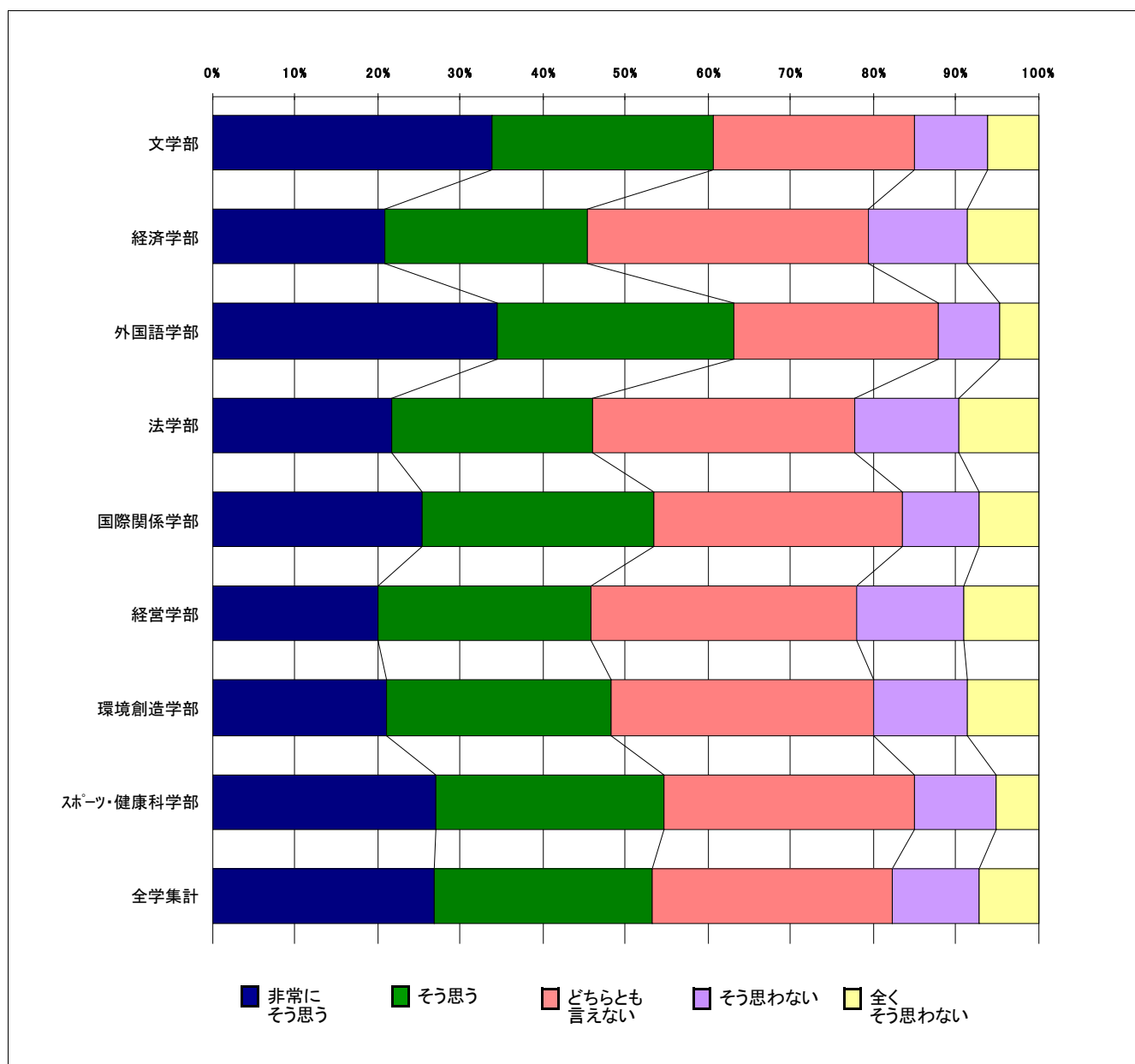
学年： 全学年

II Q13 質問、発言など、学生の積極的な参加の機会がありましたか。 (人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	4,146 (33.8%)	3,282 (26.8%)	2,986 (24.3%)	1,083 (8.8%)	766 (6.2%)	3.7
	経済学部	1,244 (20.7%)	1,476 (24.6%)	2,039 (34.0%)	717 (12.0%)	520 (8.7%)	3.4
	外国語学部	2,405 (34.4%)	1,999 (28.6%)	1,731 (24.8%)	529 (7.6%)	325 (4.7%)	3.8
	法学部	1,665 (21.6%)	1,876 (24.3%)	2,456 (31.8%)	976 (12.7%)	742 (9.6%)	3.4
	国際関係学部	924 (25.3%)	1,031 (28.2%)	1,099 (30.0%)	342 (9.3%)	262 (7.2%)	3.6
	経営学部	1,204 (20.0%)	1,542 (25.6%)	1,942 (32.3%)	776 (12.9%)	548 (9.1%)	3.3
	環境創造学部	614 (20.9%)	800 (27.3%)	933 (31.8%)	330 (11.3%)	255 (8.7%)	3.4
	スポーツ・健康科学部	1,166 (27.0%)	1,201 (27.8%)	1,305 (30.2%)	429 (9.9%)	225 (5.2%)	3.6
	全学集計	13,368 (26.8%)	13,207 (26.5%)	14,491 (29.0%)	5,182 (10.4%)	3,643 (7.3%)	3.6

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

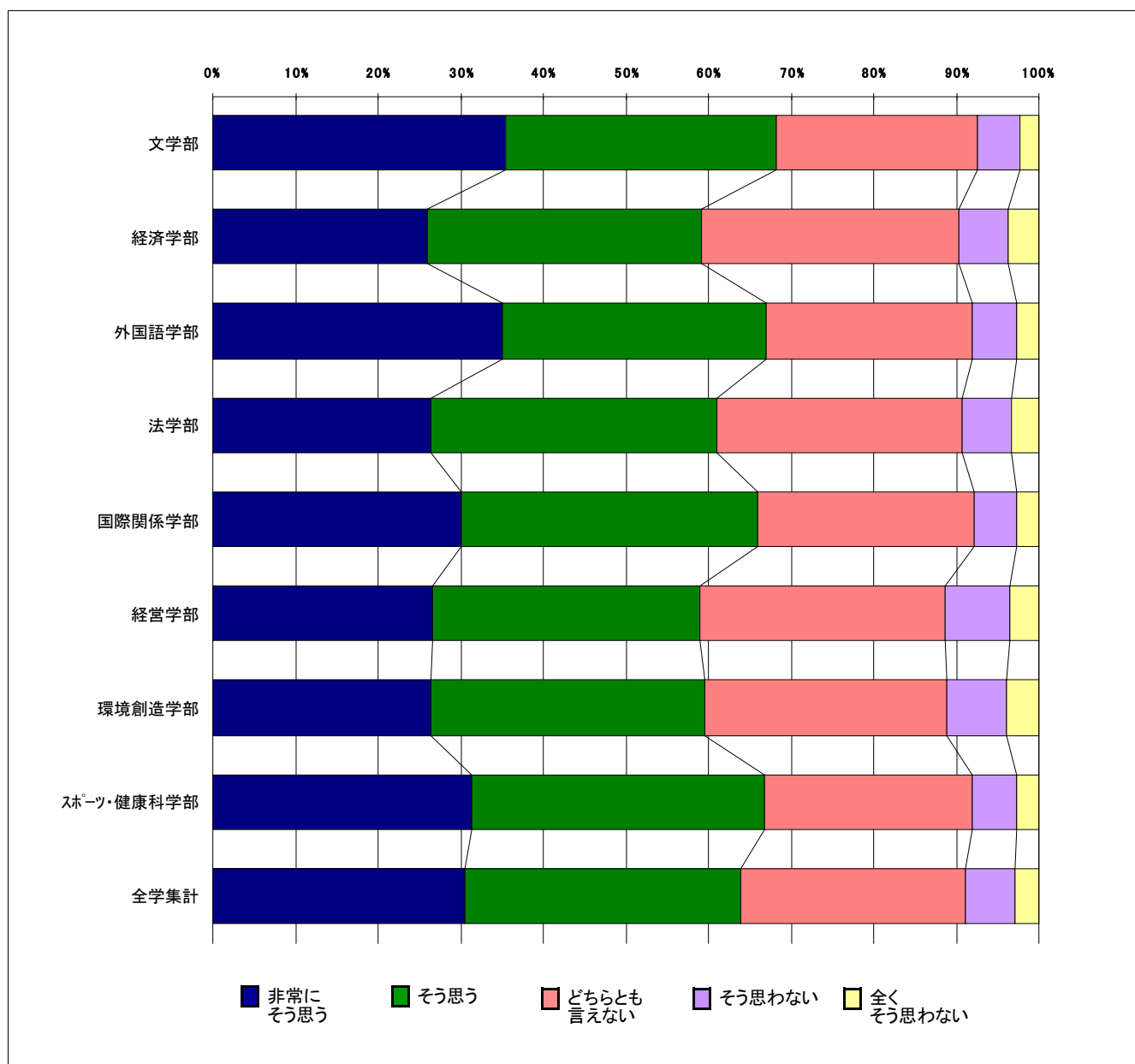
学年： 全学年

II Q14 学生の私語など不適切な授業態度に対して、教員の対応は適切でしたか。 (人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	4,361 (35.6%)	4,012 (32.7%)	2,992 (24.4%)	622 (5.1%)	279 (2.3%)	3.9
	経済学部	1,563 (26.1%)	1,985 (33.1%)	1,871 (31.2%)	360 (6.0%)	218 (3.6%)	3.7
	外国語学部	2,454 (35.1%)	2,229 (31.9%)	1,750 (25.0%)	376 (5.4%)	183 (2.6%)	3.9
	法学部	2,040 (26.4%)	2,662 (34.5%)	2,292 (29.7%)	467 (6.1%)	256 (3.3%)	3.7
	国際関係学部	1,098 (30.0%)	1,316 (36.0%)	955 (26.1%)	187 (5.1%)	99 (2.7%)	3.9
	経営学部	1,596 (26.5%)	1,956 (32.5%)	1,785 (29.7%)	468 (7.8%)	211 (3.5%)	3.7
	環境創造学部	771 (26.3%)	976 (33.3%)	859 (29.3%)	211 (7.2%)	113 (3.9%)	3.7
	スポーツ・健康科学部	1,358 (31.4%)	1,528 (35.3%)	1,088 (25.2%)	236 (5.5%)	115 (2.7%)	3.9
	全学集計	15,241 (30.5%)	16,664 (33.4%)	13,592 (27.2%)	2,927 (5.9%)	1,474 (3.0%)	3.8

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

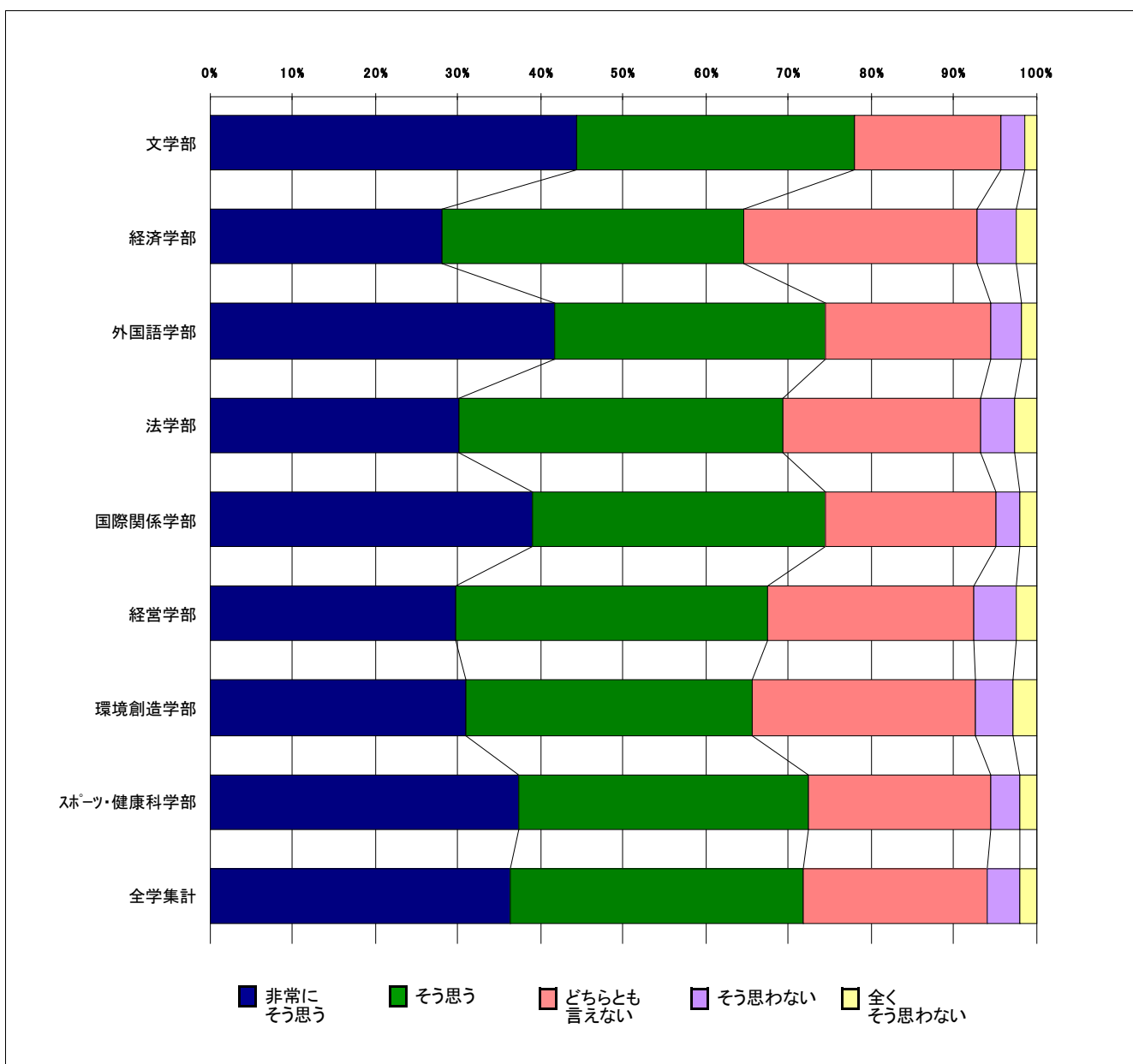
学年： 全学年

II Q15 教員の授業に対する熱意を感じましたか。 (人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	5,425 (44.2%)	4,127 (33.7%)	2,168 (17.7%)	361 (2.9%)	180 (1.5%)	4.2
	経済学部	1,679 (28.0%)	2,189 (36.5%)	1,694 (28.3%)	283 (4.7%)	151 (2.5%)	3.8
	外国語学部	2,917 (41.7%)	2,280 (32.6%)	1,406 (20.1%)	255 (3.6%)	129 (1.8%)	4.1
	法学部	2,315 (30.0%)	3,031 (39.3%)	1,850 (24.0%)	311 (4.0%)	207 (2.7%)	3.9
	国際関係学部	1,428 (39.1%)	1,297 (35.5%)	747 (20.4%)	105 (2.9%)	79 (2.2%)	4.1
	経営学部	1,782 (29.6%)	2,272 (37.8%)	1,499 (24.9%)	306 (5.1%)	154 (2.6%)	3.9
	環境創造学部	909 (31.0%)	1,014 (34.6%)	790 (26.9%)	134 (4.6%)	86 (2.9%)	3.9
	スポーツ・健康科学部	1,609 (37.2%)	1,521 (35.2%)	950 (22.0%)	156 (3.6%)	87 (2.0%)	4.0
	全学集計	18,064 (36.2%)	17,731 (35.5%)	11,104 (22.3%)	1,911 (3.8%)	1,073 (2.2%)	4.0

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

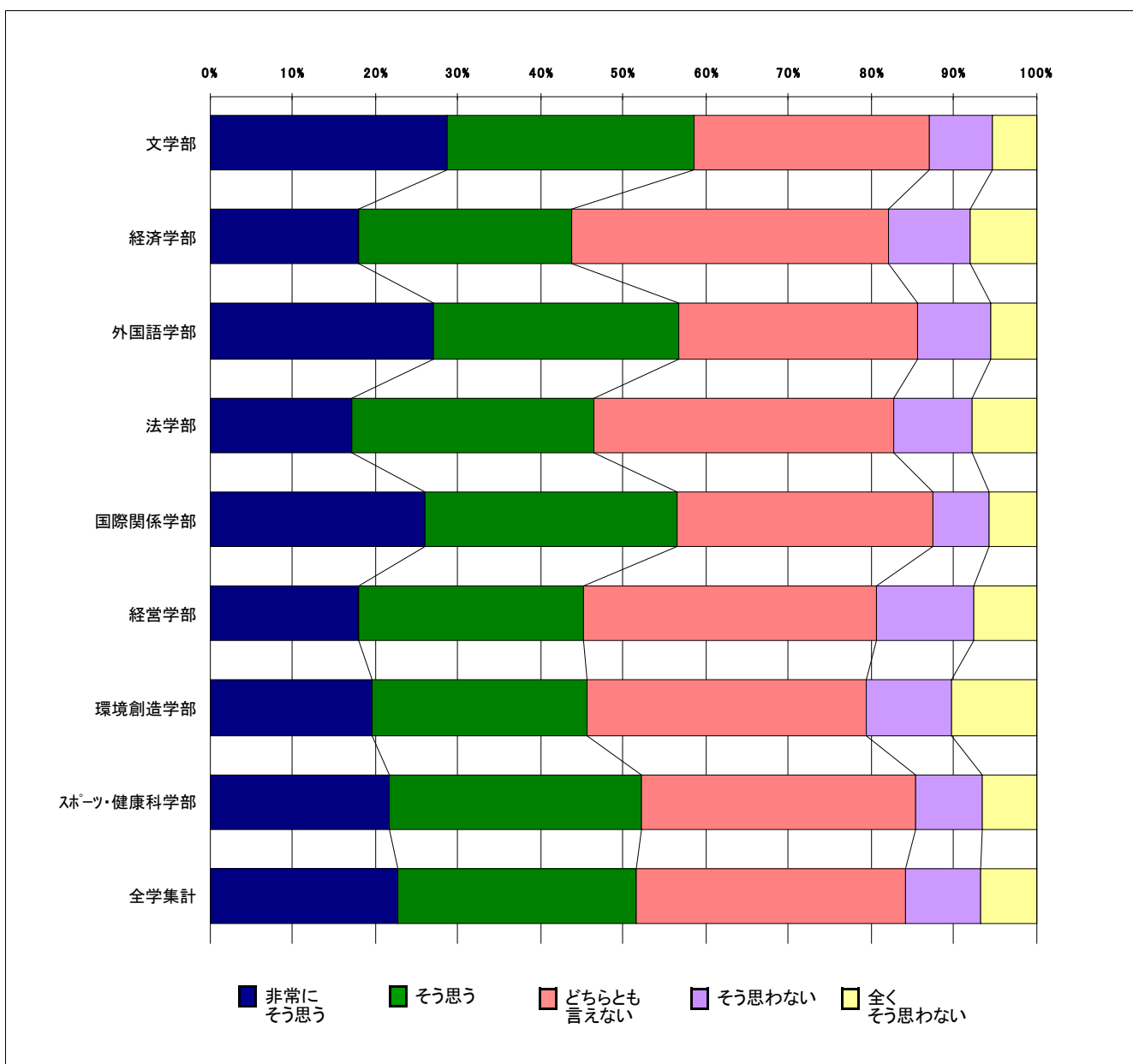
学年： 全学年

II Q16 この授業を毎回楽しみにしていましたか。 (人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	3,507 (28.7%)	3,645 (29.8%)	3,483 (28.5%)	931 (7.6%)	665 (5.4%)	3.7
	経済学部	1,076 (18.0%)	1,537 (25.7%)	2,288 (38.3%)	597 (10.0%)	479 (8.0%)	3.4
	外国語学部	1,883 (27.0%)	2,062 (29.6%)	2,016 (28.9%)	612 (8.8%)	393 (5.6%)	3.6
	法学部	1,323 (17.2%)	2,251 (29.3%)	2,783 (36.2%)	740 (9.6%)	596 (7.7%)	3.4
	国際関係学部	948 (26.1%)	1,107 (30.4%)	1,124 (30.9%)	249 (6.8%)	209 (5.7%)	3.6
	経営学部	1,080 (18.0%)	1,628 (27.1%)	2,134 (35.6%)	705 (11.8%)	453 (7.6%)	3.4
	環境創造学部	568 (19.5%)	760 (26.1%)	982 (33.7%)	300 (10.3%)	303 (10.4%)	3.3
	スポーツ・健康科学部	930 (21.6%)	1,317 (30.5%)	1,434 (33.3%)	343 (8.0%)	288 (6.7%)	3.5
	全学集計	11,315 (22.8%)	14,307 (28.8%)	16,244 (32.7%)	4,477 (9.0%)	3,386 (6.8%)	3.5

<評価帯グラフ>

2014年度





学部別【項目別集計】

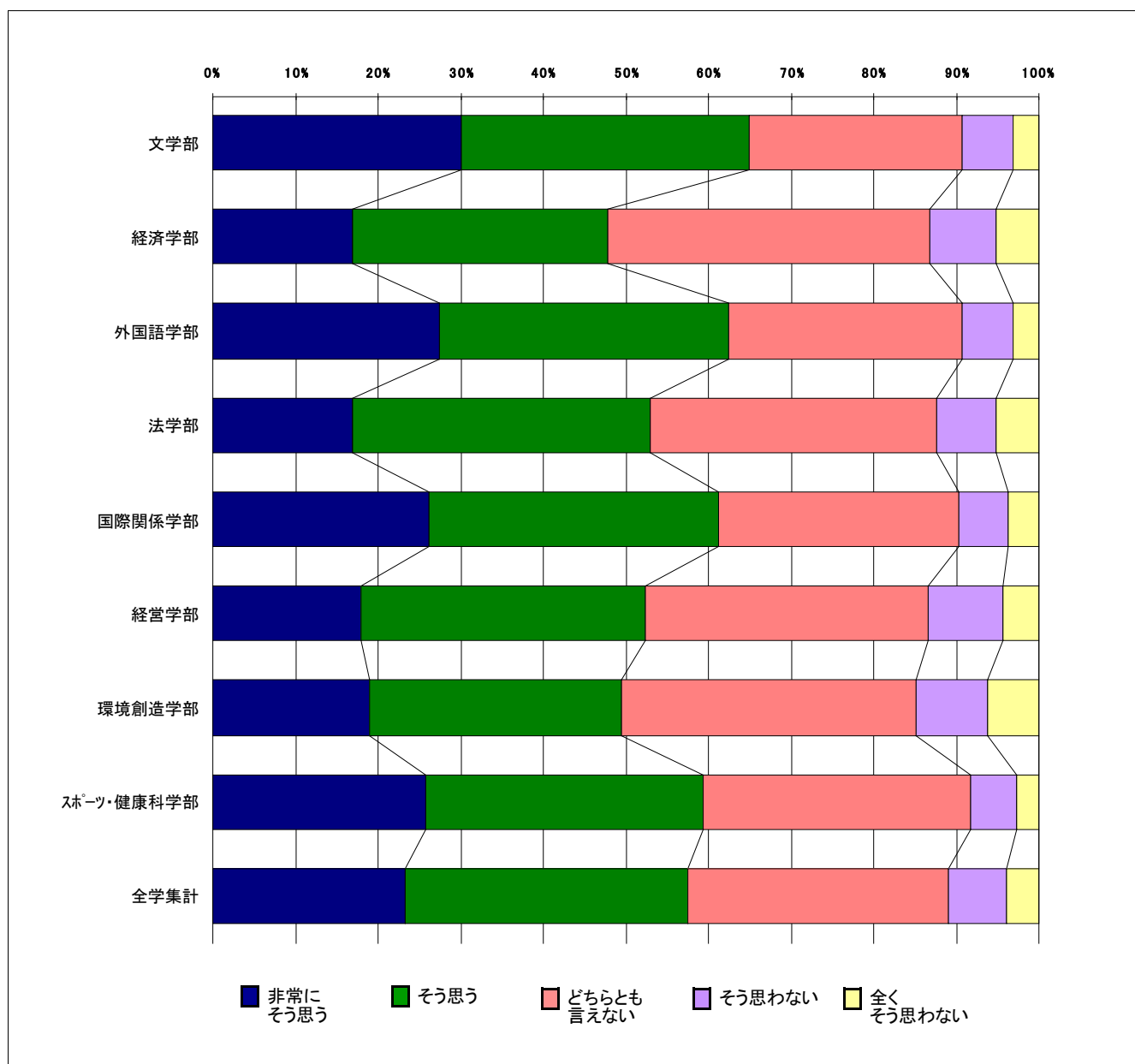
学年： 全学年

ⅢQ17 この授業をとおして、自分にとって新しい考え方や発想が身につきましたか。 (人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	3,672 (30.1%)	4,256 (34.9%)	3,160 (25.9%)	736 (6.0%)	388 (3.2%)	3.8
	経済学部	1,004 (16.8%)	1,848 (30.9%)	2,329 (39.0%)	482 (8.1%)	311 (5.2%)	3.5
	外国語学部	1,919 (27.5%)	2,436 (34.9%)	1,964 (28.2%)	445 (6.4%)	209 (3.0%)	3.8
	法学部	1,305 (17.0%)	2,768 (36.0%)	2,663 (34.7%)	554 (7.2%)	390 (5.1%)	3.5
	国際関係学部	953 (26.2%)	1,275 (35.0%)	1,059 (29.1%)	221 (6.1%)	133 (3.7%)	3.7
	経営学部	1,080 (18.0%)	2,059 (34.3%)	2,057 (34.3%)	544 (9.1%)	260 (4.3%)	3.5
	環境創造学部	555 (19.0%)	892 (30.5%)	1,041 (35.7%)	254 (8.7%)	178 (6.1%)	3.5
	スポーツ・健康科学部	1,108 (25.7%)	1,444 (33.6%)	1,394 (32.4%)	240 (5.6%)	117 (2.7%)	3.7
	全学集計	11,596 (23.3%)	16,978 (34.2%)	15,667 (31.5%)	3,476 (7.0%)	1,986 (4.0%)	3.7

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

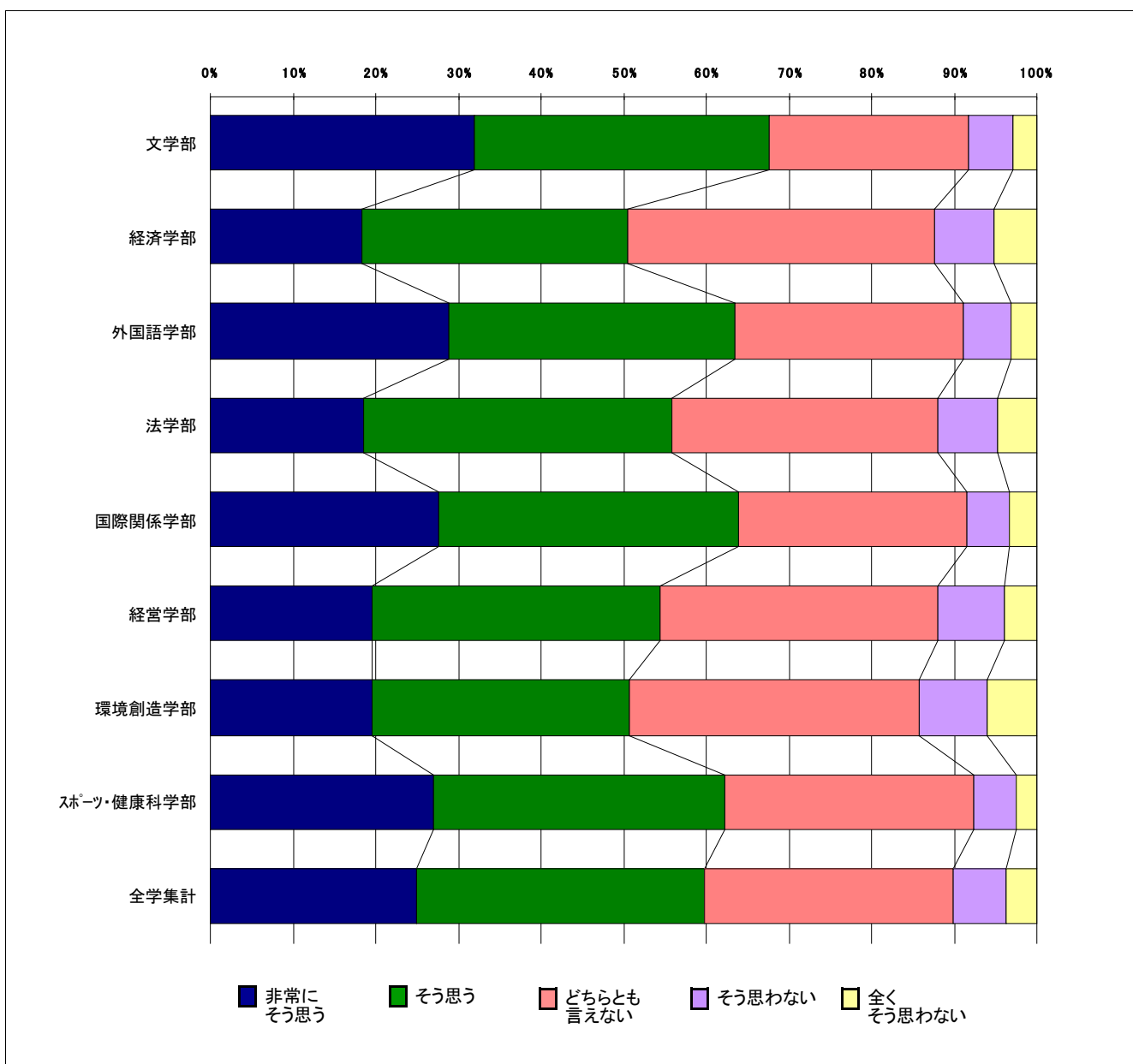
学年： 全学年

ⅢQ18 この授業で扱われた分野への関心が高まりましたか。 (人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	3,909 (32.0%)	4,345 (35.6%)	2,958 (24.2%)	639 (5.2%)	362 (3.0%)	3.9
	経済学部	1,102 (18.4%)	1,910 (32.0%)	2,229 (37.3%)	431 (7.2%)	302 (5.1%)	3.5
	外国語学部	2,013 (28.9%)	2,411 (34.6%)	1,933 (27.7%)	400 (5.7%)	216 (3.1%)	3.8
	法学部	1,426 (18.6%)	2,859 (37.2%)	2,481 (32.3%)	543 (7.1%)	371 (4.8%)	3.6
	国際関係学部	1,003 (27.5%)	1,324 (36.4%)	1,008 (27.7%)	189 (5.2%)	118 (3.2%)	3.8
	経営学部	1,178 (19.6%)	2,086 (34.8%)	2,011 (33.5%)	488 (8.1%)	235 (3.9%)	3.6
	環境創造学部	572 (19.6%)	908 (31.1%)	1,022 (35.0%)	240 (8.2%)	176 (6.0%)	3.5
	スポーツ・健康科学部	1,158 (26.9%)	1,524 (35.4%)	1,288 (29.9%)	227 (5.3%)	104 (2.4%)	3.8
	全学集計	12,361 (24.9%)	17,367 (34.9%)	14,930 (30.0%)	3,157 (6.4%)	1,884 (3.8%)	3.7

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

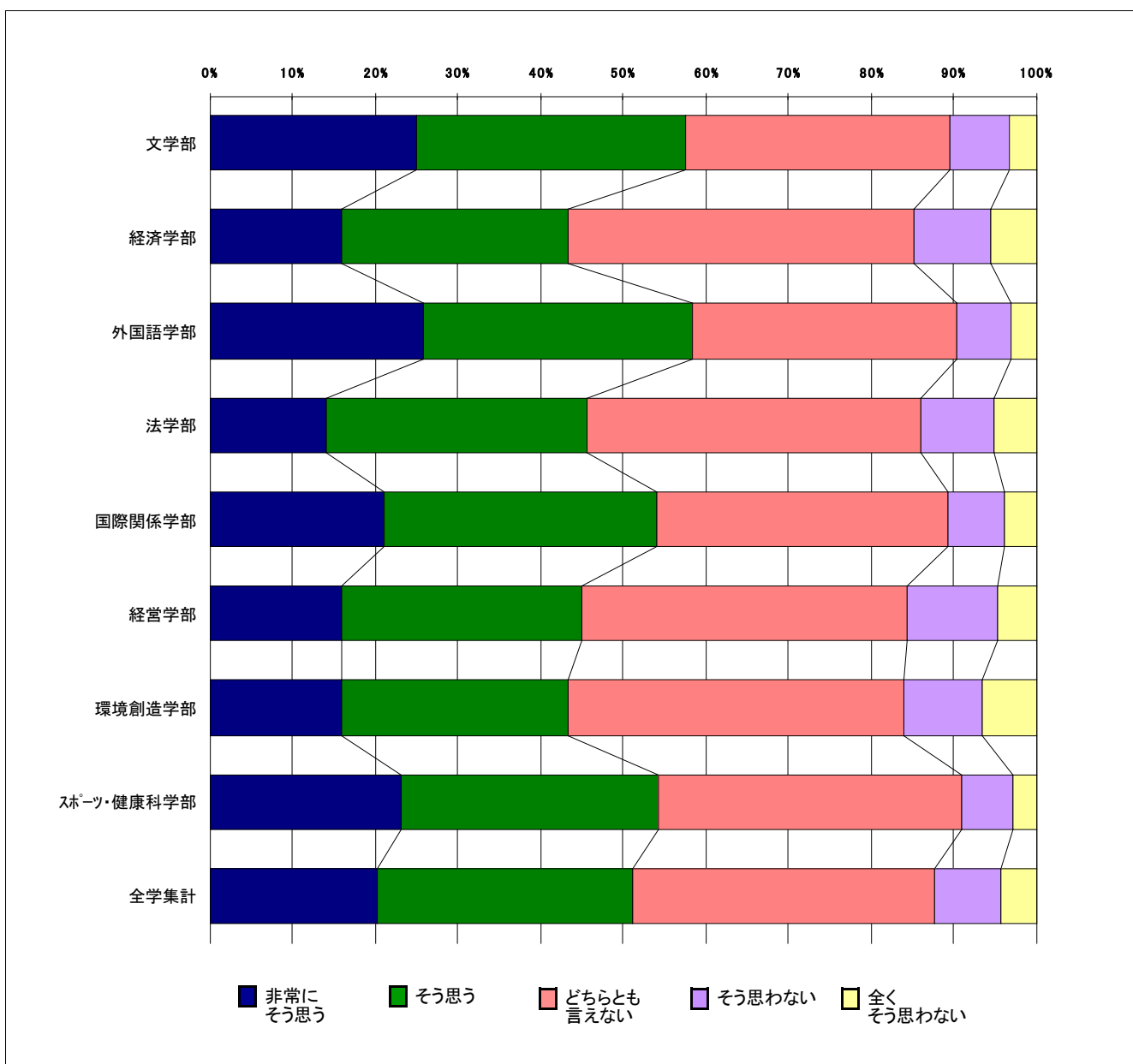
学年： 全学年

ⅢQ19 この授業をとおして、自分で調べ、考える姿勢が身につきましたか。 (人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	3,052 (25.0%)	3,961 (32.5%)	3,917 (32.1%)	862 (7.1%)	414 (3.4%)	3.7
	経済学部	944 (15.8%)	1,638 (27.5%)	2,497 (41.9%)	549 (9.2%)	337 (5.6%)	3.4
	外国語学部	1,794 (25.7%)	2,274 (32.6%)	2,218 (31.8%)	463 (6.6%)	218 (3.1%)	3.7
	法学部	1,079 (14.1%)	2,417 (31.5%)	3,101 (40.4%)	684 (8.9%)	396 (5.2%)	3.4
	国際関係学部	765 (21.0%)	1,205 (33.1%)	1,279 (35.1%)	245 (6.7%)	146 (4.0%)	3.6
	経営学部	947 (15.8%)	1,751 (29.2%)	2,359 (39.3%)	652 (10.9%)	287 (4.8%)	3.4
	環境創造学部	464 (15.9%)	796 (27.3%)	1,183 (40.6%)	275 (9.4%)	193 (6.6%)	3.4
	スポーツ・健康科学部	991 (23.1%)	1,340 (31.2%)	1,579 (36.7%)	263 (6.1%)	125 (2.9%)	3.7
	全学集計	10,036 (20.2%)	15,382 (31.0%)	18,133 (36.5%)	3,993 (8.0%)	2,116 (4.3%)	3.5

<評価帯グラフ>

2014年度



学部別【項目別集計】

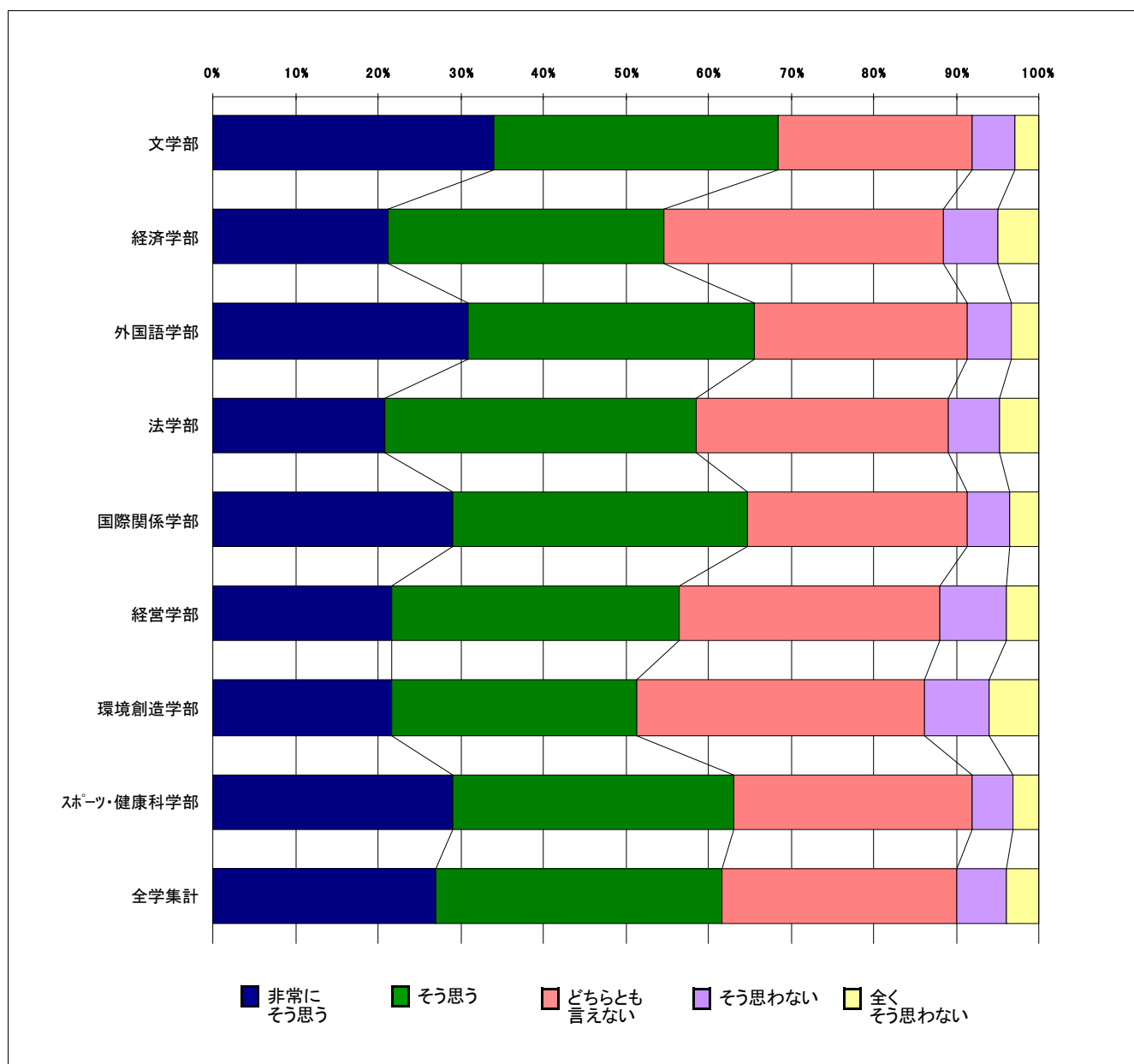
学年： 全学年

ⅢQ20 この授業を総合的にみて、満足できましたか。 (人)

実施年度	項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	文学部	4,129 (33.9%)	4,191 (34.4%)	2,867 (23.6%)	622 (5.1%)	361 (3.0%)	3.9
	経済学部	1,266 (21.3%)	1,980 (33.3%)	2,014 (33.9%)	399 (6.7%)	290 (4.9%)	3.6
	外国語学部	2,152 (31.0%)	2,394 (34.5%)	1,791 (25.8%)	383 (5.5%)	224 (3.2%)	3.8
	法学部	1,589 (20.7%)	2,890 (37.7%)	2,340 (30.6%)	471 (6.2%)	368 (4.8%)	3.6
	国際関係学部	1,056 (29.1%)	1,295 (35.7%)	963 (26.5%)	187 (5.1%)	131 (3.6%)	3.8
	経営学部	1,290 (21.6%)	2,088 (34.9%)	1,893 (31.7%)	480 (8.0%)	229 (3.8%)	3.6
	環境創造学部	625 (21.6%)	863 (29.8%)	1,014 (35.0%)	225 (7.8%)	173 (6.0%)	3.5
	スポーツ・健康科学部	1,239 (29.0%)	1,457 (34.1%)	1,237 (28.9%)	212 (5.0%)	128 (3.0%)	3.8
	全学集計	13,346 (27.0%)	17,158 (34.7%)	14,119 (28.5%)	2,979 (6.0%)	1,904 (3.8%)	3.7

<評価帯グラフ>

2014年度



D. 学年別集計  
(学部・学科別集計)



学部学科別【学年別集計】

学部 文学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

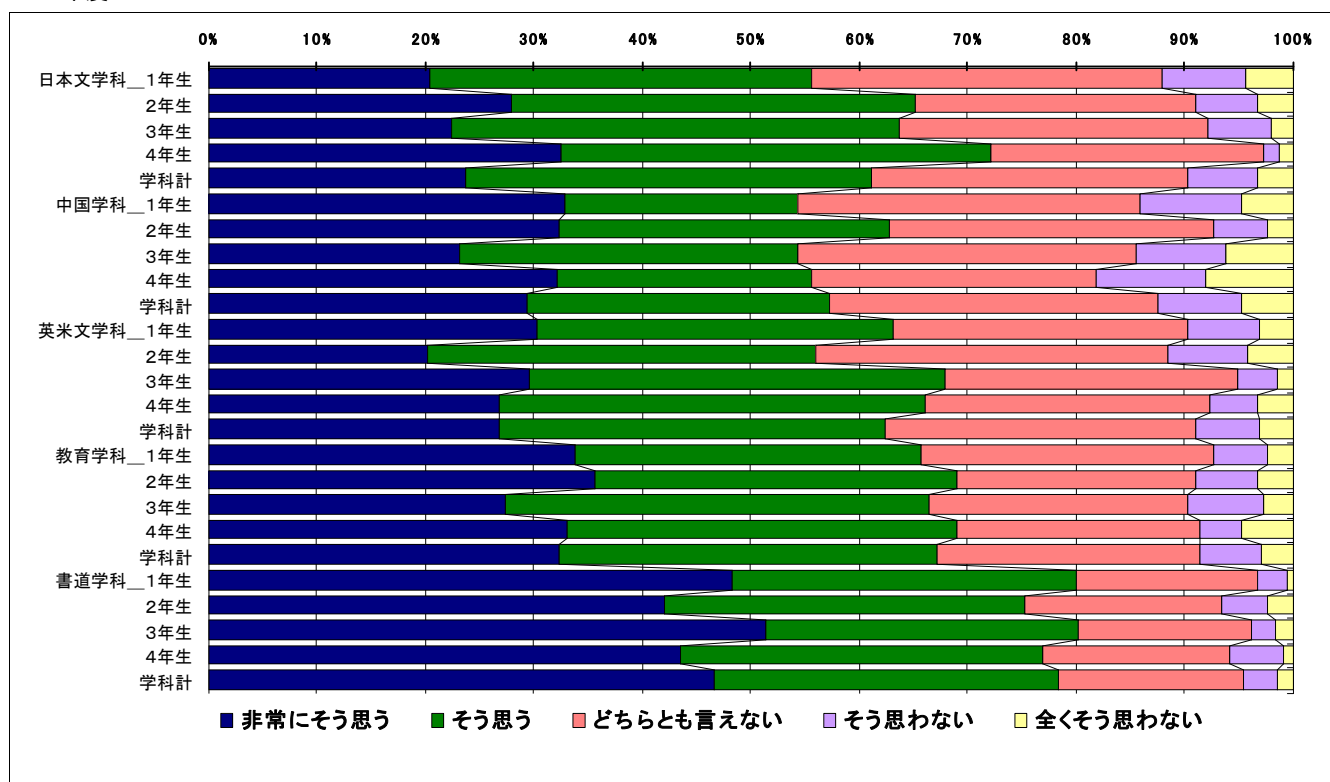
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	学生の所属		非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	日本文学科	1年生	1,256 (20.3%)	2,179 (35.3%)	1,988 (32.2%)	476 (7.7%)	275 (4.5%)	3.6
		2年生	1,044 (27.8%)	1,399 (37.3%)	974 (25.9%)	212 (5.6%)	125 (3.3%)	3.8
		3年生	821 (22.4%)	1,514 (41.3%)	1,041 (28.4%)	218 (5.9%)	72 (2.0%)	3.8
		4年生	309 (32.5%)	377 (39.6%)	239 (25.1%)	15 (1.6%)	12 (1.3%)	4.0
		学科計	3,430 (23.6%)	5,469 (37.6%)	4,242 (29.2%)	921 (6.3%)	484 (3.3%)	3.7
	中国学科	1年生	580 (32.8%)	382 (21.6%)	556 (31.4%)	168 (9.5%)	83 (4.7%)	3.7
		2年生	759 (32.4%)	710 (30.3%)	701 (29.9%)	116 (4.9%)	58 (2.5%)	3.9
		3年生	550 (23.2%)	739 (31.2%)	737 (31.1%)	200 (8.4%)	146 (6.2%)	3.6
		4年生	191 (32.0%)	140 (23.5%)	157 (26.3%)	60 (10.1%)	48 (8.1%)	3.6
		学科計	2,080 (29.4%)	1,971 (27.8%)	2,151 (30.4%)	544 (7.7%)	335 (4.7%)	3.7
	英米文学科	1年生	1,101 (30.3%)	1,192 (32.9%)	984 (27.1%)	237 (6.5%)	114 (3.1%)	3.8
		2年生	600 (20.2%)	1,059 (35.7%)	967 (32.6%)	218 (7.3%)	124 (4.2%)	3.6
		3年生	658 (29.5%)	859 (38.5%)	600 (26.9%)	84 (3.8%)	31 (1.4%)	3.9
		4年生	287 (26.9%)	419 (39.2%)	280 (26.2%)	47 (4.4%)	35 (3.3%)	3.8
		学科計	2,646 (26.7%)	3,529 (35.7%)	2,831 (28.6%)	586 (5.9%)	304 (3.1%)	3.8
	教育学科	1年生	1,165 (33.8%)	1,100 (31.9%)	929 (27.0%)	165 (4.8%)	85 (2.5%)	3.9
		2年生	1,020 (35.5%)	960 (33.4%)	630 (22.0%)	164 (5.7%)	96 (3.3%)	3.9
		3年生	866 (27.4%)	1,237 (39.1%)	750 (23.7%)	224 (7.1%)	86 (2.7%)	3.8
		4年生	245 (33.1%)	266 (35.9%)	166 (22.4%)	29 (3.9%)	35 (4.7%)	3.9
		学科計	3,296 (32.3%)	3,563 (34.9%)	2,475 (24.2%)	582 (5.7%)	302 (3.0%)	3.9
	書道学科	1年生	1,285 (48.2%)	847 (31.8%)	447 (16.8%)	71 (2.7%)	16 (0.6%)	4.2
		2年生	940 (42.0%)	743 (33.2%)	407 (18.2%)	97 (4.3%)	52 (2.3%)	4.1
		3年生	846 (51.4%)	476 (28.9%)	263 (16.0%)	34 (2.1%)	28 (1.7%)	4.3
		4年生	179 (43.4%)	138 (33.5%)	71 (17.2%)	20 (4.9%)	4 (1.0%)	4.1
		学科計	3,250 (46.7%)	2,204 (31.6%)	1,188 (17.1%)	222 (3.2%)	100 (1.4%)	4.2
	全学科	1年生	5,387 (30.5%)	5,700 (32.2%)	4,904 (27.7%)	1,117 (6.3%)	573 (3.2%)	3.8
		2年生	4,363 (30.8%)	4,871 (34.4%)	3,679 (26.0%)	807 (5.7%)	455 (3.2%)	3.8
		3年生	3,741 (28.6%)	4,825 (36.9%)	3,391 (25.9%)	760 (5.8%)	363 (2.8%)	3.8
4年生		1,211 (32.1%)	1,340 (35.6%)	913 (24.2%)	171 (4.5%)	134 (3.6%)	3.9	
学部計		14,702 (30.2%)	16,736 (34.4%)	12,887 (26.5%)	2,855 (5.9%)	1,525 (3.1%)	3.8	

<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度



学部学科別【学年別集計】

学部 経済学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

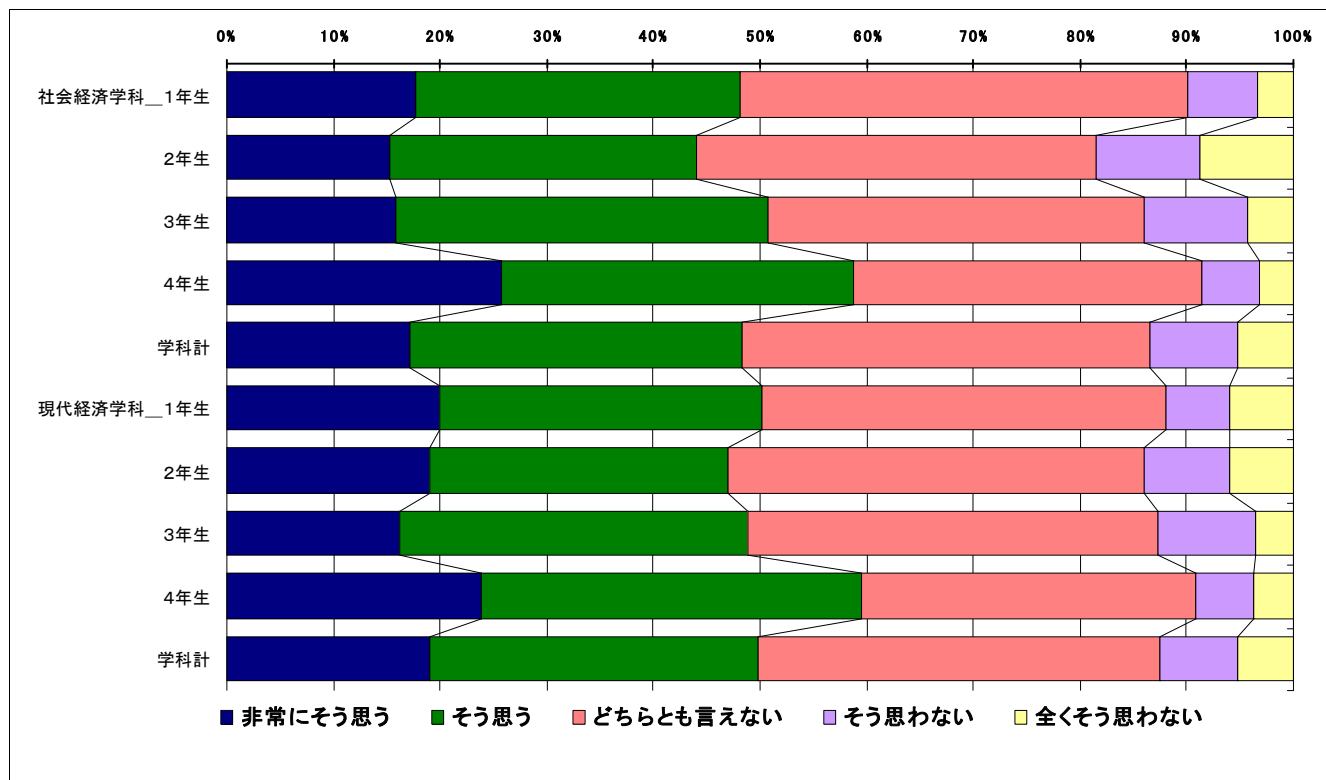
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	学生の所属		非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	社会経済学科	1年生	838 (17.8%)	1,434 (30.4%)	1,984 (42.0%)	307 (6.5%)	156 (3.3%)	3.5
		2年生	624 (15.2%)	1,180 (28.8%)	1,534 (37.5%)	401 (9.8%)	356 (8.7%)	3.3
		3年生	449 (15.9%)	983 (34.8%)	998 (35.3%)	275 (9.7%)	122 (4.3%)	3.5
		4年生	293 (25.7%)	376 (33.0%)	372 (32.7%)	61 (5.4%)	37 (3.2%)	3.7
		学科計	2,204 (17.2%)	3,973 (31.1%)	4,888 (38.2%)	1,044 (8.2%)	671 (5.3%)	3.5
	現代経済学科	1年生	751 (20.0%)	1,133 (30.2%)	1,419 (37.9%)	223 (5.9%)	223 (5.9%)	3.5
		2年生	633 (19.1%)	927 (28.0%)	1,288 (38.9%)	264 (8.0%)	200 (6.0%)	3.5
		3年生	486 (16.2%)	982 (32.7%)	1,156 (38.4%)	274 (9.1%)	109 (3.6%)	3.5
		4年生	242 (24.0%)	360 (35.6%)	315 (31.2%)	56 (5.5%)	37 (3.7%)	3.7
	学科計	2,112 (19.1%)	3,402 (30.7%)	4,178 (37.7%)	817 (7.4%)	569 (5.1%)	3.5	
	全学科	1年生	1,589 (18.8%)	2,567 (30.3%)	3,403 (40.2%)	530 (6.3%)	379 (4.5%)	3.5
		2年生	1,257 (17.0%)	2,107 (28.4%)	2,822 (38.1%)	665 (9.0%)	556 (7.5%)	3.4
		3年生	935 (16.0%)	1,965 (33.7%)	2,154 (36.9%)	549 (9.4%)	231 (4.0%)	3.5
		4年生	535 (24.9%)	736 (34.2%)	687 (32.0%)	117 (5.4%)	74 (3.4%)	3.7
		学部計	4,316 (18.1%)	7,375 (30.9%)	9,066 (38.0%)	1,861 (7.8%)	1,240 (5.2%)	3.5

<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度





学部学科別【学年別集計】

学部 外国語学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

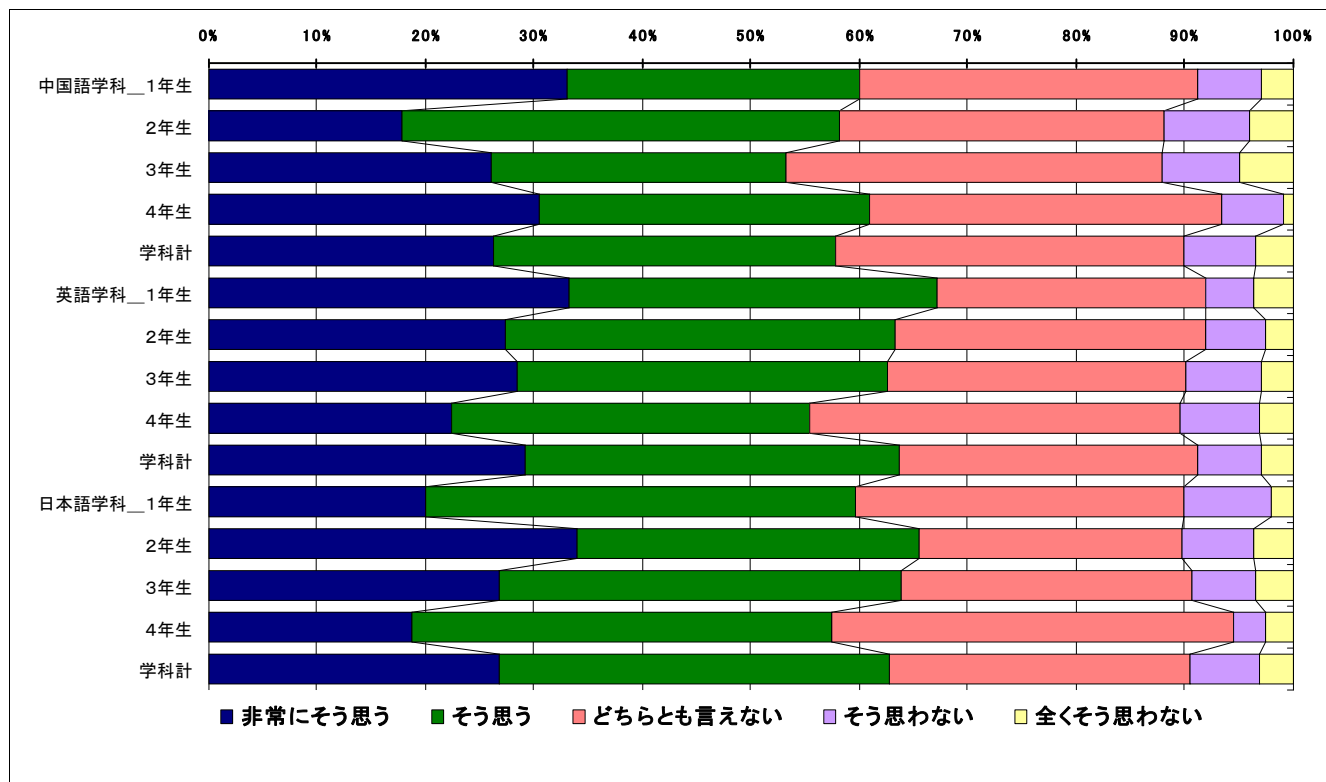
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	学生の所属		非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	中国語学科	1年生	460 (33.0%)	377 (27.0%)	436 (31.3%)	81 (5.8%)	41 (2.9%)	3.8
		2年生	285 (17.9%)	641 (40.2%)	479 (30.1%)	124 (7.8%)	65 (4.1%)	3.6
		3年生	402 (26.1%)	416 (27.0%)	535 (34.8%)	109 (7.1%)	77 (5.0%)	3.6
		4年生	331 (30.4%)	332 (30.5%)	354 (32.5%)	62 (5.7%)	10 (0.9%)	3.8
		学科計	1,478 (26.3%)	1,766 (31.4%)	1,804 (32.1%)	376 (6.7%)	193 (3.4%)	3.7
	英語学科	1年生	1,896 (33.3%)	1,935 (33.9%)	1,408 (24.7%)	258 (4.5%)	205 (3.6%)	3.9
		2年生	1,425 (27.4%)	1,870 (35.9%)	1,488 (28.6%)	292 (5.6%)	132 (2.5%)	3.8
		3年生	1,328 (28.4%)	1,600 (34.2%)	1,285 (27.5%)	328 (7.0%)	133 (2.8%)	3.8
		4年生	374 (22.4%)	551 (33.0%)	570 (34.1%)	123 (7.4%)	52 (3.1%)	3.6
		学科計	5,023 (29.1%)	5,956 (34.5%)	4,751 (27.5%)	1,001 (5.8%)	522 (3.0%)	3.8
	日本語学科	1年生	263 (20.1%)	518 (39.5%)	396 (30.2%)	106 (8.1%)	27 (2.1%)	3.7
		2年生	564 (33.9%)	526 (31.6%)	403 (24.2%)	109 (6.6%)	61 (3.7%)	3.9
		3年生	391 (26.8%)	540 (37.0%)	391 (26.8%)	85 (5.8%)	51 (3.5%)	3.8
		4年生	75 (18.8%)	155 (38.8%)	148 (37.0%)	12 (3.0%)	10 (2.5%)	3.7
		学科計	1,293 (26.8%)	1,739 (36.0%)	1,338 (27.7%)	312 (6.5%)	149 (3.1%)	3.8
	全学科	1年生	2,619 (31.2%)	2,830 (33.7%)	2,240 (26.6%)	445 (5.3%)	273 (3.2%)	3.8
		2年生	2,274 (26.9%)	3,037 (35.9%)	2,370 (28.0%)	525 (6.2%)	258 (3.0%)	3.8
		3年生	2,121 (27.6%)	2,556 (33.3%)	2,211 (28.8%)	522 (6.8%)	261 (3.4%)	3.8
		4年生	780 (24.7%)	1,038 (32.9%)	1,072 (33.9%)	197 (6.2%)	72 (2.3%)	3.7
		学部計	7,794 (28.1%)	9,461 (34.2%)	7,893 (28.5%)	1,689 (6.1%)	864 (3.1%)	3.8

<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度



学部学科別【学年別集計】

学部 法学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

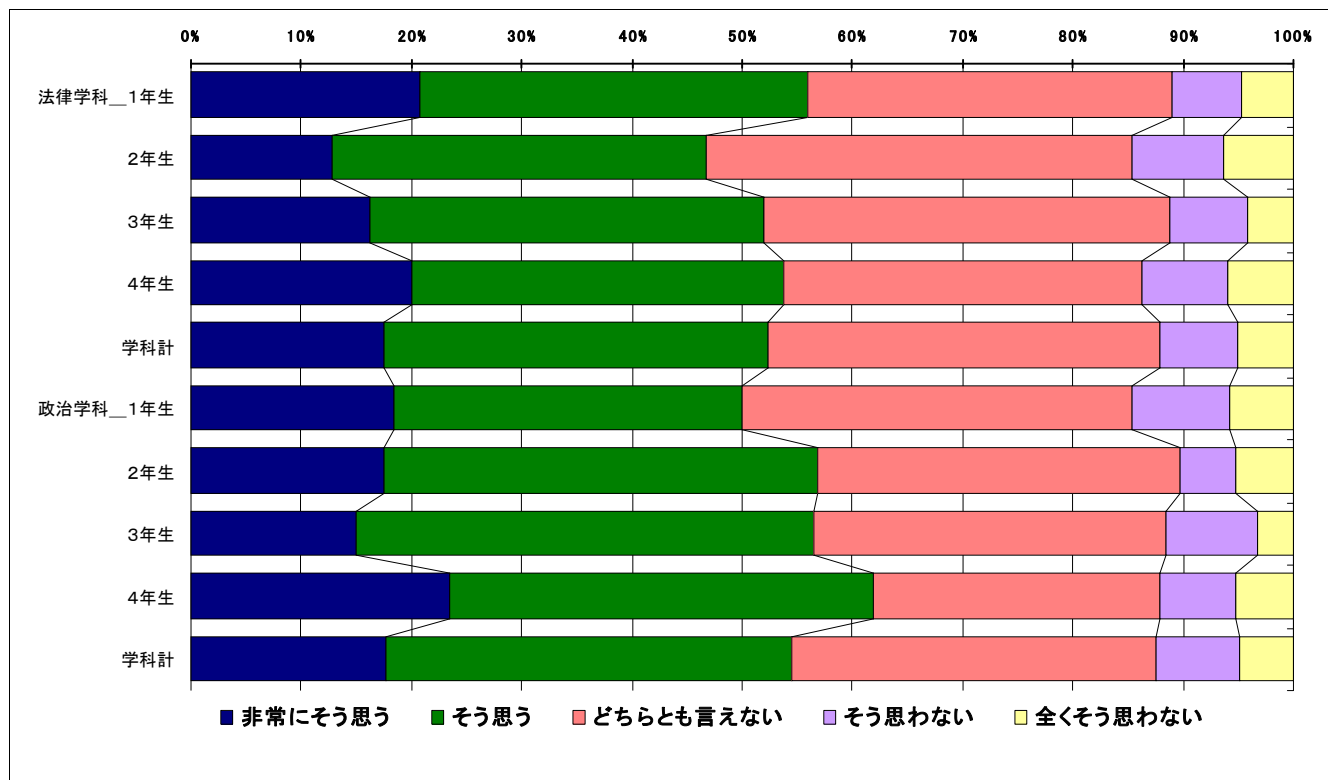
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	学生の所属		非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	法律学科	1年生	1,437 (20.8%)	2,429 (35.1%)	2,290 (33.1%)	436 (6.3%)	322 (4.7%)	3.6
		2年生	573 (12.9%)	1,503 (33.8%)	1,721 (38.7%)	372 (8.4%)	279 (6.3%)	3.4
		3年生	890 (16.2%)	1,968 (35.8%)	2,022 (36.8%)	387 (7.0%)	227 (4.1%)	3.5
		4年生	370 (20.0%)	625 (33.8%)	597 (32.3%)	144 (7.8%)	111 (6.0%)	3.5
		学科計	3,270 (17.5%)	6,525 (34.9%)	6,630 (35.4%)	1,339 (7.2%)	939 (5.0%)	3.5
	政治学科	1年生	894 (18.4%)	1,536 (31.7%)	1,715 (35.3%)	428 (8.8%)	279 (5.8%)	3.5
		2年生	493 (17.4%)	1,112 (39.3%)	929 (32.9%)	146 (5.2%)	147 (5.2%)	3.6
		3年生	485 (15.0%)	1,349 (41.6%)	1,035 (31.9%)	268 (8.3%)	105 (3.2%)	3.6
		4年生	245 (23.5%)	401 (38.4%)	271 (26.0%)	71 (6.8%)	55 (5.3%)	3.7
		学科計	2,117 (17.7%)	4,398 (36.8%)	3,950 (33.0%)	913 (7.6%)	586 (4.9%)	3.5
	全学科	1年生	2,331 (19.8%)	3,965 (33.7%)	4,005 (34.0%)	864 (7.3%)	601 (5.1%)	3.6
		2年生	1,066 (14.7%)	2,615 (35.9%)	2,650 (36.4%)	518 (7.1%)	426 (5.9%)	3.5
		3年生	1,375 (15.7%)	3,317 (38.0%)	3,057 (35.0%)	655 (7.5%)	332 (3.8%)	3.5
		4年生	615 (21.3%)	1,026 (35.5%)	868 (30.0%)	215 (7.4%)	166 (5.7%)	3.6
		学部計	5,387 (17.6%)	10,923 (35.6%)	10,580 (34.5%)	2,252 (7.3%)	1,525 (5.0%)	3.5

<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度



学部学科別【学年別集計】

学部 国際関係学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

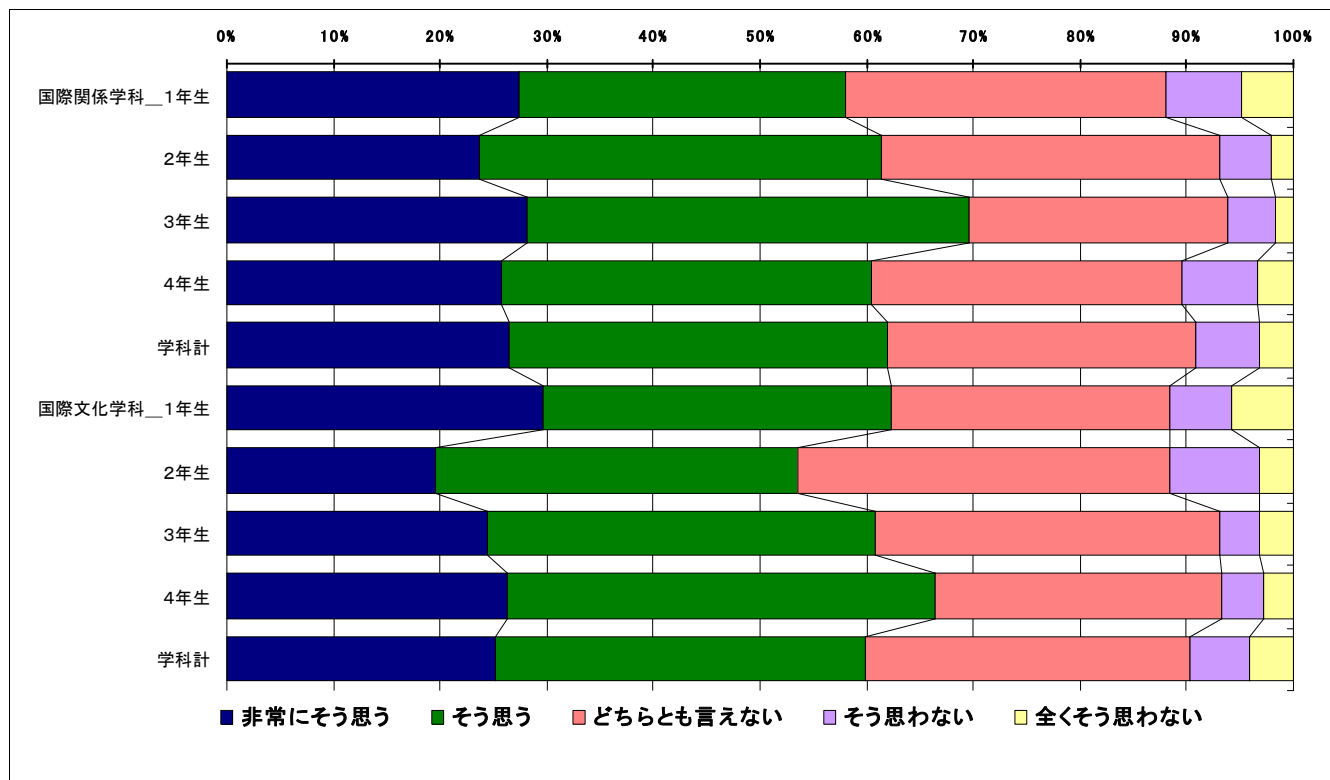
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	学生の所属		非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	国際関係学科	1年生	762 (27.5%)	846 (30.5%)	835 (30.1%)	199 (7.2%)	133 (4.8%)	3.7
		2年生	404 (23.6%)	645 (37.7%)	543 (31.8%)	82 (4.8%)	36 (2.1%)	3.8
		3年生	511 (28.2%)	749 (41.4%)	440 (24.3%)	81 (4.5%)	29 (1.6%)	3.9
		4年生	204 (25.8%)	274 (34.6%)	230 (29.1%)	57 (7.2%)	26 (3.3%)	3.7
		学科計	1,881 (26.5%)	2,514 (35.5%)	2,048 (28.9%)	419 (5.9%)	224 (3.2%)	3.8
	国際文化学科	1年生	770 (29.7%)	844 (32.6%)	676 (26.1%)	148 (5.7%)	152 (5.9%)	3.7
		2年生	395 (19.6%)	684 (33.9%)	702 (34.8%)	169 (8.4%)	65 (3.2%)	3.6
		3年生	538 (24.5%)	795 (36.3%)	709 (32.3%)	81 (3.7%)	70 (3.2%)	3.8
		4年生	162 (26.3%)	246 (40.0%)	166 (27.0%)	24 (3.9%)	17 (2.8%)	3.8
	学科計	1,865 (25.2%)	2,569 (34.7%)	2,253 (30.4%)	422 (5.7%)	304 (4.1%)	3.7	
	全学科	1年生	1,532 (28.6%)	1,690 (31.5%)	1,511 (28.2%)	347 (6.5%)	285 (5.3%)	3.7
		2年生	799 (21.4%)	1,329 (35.7%)	1,245 (33.4%)	251 (6.7%)	101 (2.7%)	3.7
		3年生	1,049 (26.2%)	1,544 (38.6%)	1,149 (28.7%)	162 (4.0%)	99 (2.5%)	3.8
		4年生	366 (26.0%)	520 (37.0%)	396 (28.2%)	81 (5.8%)	43 (3.1%)	3.8
学部計		3,746 (25.8%)	5,083 (35.1%)	4,301 (29.7%)	841 (5.8%)	528 (3.6%)	3.7	

<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度



学部学科別【学年別集計】

学部 経営学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

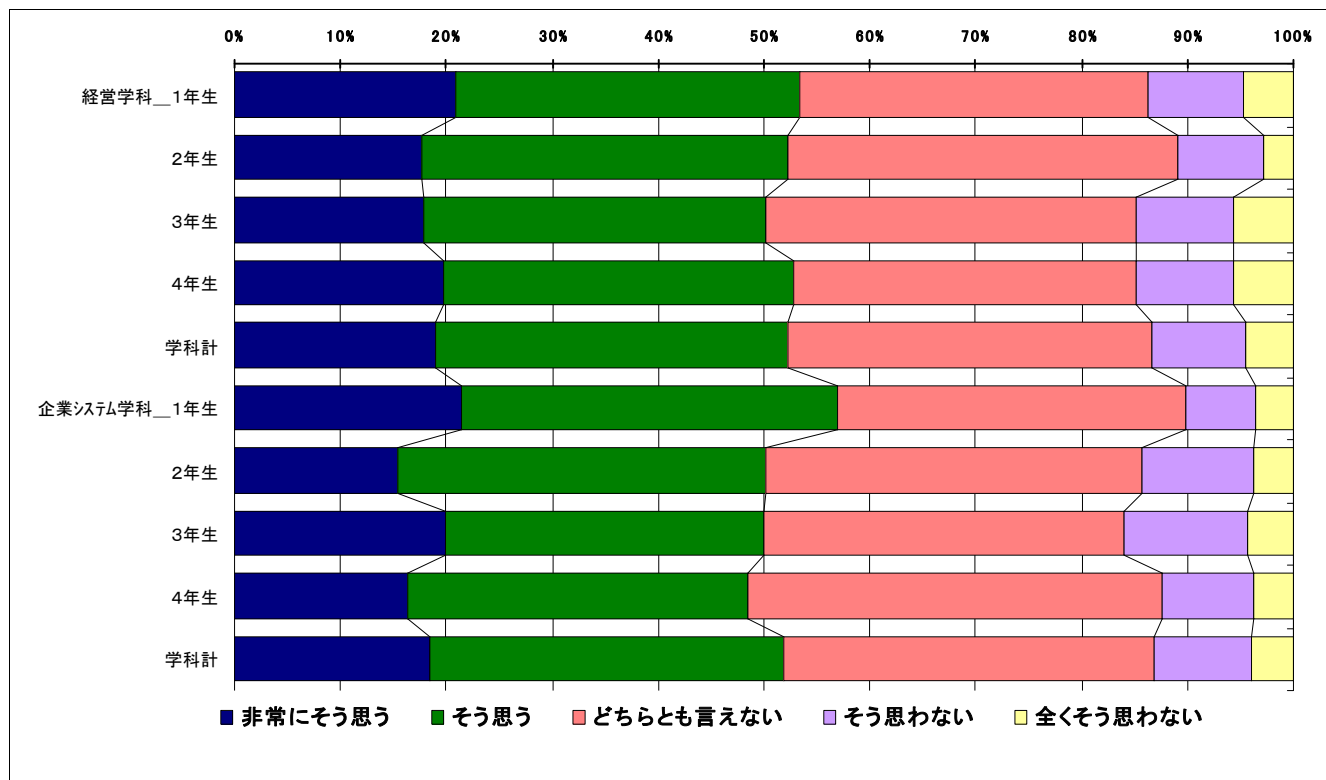
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	学生の所属		非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	経営学科	1年生	905 (20.8%)	1,421 (32.6%)	1,427 (32.8%)	399 (9.2%)	202 (4.6%)	3.6
		2年生	764 (17.7%)	1,492 (34.6%)	1,588 (36.8%)	348 (8.1%)	119 (2.8%)	3.6
		3年生	665 (17.8%)	1,209 (32.4%)	1,301 (34.9%)	342 (9.2%)	213 (5.7%)	3.5
		4年生	331 (19.8%)	553 (33.1%)	541 (32.3%)	155 (9.3%)	93 (5.6%)	3.5
		学科計	2,665 (18.9%)	4,675 (33.2%)	4,857 (34.5%)	1,244 (8.8%)	627 (4.5%)	3.5
	企業システム学科	1年生	637 (21.5%)	1,047 (35.4%)	974 (32.9%)	196 (6.6%)	107 (3.6%)	3.6
		2年生	472 (15.5%)	1,055 (34.7%)	1,084 (35.6%)	318 (10.4%)	115 (3.8%)	3.5
		3年生	466 (20.0%)	701 (30.0%)	793 (34.0%)	271 (11.6%)	103 (4.4%)	3.5
		4年生	255 (16.3%)	506 (32.3%)	612 (39.1%)	135 (8.6%)	59 (3.8%)	3.5
	学科計	1,830 (18.5%)	3,309 (33.4%)	3,463 (35.0%)	920 (9.3%)	384 (3.9%)	3.5	
	全学科	1年生	1,542 (21.1%)	2,468 (33.7%)	2,401 (32.8%)	595 (8.1%)	309 (4.2%)	3.6
		2年生	1,236 (16.8%)	2,547 (34.6%)	2,672 (36.3%)	666 (9.1%)	234 (3.2%)	3.5
		3年生	1,131 (18.7%)	1,910 (31.5%)	2,094 (34.5%)	613 (10.1%)	316 (5.2%)	3.5
		4年生	586 (18.1%)	1,059 (32.7%)	1,153 (35.6%)	290 (9.0%)	152 (4.7%)	3.5
学部計		4,495 (18.7%)	7,984 (33.3%)	8,320 (34.7%)	2,164 (9.0%)	1,011 (4.2%)	3.5	

<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度



学部学科別【学年別集計】

学部 環境創造学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

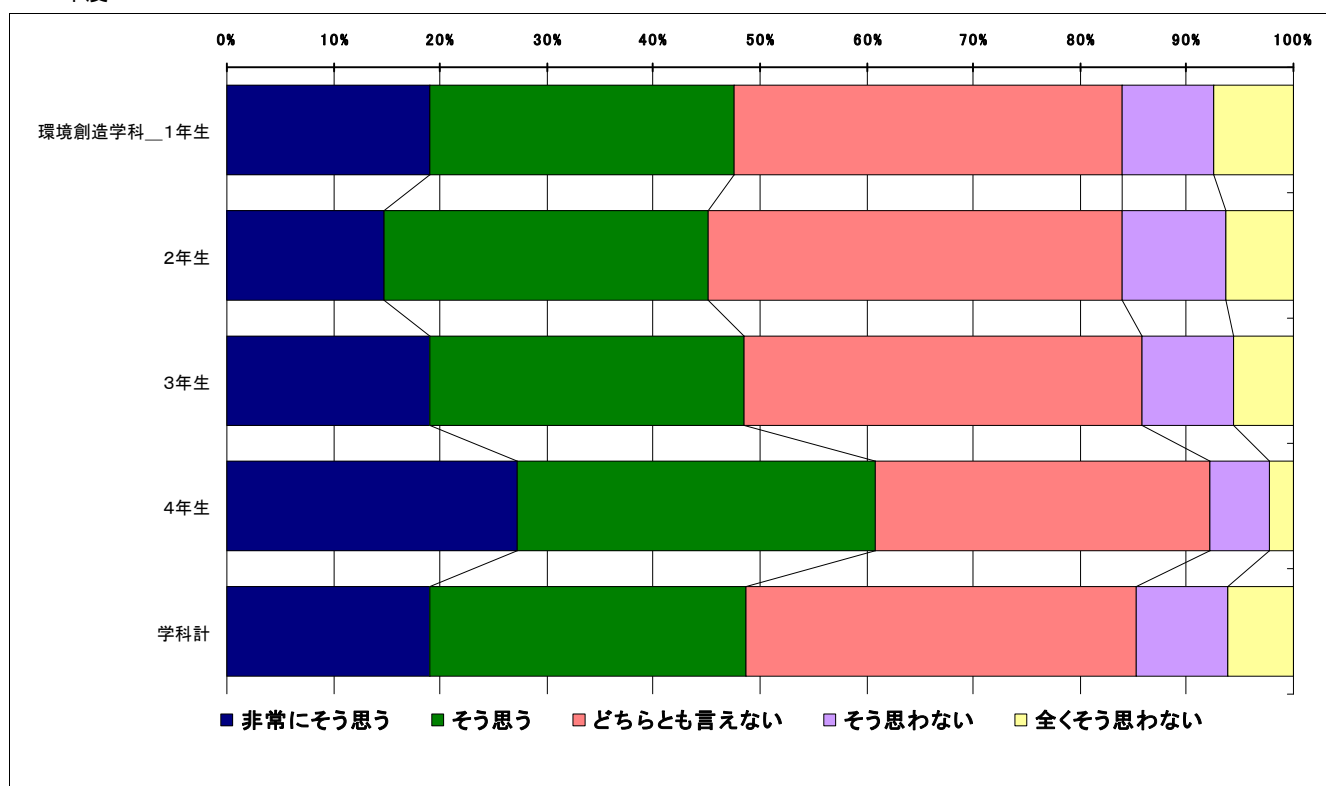
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	学生の所属		非常に そう思う	そう 思う	どちらとも 言えない	そう 思わない	全く そう 思わない	平均
2014年度	環境創造学科	1年生	965 (18.9%)	1,458 (28.6%)	1,851 (36.3%)	443 (8.7%)	378 (7.4%)	3.4
		2年生	293 (14.7%)	609 (30.5%)	776 (38.9%)	193 (9.7%)	126 (6.3%)	3.4
		3年生	652 (18.9%)	1,017 (29.6%)	1,286 (37.4%)	294 (8.5%)	192 (5.6%)	3.5
		4年生	302 (27.2%)	375 (33.7%)	347 (31.2%)	64 (5.8%)	24 (2.2%)	3.8
		学科計	2,212 (19.0%)	3,459 (29.7%)	4,260 (36.6%)	994 (8.5%)	720 (6.2%)	3.5
	全学科	1年生	965 (18.9%)	1,458 (28.6%)	1,851 (36.3%)	443 (8.7%)	378 (7.4%)	3.4
		2年生	293 (14.7%)	609 (30.5%)	776 (38.9%)	193 (9.7%)	126 (6.3%)	3.4
		3年生	652 (18.9%)	1,017 (29.6%)	1,286 (37.4%)	294 (8.5%)	192 (5.6%)	3.5
		4年生	302 (27.2%)	375 (33.7%)	347 (31.2%)	64 (5.8%)	24 (2.2%)	3.8
		学部計	2,212 (19.0%)	3,459 (29.7%)	4,260 (36.6%)	994 (8.5%)	720 (6.2%)	3.5

<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度



学部学科別【学年別集計】

学部 スポーツ・健康科学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

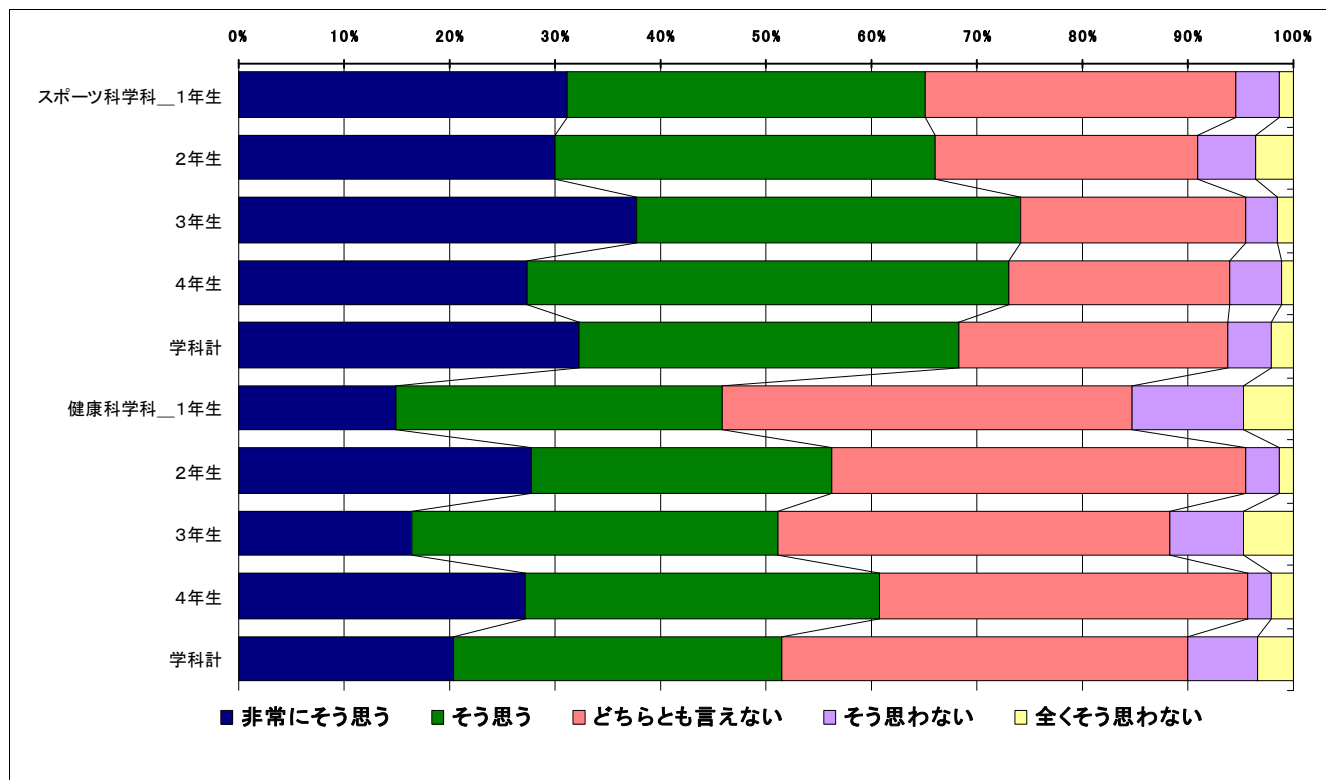
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	学生の所属		非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	平均
2014年度	スポーツ科学	1年生	930 (31.0%)	1,023 (34.1%)	880 (29.4%)	123 (4.1%)	40 (1.3%)	3.9
		2年生	717 (30.1%)	859 (36.0%)	593 (24.9%)	130 (5.4%)	87 (3.6%)	3.8
		3年生	786 (37.6%)	763 (36.5%)	446 (21.4%)	62 (3.0%)	31 (1.5%)	4.1
		4年生	161 (27.4%)	268 (45.6%)	123 (20.9%)	29 (4.9%)	7 (1.2%)	3.9
		学科計	2,594 (32.2%)	2,913 (36.2%)	2,042 (25.3%)	344 (4.3%)	165 (2.0%)	3.9
	健康科学科	1年生	412 (14.9%)	854 (31.0%)	1,070 (38.8%)	292 (10.6%)	128 (4.6%)	3.4
		2年生	913 (27.8%)	937 (28.5%)	1,291 (39.3%)	104 (3.2%)	43 (1.3%)	3.8
		3年生	463 (16.5%)	977 (34.7%)	1,043 (37.1%)	198 (7.0%)	132 (4.7%)	3.5
		4年生	38 (27.1%)	47 (33.6%)	49 (35.0%)	3 (2.1%)	3 (2.1%)	3.8
	学科計	1,826 (20.3%)	2,815 (31.3%)	3,453 (38.4%)	597 (6.6%)	306 (3.4%)	3.6	
	全学科	1年生	1,342 (23.3%)	1,877 (32.6%)	1,950 (33.9%)	415 (7.2%)	168 (2.9%)	3.7
		2年生	1,630 (28.7%)	1,796 (31.7%)	1,884 (33.2%)	234 (4.1%)	130 (2.3%)	3.8
		3年生	1,249 (25.5%)	1,740 (35.5%)	1,489 (30.4%)	260 (5.3%)	163 (3.3%)	3.7
		4年生	199 (27.3%)	315 (43.3%)	172 (23.6%)	32 (4.4%)	10 (1.4%)	3.9
学部計		4,420 (25.9%)	5,728 (33.6%)	5,495 (32.2%)	941 (5.5%)	471 (2.8%)	3.7	

<評価帯グラフ>

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）

2014年度



## E. 学科別集計



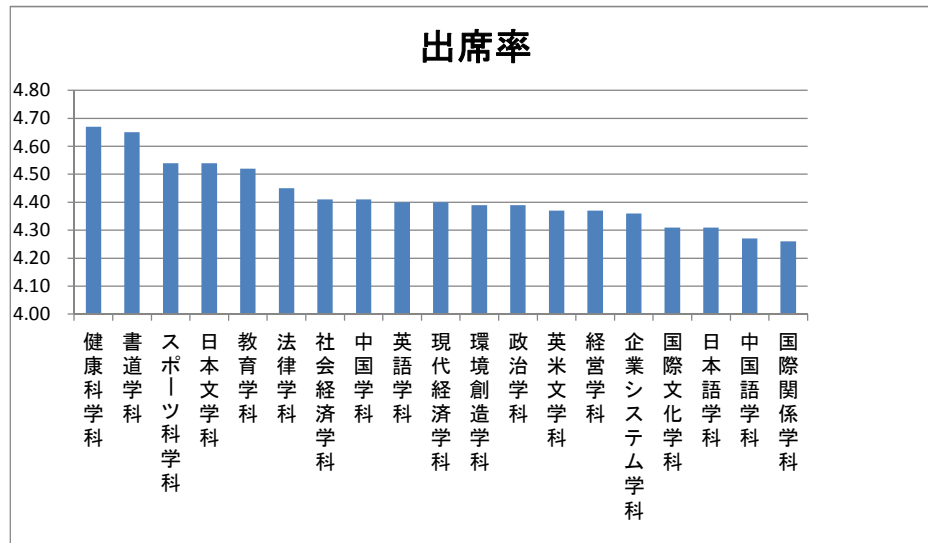


学科の平均値

	出席率	予習・復習・練習	授業への集中	シラバスの熟読	教材等の持参頻度	授業姿勢への自己評価	授業目的の明確さ	シラバスの反映	理解しやすさ	適切な授業進行速度	板書などの見やすさ	教材の使い方	学生参加の機会	受講態度への対応	教員の熱意	毎週の期待	新しい自己発想	分野への関心	自分で考える姿勢	満足度
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17	Q18	Q19	Q20
日本文学科	4.54	3.00	3.68	3.63	4.29	3.67	4.06	3.95	3.89	3.93	3.89	4.01	3.52	3.84	4.14	3.59	3.70	3.83	3.51	3.84
中国学科	4.41	3.18	3.80	3.56	4.22	3.82	3.99	3.93	3.89	3.93	3.86	3.99	3.63	3.91	4.03	3.64	3.65	3.73	3.61	3.79
英米文学科	4.37	3.34	3.84	3.51	4.29	3.85	3.99	3.92	3.89	3.89	3.89	4.00	3.80	3.95	4.11	3.64	3.76	3.79	3.68	3.86
教育学科	4.52	3.18	3.82	3.31	4.16	3.92	4.07	3.86	3.95	3.99	3.89	4.04	3.76	3.89	4.15	3.67	3.94	3.94	3.73	3.91
書道学科	4.65	3.58	4.11	3.77	4.43	4.10	4.40	4.30	4.28	4.28	4.27	4.37	4.12	4.26	4.43	4.03	4.19	4.23	4.07	4.27
社会経済学科	4.41	2.97	3.57	3.29	4.02	3.64	3.76	3.69	3.63	3.70	3.63	3.76	3.36	3.69	3.81	3.32	3.43	3.51	3.38	3.56
現代経済学科	4.40	3.06	3.58	3.31	3.92	3.61	3.82	3.74	3.71	3.75	3.68	3.83	3.39	3.75	3.85	3.40	3.50	3.53	3.40	3.63
中国語学科	4.27	3.21	3.70	3.48	4.06	3.73	3.92	3.89	3.81	3.85	3.78	3.92	3.75	3.89	3.99	3.61	3.66	3.71	3.66	3.77
英語学科	4.40	3.35	3.83	3.49	4.25	3.85	4.05	3.94	3.91	3.91	3.94	4.08	3.80	3.93	4.11	3.64	3.81	3.83	3.73	3.87
日本語学科	4.31	3.33	3.85	3.51	4.08	3.84	4.03	3.96	3.89	3.95	3.97	4.05	3.88	3.89	4.12	3.67	3.79	3.80	3.70	3.86
法律学科	4.45	2.91	3.58	3.14	3.96	3.57	3.84	3.72	3.72	3.77	3.73	3.80	3.37	3.76	3.90	3.38	3.52	3.56	3.40	3.64
政治学科	4.39	2.94	3.57	3.48	4.07	3.61	3.82	3.79	3.69	3.72	3.66	3.77	3.34	3.73	3.90	3.41	3.54	3.61	3.42	3.64
国際関係学科	4.26	3.04	3.74	3.48	4.02	3.75	3.97	3.88	3.84	3.90	3.83	3.94	3.58	3.93	4.11	3.67	3.77	3.81	3.65	3.83
国際文化学科	4.31	2.92	3.66	3.39	3.96	3.71	3.94	3.82	3.83	3.84	3.81	3.90	3.52	3.79	4.02	3.61	3.71	3.78	3.55	3.79
経営学科	4.37	2.93	3.53	3.25	3.98	3.56	3.81	3.69	3.63	3.70	3.61	3.80	3.30	3.72	3.89	3.37	3.53	3.58	3.39	3.63
企業システム学科	4.36	2.99	3.54	3.26	3.92	3.61	3.76	3.67	3.62	3.70	3.63	3.77	3.42	3.69	3.83	3.35	3.52	3.58	3.42	3.61
環境創造学科	4.39	2.95	3.56	3.30	3.99	3.62	3.76	3.66	3.59	3.68	3.60	3.74	3.41	3.71	3.86	3.34	3.48	3.51	3.37	3.54
スポーツ科学科	4.54	3.35	3.94	3.15	4.08	4.00	4.11	3.87	4.01	3.99	3.93	4.07	3.83	4.01	4.18	3.70	3.94	3.97	3.82	4.00
健康科学科	4.67	3.22	3.70	3.13	4.02	3.72	3.91	3.68	3.67	3.70	3.66	3.81	3.42	3.75	3.87	3.37	3.56	3.63	3.50	3.64

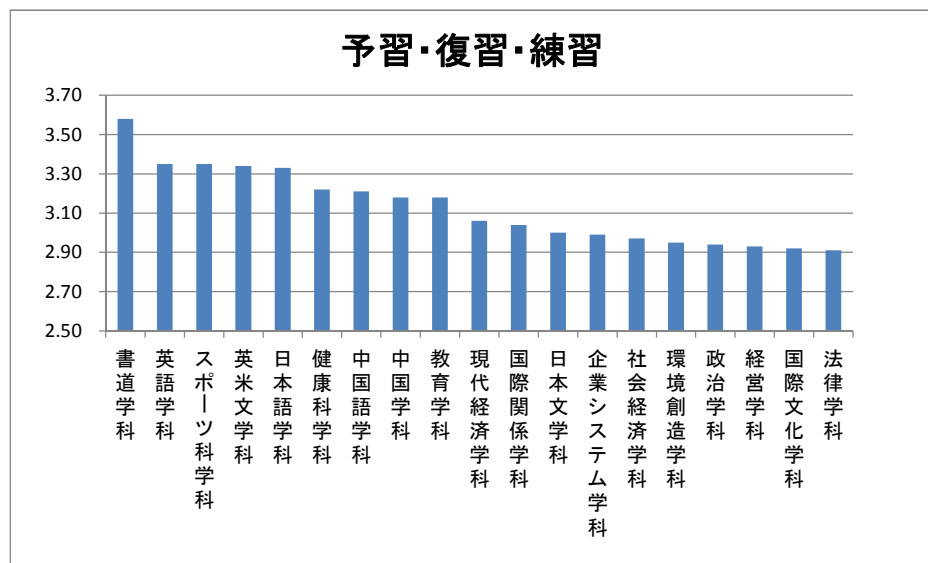
学科名	出席率
健康科学科	4.67
書道学科	4.65
スポーツ科学科	4.54
日本文学科	4.54
教育学科	4.52
法律学科	4.45
社会経済学科	4.41
中国学科	4.41
英語学科	4.40
現代経済学科	4.40
環境創造学科	4.39
政治学科	4.39
英米文学科	4.37
経営学科	4.37
企業システム学科	4.36
国際文化学科	4.31
日本語学科	4.31
中国語学科	4.27
国際関係学科	4.26

出席率



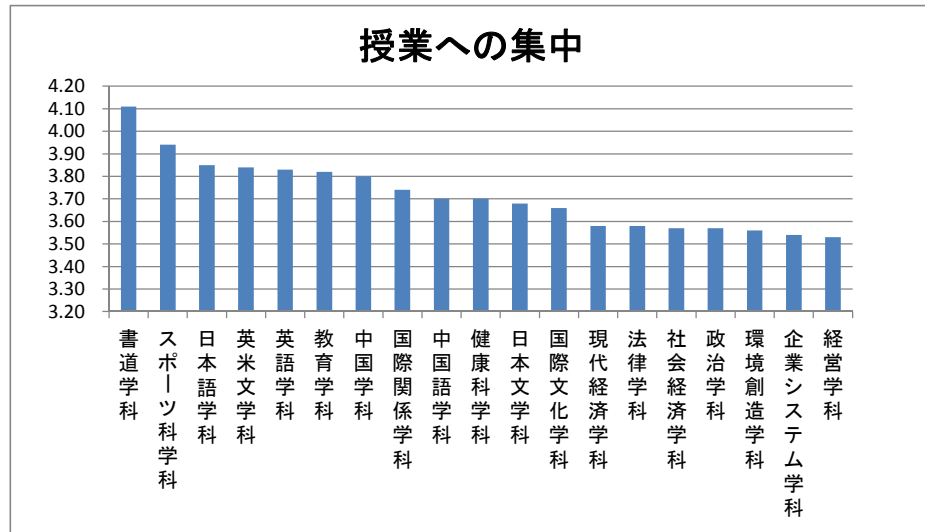
学科名	予習・復習・練習
書道学科	3.58
英語学科	3.35
スポーツ科学科	3.35
英米文学科	3.34
日本語学科	3.33
健康科学科	3.22
中国語学科	3.21
中国学科	3.18
教育学科	3.18
現代経済学科	3.06
国際関係学科	3.04
日本文学科	3.00
企業システム学科	2.99
社会経済学科	2.97
環境創造学科	2.95
政治学科	2.94
経営学科	2.93
国際文化学科	2.92
法律学科	2.91

予習・復習・練習



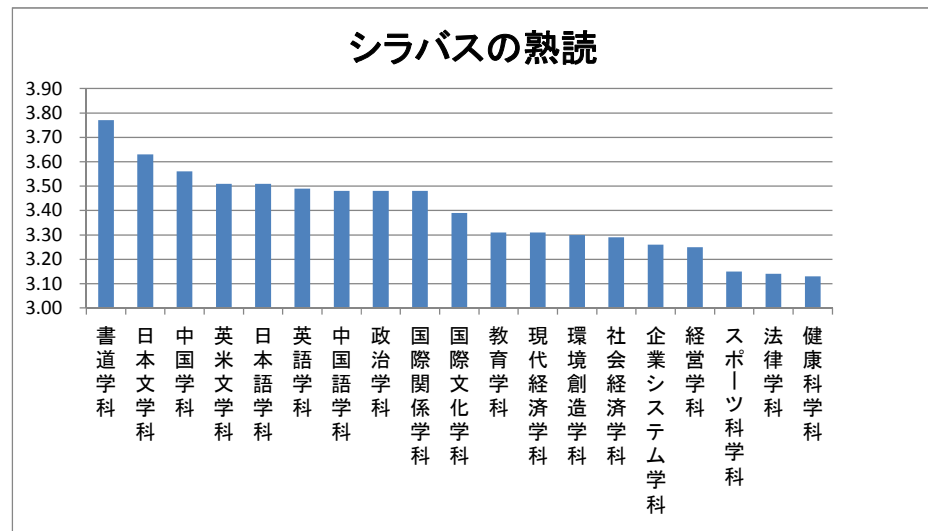
授業への集中

書道学科	4.11
スポーツ科学科	3.94
日本文学科	3.85
英米文学科	3.84
英語学科	3.83
教育学科	3.82
中国学科	3.80
国際関係学科	3.74
中国語学科	3.70
健康科学科	3.70
日本文学科	3.68
国際文化学科	3.66
現代経済学科	3.58
法律学科	3.58
社会経済学科	3.57
政治学科	3.57
環境創造学科	3.56
企業システム学科	3.54
経営学科	3.53



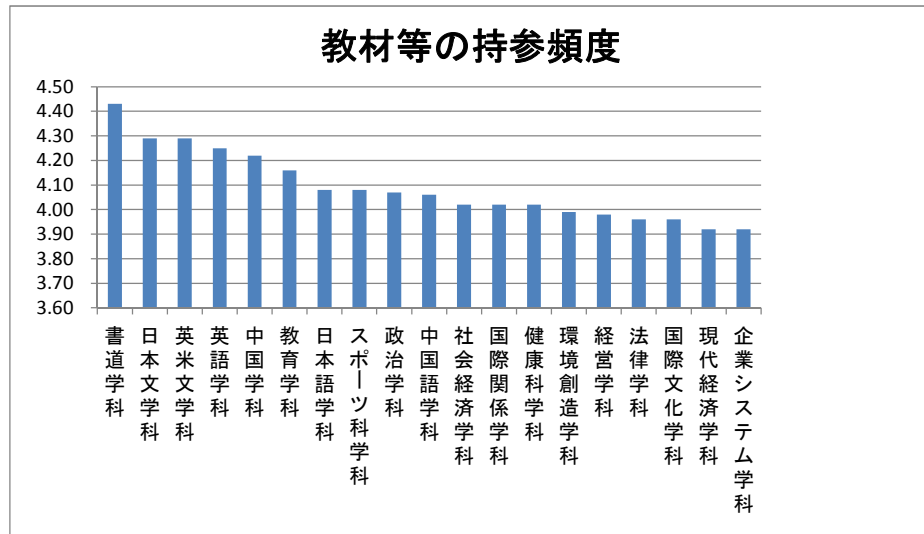
シラバスの熟読

書道学科	3.77
日本文学科	3.63
中国学科	3.56
英米文学科	3.51
日本語学科	3.51
英語学科	3.49
中国語学科	3.48
政治学科	3.48
国際関係学科	3.48
国際文化学科	3.39
教育学科	3.31
現代経済学科	3.31
環境創造学科	3.30
社会経済学科	3.29
企業システム学科	3.26
経営学科	3.25
スポーツ科学科	3.15
法律学科	3.14
健康科学科	3.13



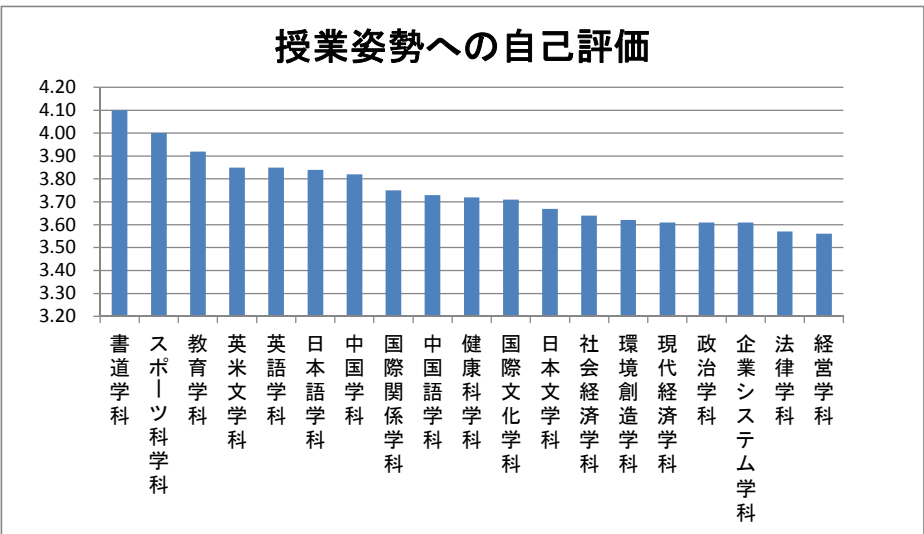
教材等の持参頻度

書道学科	4.43
日本文学科	4.29
英米文学科	4.29
英語学科	4.25
中国学科	4.22
教育学科	4.16
日本語学科	4.08
スポーツ科学科	4.08
政治学科	4.07
中国語学科	4.06
社会経済学科	4.02
国際関係学科	4.02
健康科学科	4.02
環境創造学科	3.99
経営学科	3.98
法律学科	3.96
国際文化学科	3.96
現代経済学科	3.92
企業システム学科	3.92



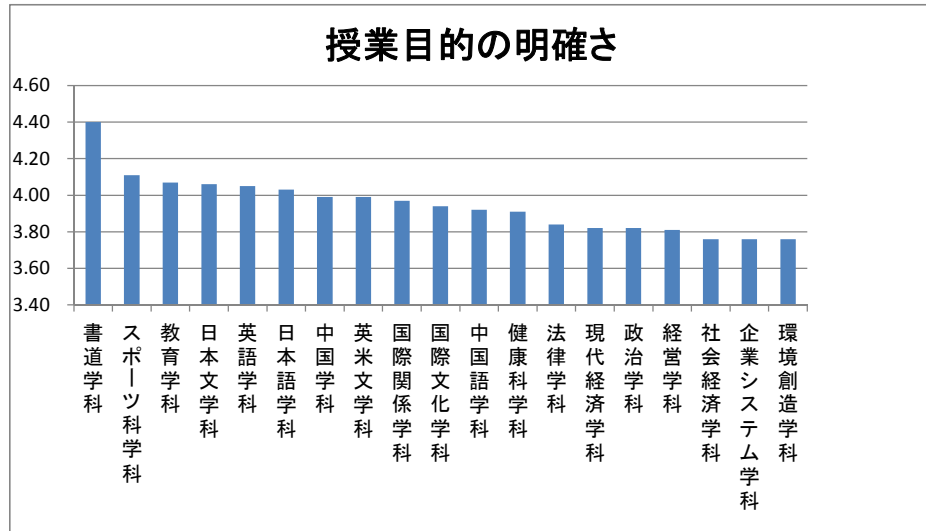
授業姿勢への自己評価

書道学科	4.10
スポーツ科学科	4.00
教育学科	3.92
英米文学科	3.85
英語学科	3.85
日本語学科	3.84
中国学科	3.82
国際関係学科	3.75
中国語学科	3.73
健康科学科	3.72
国際文化学科	3.71
日本文学科	3.67
社会経済学科	3.64
環境創造学科	3.62
現代経済学科	3.61
政治学科	3.61
企業システム学科	3.61
法律学科	3.57
経営学科	3.56



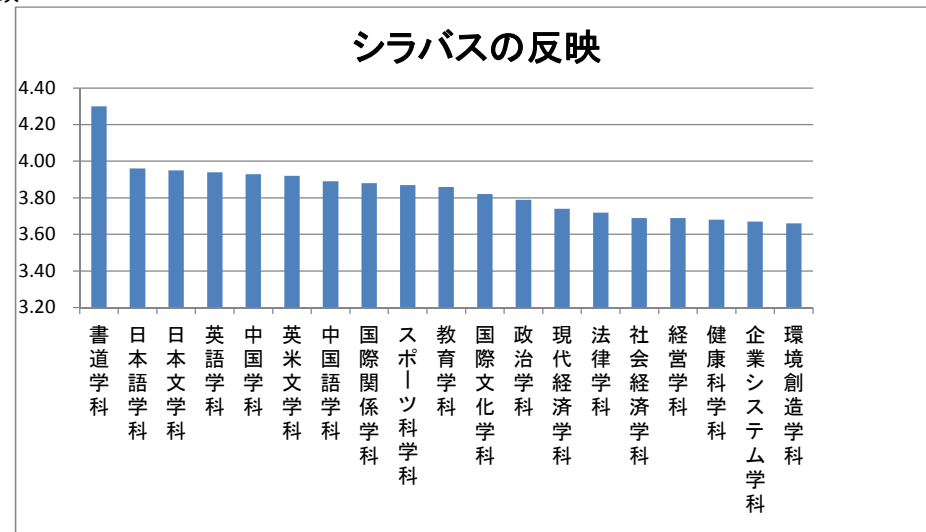
授業目的の明確さ

書道学科	4.40
スポーツ科学科	4.11
教育学科	4.07
日本文学科	4.06
英語学科	4.05
日本語学科	4.03
中国学科	3.99
英米文学科	3.99
国際関係学科	3.97
国際文化学科	3.94
中国語学科	3.92
健康科学科	3.91
法律学科	3.84
現代経済学科	3.82
政治学科	3.82
経営学科	3.81
社会経済学科	3.76
企業システム学科	3.76
環境創造学科	3.76

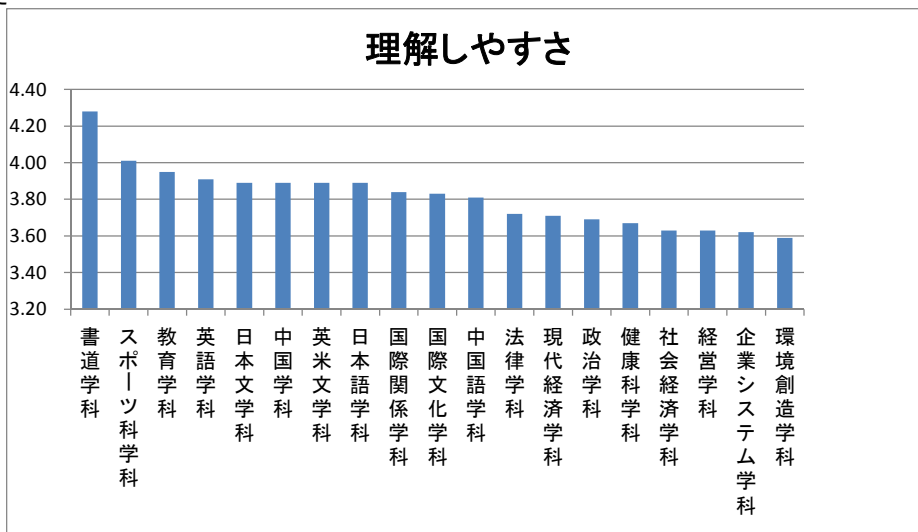


シラバスの反映

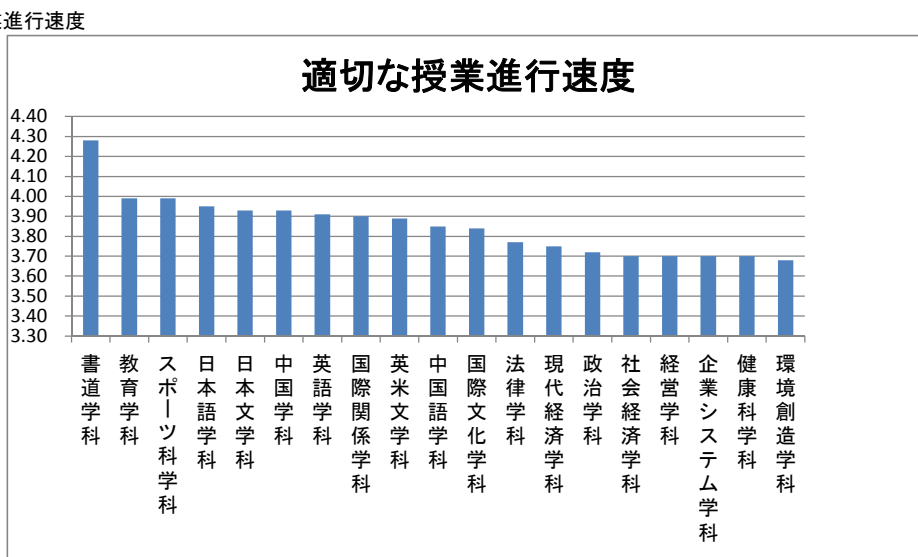
書道学科	4.30
日本語学科	3.96
日本文学科	3.95
英語学科	3.94
中国学科	3.93
英米文学科	3.92
中国語学科	3.89
国際関係学科	3.88
スポーツ科学科	3.87
教育学科	3.86
国際文化学科	3.82
政治学科	3.79
現代経済学科	3.74
法律学科	3.72
社会経済学科	3.69
経営学科	3.69
健康科学科	3.68
企業システム学科	3.67
環境創造学科	3.66



理解しやすさ	平均値
書道学科	4.28
スポーツ科学科	4.01
教育学科	3.95
英語学科	3.91
日本文学科	3.89
中国学科	3.89
英米文学科	3.89
日本語学科	3.89
国際関係学科	3.84
国際文化学科	3.83
中国語学科	3.81
法律学科	3.72
現代経済学科	3.71
政治学科	3.69
健康科学科	3.67
社会経済学科	3.63
経営学科	3.63
企業システム学科	3.62
環境創造学科	3.59

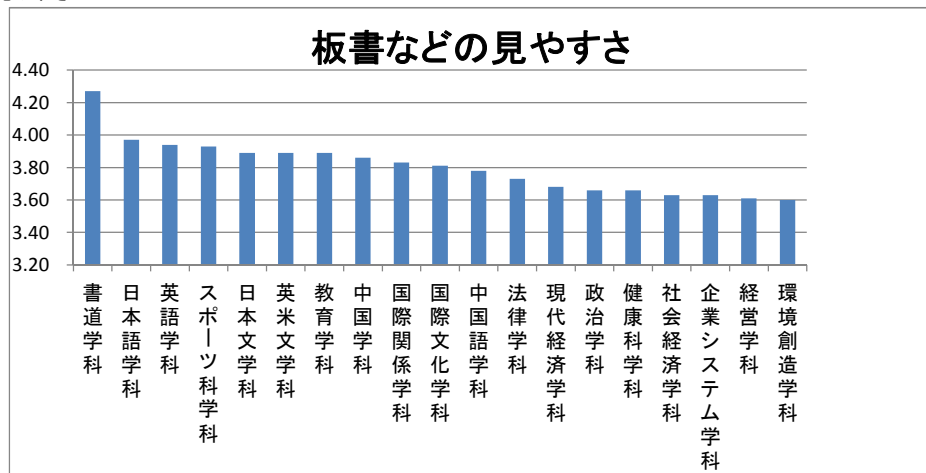


適切な授業進行速度	平均値
書道学科	4.28
教育学科	3.99
スポーツ科学科	3.99
日本語学科	3.95
日本文学科	3.93
中国学科	3.93
英語学科	3.91
国際関係学科	3.90
英米文学科	3.89
中国語学科	3.85
国際文化学科	3.84
法律学科	3.77
現代経済学科	3.75
政治学科	3.72
社会経済学科	3.70
経営学科	3.70
企業システム学科	3.70
健康科学科	3.70
環境創造学科	3.68



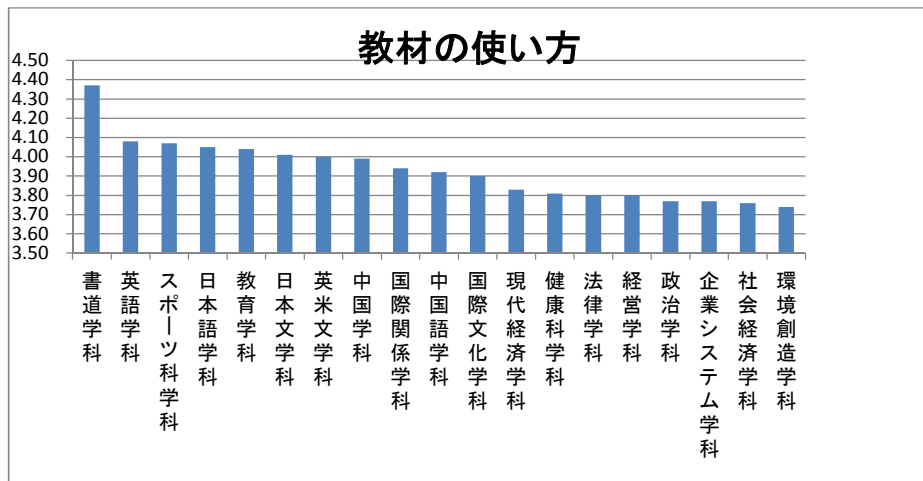
板書などの見やすさ

書道学科	4.27
日本語学科	3.97
英語学科	3.94
スポーツ科学科	3.93
日本文学科	3.89
英米文学科	3.89
教育学科	3.89
中国学科	3.86
国際関係学科	3.83
国際文化学科	3.81
中国語学科	3.78
法律学科	3.73
現代経済学科	3.68
政治学科	3.66
健康科学科	3.66
社会経済学科	3.63
企業システム学科	3.63
経営学科	3.61
環境創造学科	3.60



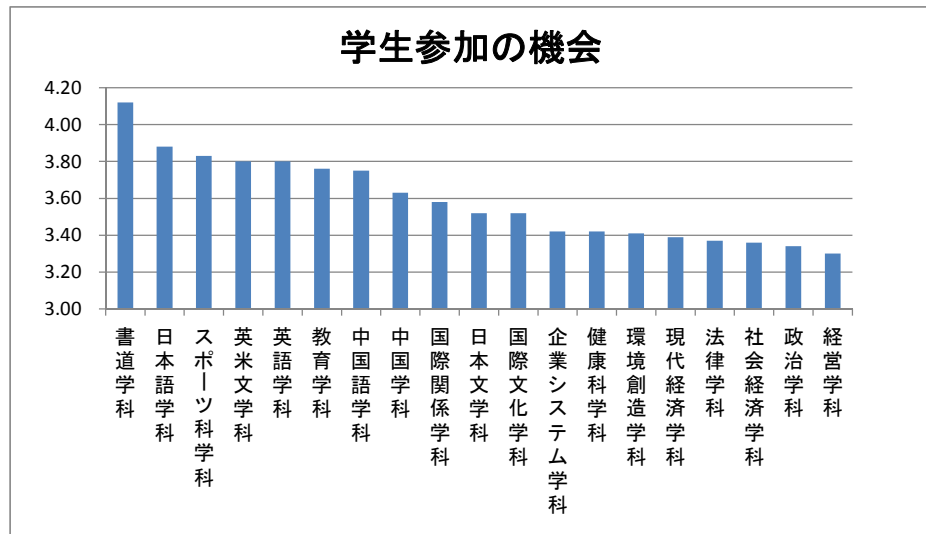
教材の使い方

書道学科	4.37
英語学科	4.08
スポーツ科学科	4.07
日本語学科	4.05
教育学科	4.04
日本文学科	4.01
英米文学科	4.00
中国学科	3.99
国際関係学科	3.94
中国語学科	3.92
国際文化学科	3.90
現代経済学科	3.83
健康科学科	3.81
法律学科	3.80
経営学科	3.80
政治学科	3.77
企業システム学科	3.77
社会経済学科	3.76
環境創造学科	3.74



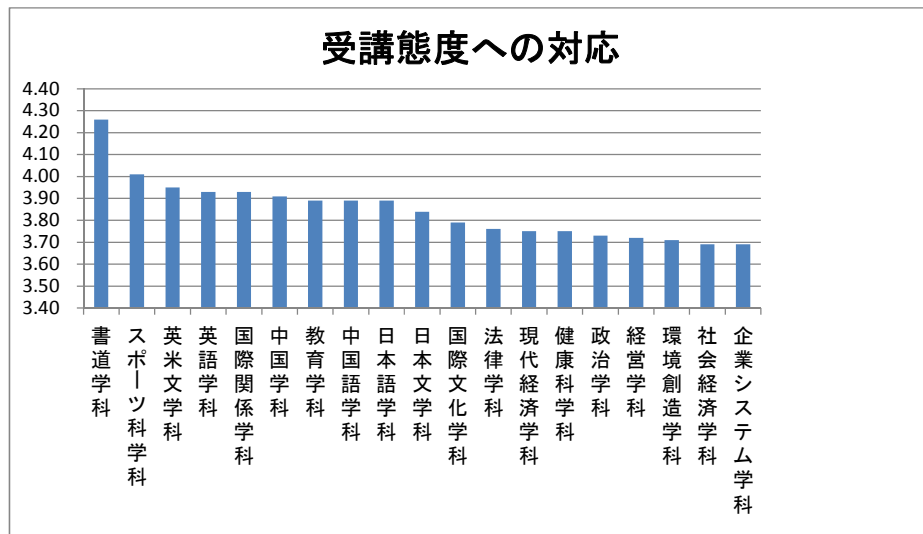
学生参加の機会

書道学科	4.12
日本語学科	3.88
スポーツ科学科	3.83
英米文学科	3.80
英語学科	3.80
教育学科	3.76
中国語学科	3.75
中国学科	3.63
国際関係学科	3.58
日本文学科	3.52
国際文化学科	3.52
企業システム学科	3.42
健康科学科	3.42
環境創造学科	3.41
現代経済学科	3.39
法律学科	3.37
社会経済学科	3.36
政治学科	3.34
経営学科	3.30



受講態度への対応

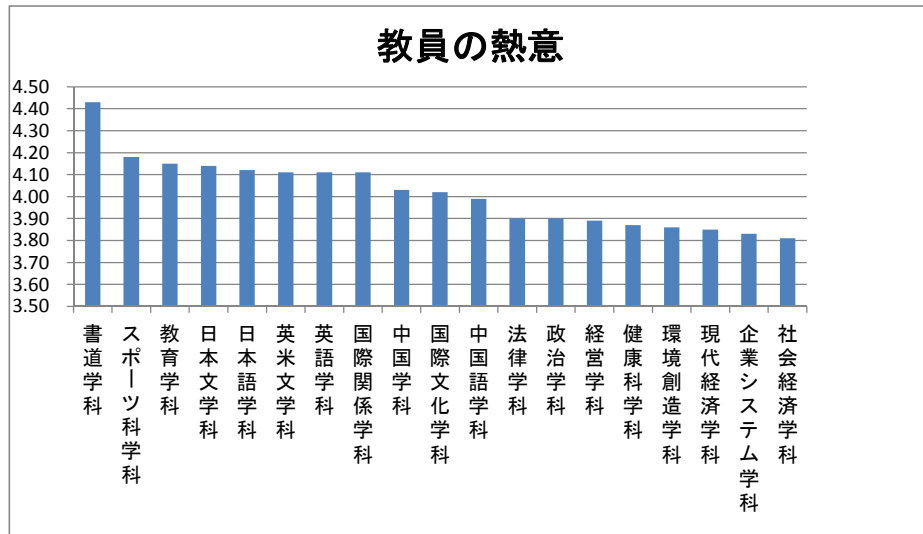
書道学科	4.26
スポーツ科学科	4.01
英米文学科	3.95
英語学科	3.93
国際関係学科	3.93
中国学科	3.91
教育学科	3.89
中国語学科	3.89
日本語学科	3.89
日本文学科	3.84
国際文化学科	3.79
法律学科	3.76
現代経済学科	3.75
健康科学科	3.75
政治学科	3.73
経営学科	3.72
環境創造学科	3.71
社会経済学科	3.69
企業システム学科	3.69





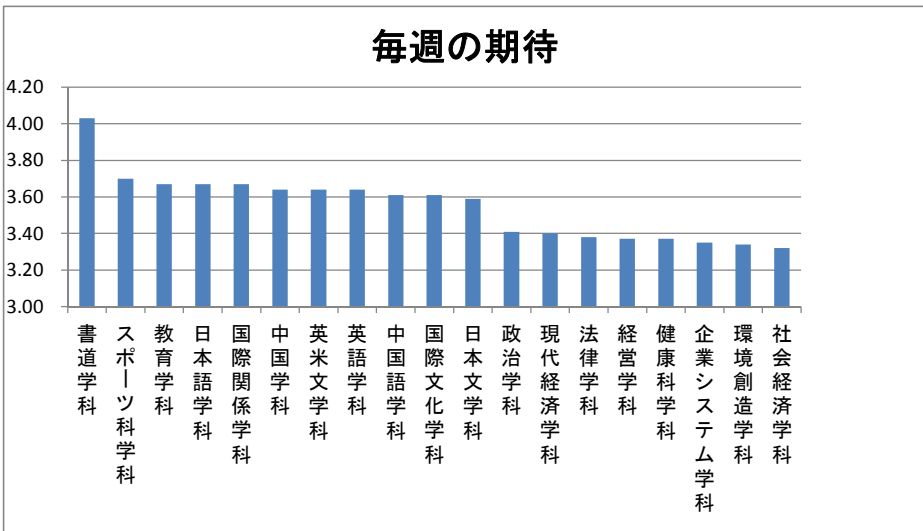
教員の熱

書道学科	4.43
スポーツ科学科	4.18
教育学科	4.15
日本文学科	4.14
日本語学科	4.12
英米文学科	4.11
英語学科	4.11
国際関係学科	4.11
中国学科	4.03
国際文化学科	4.02
中国語学科	3.99
法律学科	3.90
政治学科	3.90
経営学科	3.89
健康科学科	3.87
環境創造学科	3.86
現代経済学科	3.85
企業システム学科	3.83
社会経済学科	3.81



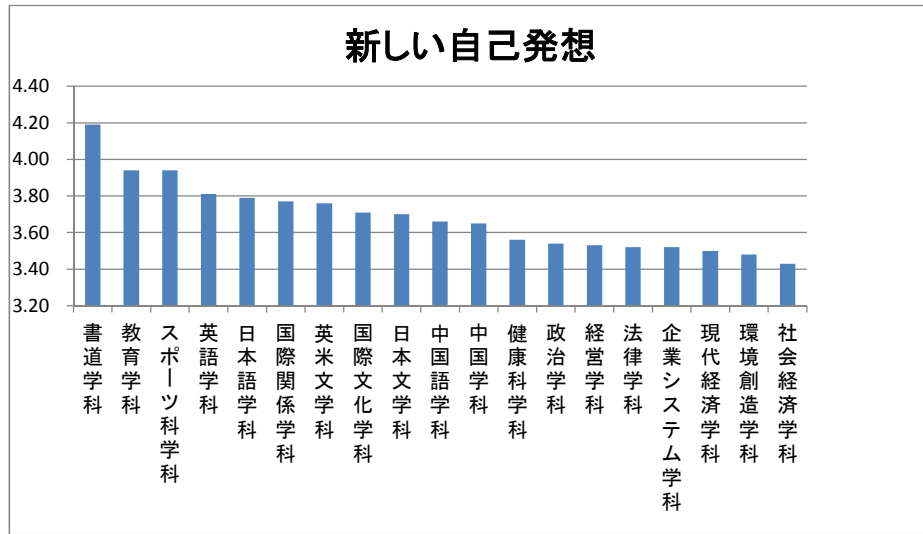
毎週の期

書道学科	4.03
スポーツ科学科	3.70
教育学科	3.67
日本語学科	3.67
国際関係学科	3.67
中国学科	3.64
英米文学科	3.64
英語学科	3.64
中国語学科	3.61
国際文化学科	3.61
日本文学科	3.59
政治学科	3.41
現代経済学科	3.40
法律学科	3.38
経営学科	3.37
健康科学科	3.37
企業システム学科	3.35
環境創造学科	3.34
社会経済学科	3.32



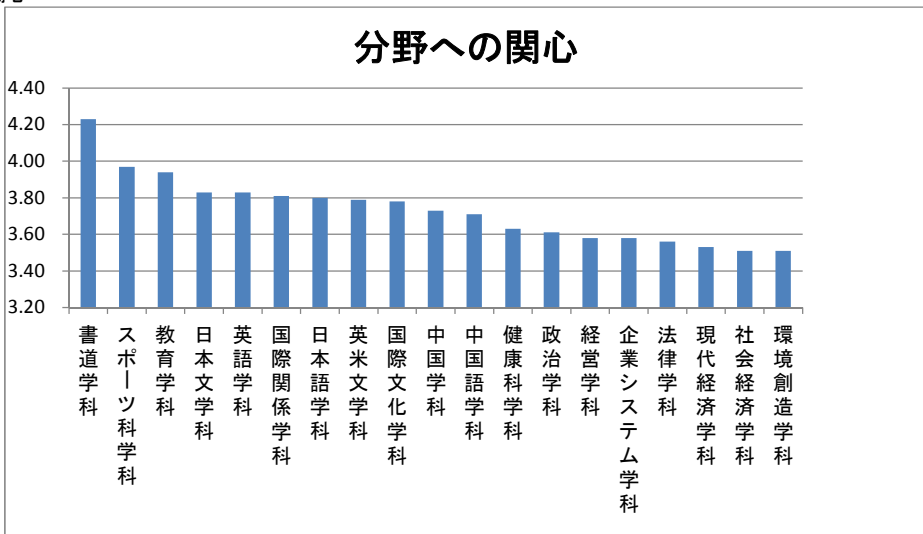
新しい自己発想

書道学科	4.19
教育学科	3.94
スポーツ科学科	3.94
英語学科	3.81
日本語学科	3.79
国際関係学科	3.77
英米文学科	3.76
国際文化学科	3.71
日本文学科	3.70
中国語学科	3.66
中国学科	3.65
健康科学科	3.56
政治学科	3.54
経営学科	3.53
法律学科	3.52
企業システム学科	3.52
現代経済学科	3.50
環境創造学科	3.48
社会経済学科	3.43



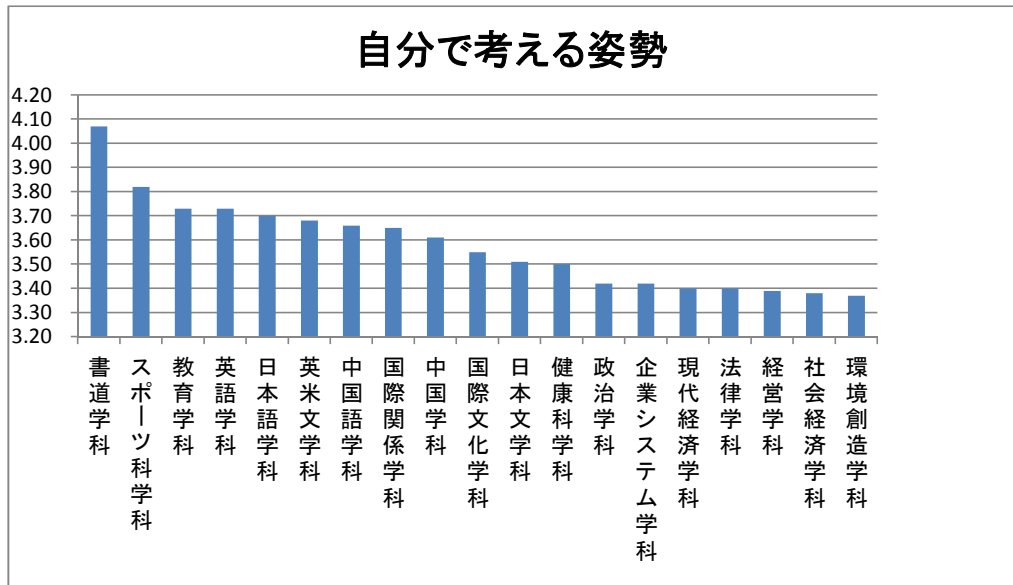
分野への関心

書道学科	4.23
スポーツ科学科	3.97
教育学科	3.94
日本文学科	3.83
英語学科	3.83
国際関係学科	3.81
日本語学科	3.80
英米文学科	3.79
国際文化学科	3.78
中国学科	3.73
中国語学科	3.71
健康科学科	3.63
政治学科	3.61
経営学科	3.58
企業システム学科	3.58
法律学科	3.56
現代経済学科	3.53
社会経済学科	3.51
環境創造学科	3.51



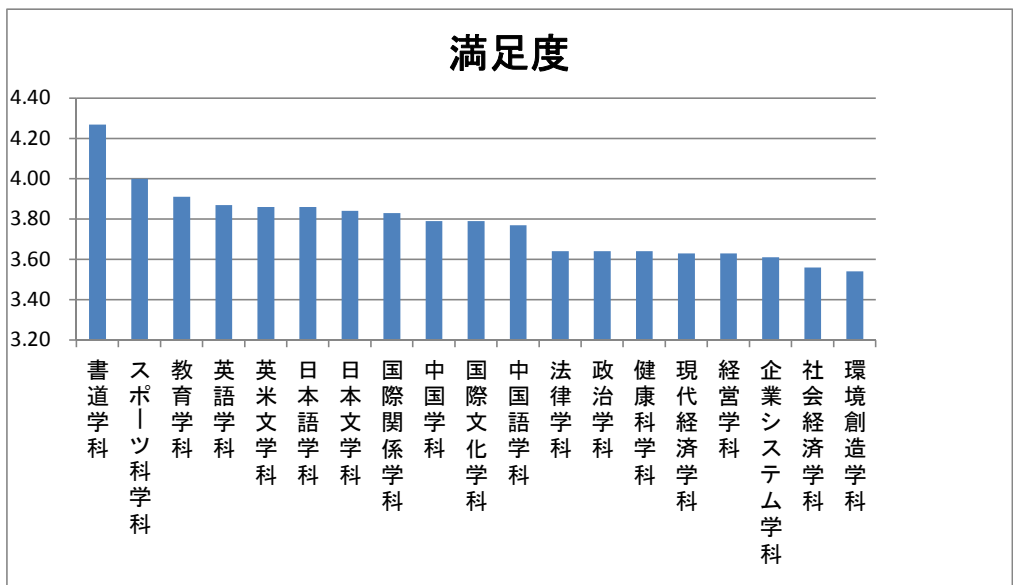
自分で考える姿勢

書道学科	4.07
スポーツ科学科	3.82
教育学科	3.73
英語学科	3.73
日本語学科	3.70
英米文学科	3.68
中国語学科	3.66
国際関係学科	3.65
中国学科	3.61
国際文化学科	3.55
日本文学科	3.51
健康科学科	3.50
政治学科	3.42
企業システム学科	3.42
現代経済学科	3.40
法律学科	3.40
経営学科	3.39
社会経済学科	3.38
環境創造学科	3.37



満足度

書道学科	4.27
スポーツ科学科	4.00
教育学科	3.91
英語学科	3.87
英米文学科	3.86
日本語学科	3.86
日本文学科	3.84
国際関係学科	3.83
中国学科	3.79
国際文化学科	3.79
中国語学科	3.77
法律学科	3.64
政治学科	3.64
健康科学科	3.64
現代経済学科	3.63
経営学科	3.63
企業システム学科	3.61
社会経済学科	3.56
環境創造学科	3.54



[ファカルティ・ディベロップメント委員会]

委員長	小松 義明 (副学長)
副委員長	水谷 正大 (経営学部)
副委員長	沼口 博 (文学研究科)
委員	栗栖美知子 (文学部)
	内野 泰助 (経済学部／経済学研究科)
	丁 鋒 (外国語学部／外国語学研究科)
	加藤 普章 (法学部／法学研究科)
	松本 弘 (国際関係学部／アジア地域研究科)
	北澤 恒人 (環境創造学部)
	佐藤真太郎 (スポーツ・健康科学部)
	高沢 修一 (経営学研究科)
	藤田 和博 (スポーツ・健康科学研究科)
	山口みどり (学長指名)

学生による授業評価と大学教育

大東文化大学授業評価報告書 I (全学データ)

---

発行	2014年12月19日発行 大東文化大学 〈板橋校舎〉 〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1 TEL 03-5399-7333 FAX 03-5399-7334 〈東松山校舎〉 〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿560 <a href="http://www.daito.ac.jp/">http://www.daito.ac.jp/</a>
編集	大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント委員会
印刷	株式会社日立システムズ

---